

# 2006年度 事業報告書

自 2006年4月 1 日

至 2007年3月31日

社団法人 日本建築学会

〒108-8414 東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号

電 話 (03)3456-2051 (代表)

# 2006 年度事業報告書

## 目 次

1. 会 議	1		
1.1 総 会	1.2 理事会		
1.3 支部長会議	1.4 協力委員会議		
1.5 7学協会会長会議	1.6 建築学会・土木学会正副会長会議		
1.7 建築5団体会長会議	1.8 日本技術者教育認定機構(JABEE)		
1.9 建築設計資格制度調査会			
1.10 APEC アーキテクト・プロジェクト・モニタリング委員会			
1.11 日本工学会技術者能力開発(PDE)協議会			
1.12 建築 CPD 連絡会議	1.13 建設系 CPD 協議会		
2. 大 会	20		
2.1 概 要	2.2 学術講演会		
2.3 部門別研究集会(研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション)			
2.4 2006年日本建築学会賞(論文・業績)受賞者記念講演			
3. 表 彰	27		
3.1 大 賞	3.2 学会賞	3.3 奨励賞	3.4 作品選奨
3.5 文化賞	3.6 優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞		
4. 支部共通事業	34		
4.1 講習会	4.2 設計競技	4.3 全国大学・高専卒業設計展示会	
5. 会 誌	39		
5.1 建築雑誌	5.2 作品選集	5.3 総合論文誌	
5.4 120年略史			
6. 学術振興	41		
6.1 論文集	6.2 大会学術講演梗概集	6.3 技術報告集	
6.4 英文論文集	6.5 研究補助・研究助成		
7. 委員会活動	46		
7.1 創立120周年事業	7.2 支援建築会議	7.3 会務関係	
7.4 研究関係	7.5 学術レビュー関係	7.6 教育関係	
7.7 情報関係	7.8 委員会数・開催数・委員数		
8. 創立120周年記念事業	68		
8.1 式典・祝賀会	8.2 功労者	8.3 記念大会	
8.4 記念建築文化事業	8.5 記念出版	8.6 海外巡回展覧会	
9. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等	74		
9.1 支援建築会議主催	9.2 会務関係委員会主催	9.3 特別調査委員会主催	
9.4 調査研究委員会主催	9.5 特別研究委員会主催	9.6 受託研究委員会主催	
9.7 建築普及事業関係委員会主催	9.8 情報関係委員会主催	9.9 本会・他学協会共催	
9.10 開催数・参加者数			

10.	教育・文化事業				84
10.1	建築文化週間	10.2	講演会・展覧会	10.3	設計競技
10.4	教育・文化事業参加者数				
11.	国際交流事業				95
11.1	国際交流振興基金	11.2	渉外関係		
11.3	外国人来会者	11.4	現代日本建築展 1996-2006		
12.	図書館				96
12.1	運営管理	12.2	「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈		
12.3	受入図書・雑誌・研究報告	12.4	利用者数		
12.5	図書館複写サービス	12.6	研究助成関係		
13.	建築博物館				98
13.1	運営管理	13.2	事業		
14.	建策・進言・要望・提言				99
15.	刊行図書				100
15.1	直営出版物	15.2	委託出版物		
15.3	刊行物数	15.4	刊行物等からの引用転載許諾		
16.	会館				103
16.1	建築会館	16.2	建築会館ホール利用状況		
16.3	建築会館会議室使用状況	16.4	建築博物館・ギャラリー利用状況		
16.5	三宅島研修所				
17.	会員				106
17.1	会員数の移動	17.2	支部地域会員数		
17.3	名誉会員	17.4	終身正会員		
17.5	会友	17.6	メールサービス		
17.7	能力開発支援制度 履修登録	17.8	ホームページアクセス数		
18.	その他の重要事項				110
18.1	理事の登記に関する事項	18.2	監事監査会に関する事項		
18.3	寄付に関する事項	18.4	委託研究の受託契約に関する事項		
18.5	委託業務の受託契約に関する事項	18.6	主務官庁（文部科学省）からの連絡事項等		
19.	役員等				113
19.1	民法上の役員	19.2	監事	19.3	代議員
19.4	支所長	19.5	職員		
	各支部事業報告				119
	(1) 北海道	(2) 東北	(3) 関東	(4) 東海	(5) 北陸
	(6) 近畿	(7) 中国	(8) 四国	(9) 九州	

支部・支所所在地

# 1. 会 議

## 1.1 総 会

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 5. 30 建築会館ホール	1. 2005 年度事業報告案を承認議決 2. 2005 年度収支決算，財産目録および未処分金処分案を承認議決 3. 2005 年度支部事業報告，収支決算ならびに財産目録案を承認議決 4. 役員を選任について承認議決 5. 選挙管理委員会委員を次期留任代議員の中から 3 名の選任，正会員の中から会長指名の 2 名，理事の中から会長指名の 2 名を承認議決
2007. 3. 20 建築会館ホール	1. 2007 年度事業計画案を承認議決 2. 2007 年度収支予算案を承認議決

## 1.2 理事会（議事中，毎月の入・退会，委員会委員の委嘱・解嘱，終身正会員（17.4 参照）は不記）

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
4 月理事会 2006. 4. 7 本会会議室	1. 2006 年日本建築学会大賞，日本建築学会賞，日本建築学会奨励賞，日本建築学会文化賞の表彰業績(大賞 3 件，学会賞論文 10 件，作品 3 件，技術 3 件，業績 4 件，奨励賞 15 件，文化賞 3 件)を承認議決 2. 建築学と本会の発展のための中長期計画について説明があり，推進することを承認 3. 住まいづくり支援建築会議の創設を承認 4. 京都の都市景観の再生に関する第二次提言について説明があり，原案通り承認 5. 歌舞伎座の保存に関する要望書について説明があり，原案通り承認 6. 会費長期滞納会員，正会員（個人）2,011 名，準会員 11 名，合計 2,022 名を除名することについて，下記の議決条件で 6 月理事会の議を経て除名することを承認議決 議決条件：2006 年 5 月末日までに不納会費を納付することを約束した者については，代議員・理事・監事は除名を留保することができる。 7. 2007 年度大会開催会場について竹下九州支部長から受諾の回答 8. 総会時の役員担当について承認 9. 共催・後援・協賛の名義使用を承認 (1) 共 催 イ) 日本学術会議材料工学委員会から，「第 50 回材料工学連合講演会」 (2) 後 援 イ) (社) 日本コンクリート工学協会から，「高強度コンクリート構造物の構造性能研究委員会－報告会・シンポジウム」 ロ) (社) セメント協会から，「コンクリートの補修・補強材に関する技術セミナー：セメント系補修・補強材料の基礎」 ハ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから，「都市環境シンポジウム：奈良で考えるサステナブルな街づくり」 ニ) (財) 建築環境・省エネルギー機構から，「ヒートアイランド対策国際ワークショップ」 ホ) エコビルド実行委員会，(財) 建築環境・省エネルギー機構から，「すまい・建築・都市の環境展 ecobuild2006」 ヘ) 建築リフォーム&リニューアル展組織委員会から，「第 12 回建築リフォーム&リニューアル展」 ト) 第 15 回日本臨床環境医学会から，「第 15 回日本臨床環境医学会総会」 チ) 土木・建築書協会から，「第 8 回土木・建築図書特別展示即売会」 リ) 都城工業高等専門学校から，「全国高等専門学校デザインコンペティション 2006 in 都城」

	<p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 日本騒音制御工学会から、 「第 59 回技術講習会：生活騒音政策の現状と課題」 「第 60 回技術講習会：騒音・振動技術の基礎と測定実習」</p> <p>ロ) (社) 日本機械学会から、「講習会：構造解析のための有限要素法入門」</p> <p>ハ) (社) 日本機械学会から、「第 16 回設計工学・システム部門講演会－未来社会を支えるものづくり（設計・システムから）」</p> <p>ニ) (社) 可視化情報学会から、「可視化情報学会全国講演会（神戸 2006）」</p> <p>ホ) (財) 建築保全センターから、「官庁施設の環境保全性に関する診断・改修計画基準（グリーン診断・改修計画基準）及び同解説講習会」</p> <p>ヘ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「蓄熱月間」</p> <p>ト) (財) 都市緑化技術開発機構から、「第 5 回屋上・壁面・特殊緑化技術コンクール」</p> <p>チ) 日本シミュレーション学会から、「第 25 回日本シミュレーション学会大会」</p> <p>リ) ヒューマンインターフェース学会から、「ヒューマンインターフェースシンポジウム 2006」</p> <p>ヌ) Techno-Ocean2006/19th Ocean Engineering Symposium Conference Committee から、 「テクノオーシャン 2006／第 19 回海洋工学シンポジウム－Our Future and Ocean」</p> <p>ル) 日本医療福祉設備協会、(社) 日本能率協会から、「第 35 回日本医療福祉設備学会併設 HOSPEX Japan2006（医療・福祉施設のための設備・機器総合展）」</p> <p>ヲ) システム制御情報学会から、「第 49 回自動制御連合講演会」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第 7 期代議員選挙結果について報告</li> <li>JAABE Best Paper Award 2005 の選考結果について報告</li> <li>関東支部より文化学院本館の保存に関する要望書を提出したことを報告</li> <li>2005 年度鹿島学術振興財団研究助成結果について報告</li> </ol>
<p>5 月理事会 2006. 5. 16 本会会議室</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>総会議案について下記議案を付議することを承認可決       <ol style="list-style-type: none"> <li>2005 年度事業報告案について</li> <li>2005 年度収支決算、財産目録および未処分金処分案について</li> <li>2005 年度各支部事業報告、収支決算ならびに財産目録案について</li> <li>役員を選任について</li> <li>選挙管理委員会委員の選出について</li> </ol> </li> <li>2006 年度支部事業計画ならびに収支予算案を承認可決</li> <li>2006 年内部監査報告があり、指摘された事項については、学術推進委員会等で検討することとした</li> <li>東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎保存要望書の提出を原案通り承認</li> <li>委託研究の受託を承認       <ol style="list-style-type: none"> <li>総務省自治税務局資産評価室から、「非木造家屋に係る再建築費評点基準表の改正に係る基礎資料の作成」</li> </ol> </li> <li>共催・後援・協賛の名義使用を承認       <ol style="list-style-type: none"> <li>共催           <ol style="list-style-type: none"> <li>日本学術会議機械工学委員会 IUTAM 分科会から、「理論応用力学講演会（第 56 回）」</li> <li>(社) 文教施設協会から、「平成 18 年度既存鉄筋コンクリート造・鉄骨造学校建物の耐力度測定方法（改訂版）実務講習会」</li> <li>(財) 国際文化会館から、「パネル・ディスカッション：国際文化会館の建築と庭園－その歴史的意義と保存・再生の意味合い」</li> <li>ニ) 特定非営利活動法人東京いのちのポータルサイトから、「第 4 回耐震補強フォーラム：耐震補強の国民運動をめざして」</li> </ol> </li> <li>後援           <ol style="list-style-type: none"> <li>(社) 日本建築美術工芸協会から、「aaca 景観・文化講演会：まち・人・アート－空間の支点『彫刻』－安田侃の世界」</li> <li>(社) 日本建築構造技術者協会から、「見落としてはならない『非構造部材・設備と躯体との取合い』出版記念講習会」</li> <li>(社) 建築設備総合協会から、「第 94 回建築設備総合ゼミナール：最新の省エネ技術</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>

	<p>と次世代 BEMS」</p> <p>ニ) (社) 日本溶接協会から、「熱切断の品質と安全講習会：ガス，プラズマ，レーザ切断の勘所」</p> <p>ホ) 日本の景観を良くする国民運動推進会議から、「日本の景観を良くする国民運動推進会議全国大会」</p> <p>へ) 日本緑化工学会から、「2006 年日本緑化工学会シンポジウム・見学会：緑豊かな街づくりのための，都市緑化技術とその課題」</p> <p>ト) 日本福祉のまちづくり学会から、「日本福祉のまちづくり学会第 9 回全国大会」</p> <p>チ) 特定非営利活動法人全国町並み保存連盟から、「第 29 回全国町並みゼミ八女福島大会：未来へ継承するぞ町並み文化」</p> <p>リ) NPO 法人中部マンション管理組合協議会，集合住宅維持管理機構から、「第 5 回 2006 マンションライフフェア中部：かえよう，かわろう，みんなのマンションー安全・安心・快適マンションづくり」</p> <p>(3) 協賛</p> <p>イ) (社) 日本基礎建設協会から、「場所打ちコンクリート杭の施工と管理に関する技術講習会」</p> <p>ロ) (社) 溶接学会から、「平成 18 年度溶接工学夏季大学：溶接現象の正しい理解とその実践的活用」</p> <p>ハ) (社) 溶接学会から、「溶接構造シンポジウム 2006：持続可能な発展と新たな挑戦」</p> <p>ニ) (社) 強化プラスチック協会から、「51st FRPCON-EX2006 講演会」</p> <p>ホ) (社) 日本流体力学会から、「日本流体力学会年会 2006」</p> <p>へ) (社) 日本機械学会から、「第 7 回最適化シンポジウム 2006 (OPTIS2006)」</p> <p>ト) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「第 3 回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」</p> <p>チ) 東京大学生産技術研究所計算科学技術連携研究センターから、「文部科学省次世代 IT 基盤構築のための研究開発：第 1 回革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発シンポジウム」</p> <p>リ) 日本知能情報ファジィ学会から、「第 22 回ファジィシステムシンポジウム in 札幌」</p> <p>ヌ) 日本熱物性学会から、「第 27 回日本熱物性シンポジウム」</p> <p>ル) 米国機械学会日本支部から、「米国機械学会日本支部設立 20 周年記念講演会」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 2005 年度大会の応募論文数（発表申込数 5,836 題）及び総合研究協議会の概要報告</p> <p>2. コンビニエンスストアを窓口とした会費納入方法の導入について報告</p> <p>3. 阪神・淡路大震災史料編纂委員会より地震防災総合研究に関する 10 年間の活動とその成果の概要を報告。また，デジタルアーカイブとして学会図書館やホームページで公開されることを説明</p> <p>4. 住まいづくり支援建築会議の準備状況と今後のスケジュールを報告</p> <p>5. 昨年 3 月に保存要望書を提出した日土小学校が基本的に保存されることになったことの報告</p>															
<p>(通信)</p> <p>2006. 5. 23</p>	<p>「建築設計資格制度の改善に関する提言」を建築関係 11 団体で共同提言することについて原案通り承認可決</p>															
<p>6 月理事会</p> <p>2006. 6. 15</p> <p>本会会議室</p>	<p>1. 理事会運営の主要な事項について確認</p> <p>2. 会長職務代行者（副会長）の順序ならびに職務分担について村上会長から以下のように指名</p> <table border="0" data-bbox="430 1736 1085 1915"> <tr> <td>第 1 順位</td> <td>研究担当</td> <td>嘉納 成男君</td> </tr> <tr> <td>第 2 順位</td> <td>会務担当</td> <td>岡本 宏君</td> </tr> <tr> <td>第 3 順位</td> <td>支部・学術レビュー担当</td> <td>小野 徹郎君</td> </tr> <tr> <td>第 4 順位</td> <td>情報担当</td> <td>神田 順君</td> </tr> <tr> <td>第 5 順位</td> <td>教育担当</td> <td>平倉 章二君</td> </tr> </table> <p>3. 組織機構と理事の職務分担ならびに事務局担当者について分担を確認</p> <p>4. 理事会の今期の活動方針を承認</p> <p>5. 会費長期滞納者（正会員（個人）1,697 名，準会員 11 名）合計 1,708 名の除名を承認可決。</p> <p>6. 代議員選挙における地域別定数の見直しについて会員理事から答申があり，審議の結</p>	第 1 順位	研究担当	嘉納 成男君	第 2 順位	会務担当	岡本 宏君	第 3 順位	支部・学術レビュー担当	小野 徹郎君	第 4 順位	情報担当	神田 順君	第 5 順位	教育担当	平倉 章二君
第 1 順位	研究担当	嘉納 成男君														
第 2 順位	会務担当	岡本 宏君														
第 3 順位	支部・学術レビュー担当	小野 徹郎君														
第 4 順位	情報担当	神田 順君														
第 5 順位	教育担当	平倉 章二君														

果、今年度の選挙においては現行通りとすることを承認可決。ただし、地域別定数のみならず、選挙制度全般も含めた見直しをさらに継続検討することとした。

7. 「日本建築学会教育賞」の設置ならびに委員、教育賞の設置に伴う関係規程の改正等について原案通り承認可決。

8. 2006～2007年主要行事日程を承認

9. 委託研究の受託を承認

(1) (株)大林組技術研究所、(株)大林組東京本社一級建築設計事務所から近畿支部へ、「中間供試体に作用する風圧力の屋外実験」

10. 共催・後援・協賛の名義使用を承認

(1) 共催

イ) 日本学術会議土木工学・建築学委員会から、「第53回構造工学シンポジウム」

ロ) (社)日本ロボット工業会から、「第23回国際建設ロボットシンポジウム」

(2) 後援

イ) (社)公共建築協会から、「シンポジウム：公共建築物におけるライフサイクルエネルギーマネジメント (LCEM)」

ロ) (社)土木学会から、「第5回木橋技術に関するシンポジウム」

ハ) (社)地盤工学会から、「第1回土と基礎の設計計算演習講習会」「第2回土と基礎の設計計算演習講習会」

ニ) (社)日本コンクリート工学協会から、「第39回コンクリート技術講習会」

ホ) (財)大阪科学技術センターから、「住宅産業フォーラム 2110 周年シンポジウム in Tokyo：これからの10年－住宅産業を展望する」

ヘ) (財)日本建築防災協会から、「既存鉄筋コンクリート造建築物の免震・制震による耐震改修ガイドライン講習会」

ト) 銀座・京橋・日本橋／中央通り照明デザイン国際競技実行委員会から、「銀座・京橋・日本橋／中央通り照明デザイン国際競技」

チ) 早稲田大学まちづくりシンポジウム実行委員会から、「2006年度早稲田まちづくりシンポジウム」

リ) 日刊建設通信新聞社から、「UIA 2011 TOKYO へ：連続公開セミナー【日本の建築家－世界との出会い】第1回－榎文彦氏『最新作を語る』」

ヌ) 九州デザインシャレット事務局から、「九州デザインシャレット 2006」

ル) 「空間に生きる－日本のパブリックアート」展開催実行委員会から、「空間に生きる－日本のパブリックアート展」

ヲ) 伊東豊雄展実行委員会から、「伊東豊雄展：伊東豊雄建築 | 新しいリアル」

ワ) 社会マネジメントシステム学会から、「社会マネジメントシステムに関する国際シンポジウム (ISMS2007)」

カ) 第10回建設工学における統計・確率の応用に関する国際会議から、「第10回建設工学における統計・確率の応用に関する国際会議 ICASP10 (International Conference on Applications of Statistics and Probability in Civil Engineering)」

ヨ) ICOTA7 組織委員会から、「The 7th International Conference on Optimization: Techniques and Applications ICOTA (第7回最適化の手法と応用に関する国際会議)」

(3) 協賛

イ) (社)公共建築協会から、「『建築物解体工事共通仕様書』及び『建築工事における建設副産物管理マニュアル』講習会」

ロ) (社)空気調和・衛生工学会事業計画委員会から、「平成18年度技術講演会：ファサードエンジニアリングと環境」

ハ) (社)日本材料学会腐食防食部門委員会から、「日本材料学会腐食防食部門委員会第251回例会：最近の表面処理材料とその評価」

ニ) (社)日本材料学会から、「第36回初心者のための有限要素法講習会 (演習付き)」

ホ) (社)日本材料学会から、「第9回日本材料学会方式腐食防食実験講習会：実験による腐食防食の基礎・応用技術の習得」

ヘ) (社)日本材料学会から、「第4回初心者のための疲労設計講習会」

ト) (社)日本材料学会から、「第28回疲労シンポジウム」

チ) (社)日本材料学会から、「第26回疲労講座－疲労の基礎と実際」

リ) (社)腐食防食協会から、「第41回技術セミナー：電子機器部品の腐食と対策」

ヌ) (社)腐食防食協会から、「第156回腐食防食シンポジウム：配管の腐食・劣化とそ

	<p>の管理」</p> <p>ル) (社) 計測自動制御学会から、「SICE セミナー：現代制御理論入門」</p> <p>ヲ) (社) 計測自動制御学会から、「第 7 回システムインテグレーション部門講演会 (SI2006)」</p> <p>ワ) (社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会から、「日本 OR 学会第 56 回シンポジウム：ここまで使える数理計画法」</p> <p>カ) (社) 日本鉄鋼協会育成委員会から、「第 190 回西山記念技術講座：窒素が拓く鋼の新しい展開とその利用」</p> <p>ヨ) (社) 文教施設協会から、「文教施設研究会－知的創発拠点としての大学キャンパスと地域との連携について」</p> <p>タ) (社) 照明学会視覚研究専門部会、光環境研究専門部会から、「公開研究会：ロービジョンの光環境を考える」</p> <p>レ) (社) 日本能率協会から、「第 5 回 Osaka Home Show2006」</p> <p>ソ) (社) 日本能率協会から、「第 28 回 Japan Home &amp; Building Show 2006」</p> <p>ツ) (社) 日本流体力学会から、「第 20 回数値流体力学シンポジウム」</p> <p>ネ) (財) 日本建築センターから、「改正建築基準法等（建築物のアスベスト対策）講習会」</p> <p>ナ) (財) 建築環境・省エネルギー機構から「第 4 回建築物総合環境性能評価システム『CASBEE』公開セミナー：街区レベル及び戸建（試行版）の評価ツールと最新動向」</p> <p>ラ) (財) スガウェザリング技術振興財団から、「第 43・44 回スガウェザリング学術講演会－ウェザリング技術の最新動向」</p> <p>ム) 日本地震工学会から、「講習会：性能規定型耐震設計法の現状と課題－必ずやって来る大地震にどう対処すべきか！」</p> <p>ウ) 明治大学理工学部から、「夏休み科学教室」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 会員委員会より 2005 年度活動と今後の課題について報告</p> <p>2. 保存・再生要望書を提出した「日土小学校」が保存される方向で改修調査費が予算化された旨について報告</p> <p>3. 「三井高井戸運動場クラブハウスの保存に関する要望書」への回答書について報告</p> <p>4. 室内化学物質空気汚染の解明と健康・衛生居住環境の開発に関する特別調査委員会の報告</p> <p>5. 2005 年度調査研究委員会小委員会活動成果について報告</p> <p>6. 2005 年度特色ある支部活動企画の成果について報告</p> <p>7. 2006 年度上期国際交流振興基金の援助事業と援助額を報告</p>
<p>7 月理事会 2006. 7. 18 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 独立行政法人 国立美術館 国立西洋美術館から建築歴史・意匠委員会へ、「国立西洋美術館本館建造物に関する調査資料の作成」</p> <p>(2) 佐賀市教育委員会から九州支部へ、「北山小学校・中学校の連携化に伴う施設構想」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 京都市から、「京都の都市景観の創造的再生シンポジウム：時を超え、光り輝く京都の景観づくりを目指して」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社) 日本溶融亜鉛鍍金協会から、「第 13 回亜鉛めっき年間大会」</p> <p>ロ) (社) 建築設備総合協会から、「第 5 回環境・設備デザイン賞」</p> <p>ハ) (社) 土木学会から、「第 12 回地下空間シンポジウム」</p> <p>ニ) (財) 日本建築防災協会から、「講習会：木造住宅の耐震診断と補強方法」</p> <p>ホ) (財) 建材試験センターから、「講演会：コンクリート用溶融スラグ骨材の標準化の現状と展望」</p> <p>ヘ) 特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会から、「第 1 回緊急地震速報展・講演会：緊急地震速報の本運用開始に向けて」</p> <p>ト) 人間・環境学会から、「第 79 回研究会：犯罪予防と環境デザイン」</p> <p>チ) ギャラリー・間から、「ギャラリー・間：卒業設計日本一展 2006」</p>



- リ) 特定非営利活動法人地質情報整備・活用機構から、「第 2 回 GUPI GEOFORUM : J-GEOPARKS-日本版ジオパークと地質百選 (仮題)」
- ヌ) 富岡市教育委員会から、「第 2 回旧富岡製糸場建造物調査セミナー/ワークショップ」
- ル) 大阪市立住まいのミュージアムから、「企画展:文化遺産としてのモダニズム建築 DOCOMOMO100 選展 in 大阪」
- ヲ) Aki DeCo (アキバ・デザイン・コミュニティ), S×F@A 実行委員会から、「Shrinking Cities × Fibercity @ Akihabara (S×F@A)」
- ワ) 区画整理フォーラム実行委員会から、「区画整理フォーラム 2006: 品格ある街づくり」
- (3) 協賛
  - イ) 日本学術会議 材料工学委員会, 化学委員会, 臨床医学委員会から、「第 13 回界面シンポジウム: アスベスト問題における理・工学と医学の接点」
  - ロ) (社) 日本鋼構造協会から、「CFT 柱を用いた鉄骨骨組の動的耐震設計法ガイドライン講習会」
  - ハ) (社) 日本鋼構造協会から、「講演会: 鉄骨造建物の耐震安全性を確保するための構造品質について考える」
  - ニ) (社) 土壌環境センター, 日刊工業新聞社から、「2006 土壌・地下水環境展」
  - ホ) (社) 日本機械学会から、「第 14 回機械材料・材料加工技術講演会 (M&P2006)」
  - ヘ) (社) 日本機械学会 能力開発促進機構, 計算力学技術者資格認定事業委員会から、「2006 年度計算力学技術者認定試験及び付帯講習」
  - ト) (社) 日本機械学会から、「ロボティクス・メカトロニクス講演会 2007」
  - チ) (社) 日本材料学会から、「第 22 回材料・構造信頼性シンポジウム」
  - リ) (財) 日本建築センターから、「改正建築基準法・中心市街地活性化法に関する講習会」
  - ヌ) (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「平成 18 年度 経済産業省 電力負荷平準化対策推進事業セミナー」「蓄熱技術研修会」
  - ル) 日本地震工学会から、「セミナー: 分かりやすい『地盤の液状化・流動化と建造物の応答-そのメカニズムと解析法・対策法』」
  - ヲ) 日本感性工学会から、「第 8 回日本感性工学会年次大会」
  - ワ) システム制御情報学会事業委員会から、「システム制御情報セミナー2006: 測位衛星技術 が支える社会-GPS/GNSS の基礎と事例」
  - カ) 日本複合材料学会から、「第 31 回複合材料シンポジウム」
  - ヨ) 計量心理学会国際大会組織委員会から、「計量心理学会国際大会 (International Meeting of the Psychometric Society)」
- 3. 中銀カプセルタワー保存要望書の提出を原案どおり承認可決
- 4. 「日本におけるモダン・ムーブメントの建築 115 選」報告文書の送付を承認可決
- 5. 2007 年度大会 (九州) の大会委員会・実行委員会委員の委嘱を原案通り承認可決
- 6. 本会代表委員の派遣について
  - (1) UIA2011 東京大会日本組織委員会への実行委員派遣を承認
  - (2) 平成 18 年 APEC アーキテクト・プロジェクト・モニタリング委員会審査会への委員派遣を承認
- 7. 8 月理事会を休会とすることについて承認
- 8. 職員の定年退職を承認

[報告・懇談事項]

- 1. 東海地震等巨大災害への対応特別調査委員会の報告
- 2. (仮称) 社会対応研究推進委員会の設置について懇談
- 3. 「建築教育の需給構造と建築職能の将来像」特別研究委員会の報告
- 4. 建築および関連分野の継続教育の動向と本会の役割について報告
- 5. 2006 年度大会 (関東) における理事の役割分担を確認
- 6. 村上会長・小野副会長より支部訪問について報告
- 7. 『建築作品年鑑』の廃刊について報告
- 8. 「元町公園および旧元町小学校の保存に関する要望書」を提出したことについて報告
- 9. 創立 120 周年記念「パラレル・ニッポン-現代日本建築展 1996-2006」の概要説明と、今

	<p>後約 10 年を掛けて世界各国を巡回する予定であることの報告</p> <p>10. 建築博物館企画展「建築家山田守展」の開催概要について報告</p> <p>11. 2006 年度優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞の審査結果の報告</p> <p>12. 2006 年度技術部門設計競技「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」入選報告</p> <p>13. 三宅島研修所の貸与について、三宅島災害・東京ボランティア支援センターに今後 2 年間引き続き貸与することとした旨の報告</p> <p>14. 第 45 回竹中育英会建築研究助成交付者報告</p> <p>15. その他</p> <p>(1) 選挙制度の見直しに関する①一票の格差, ②業種間の格差, ③当選に要する票数の格差についての中間報告</p> <p>(2) 日土小学校の保存・再生について中間報告</p>
<p>9 月担当理事会 2006. 9. 21 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) (財) 資産評価システム研究センターから建築経済委員会へ、「家屋評価における経年減点補正率表の見直し」</p> <p>(2) 日本技術者教育認定機構から建築教育認定事業委員会へ、「平成 18 年度技術者教育プログラム認定審査業務」</p> <p>(3) 八幡浜市から四国支部へ、「日土小学校校舎改修(改築)に伴う現地調査」</p> <p>(4) 西日本技術開発(株)から九州支部へ、「空調設備の性能検証(コミッションング)によるオフィス使用エネルギー削減に関する研究(その 3)」</p> <p>2. 共催・後援・協賛について</p> <p>下記共催 7 件, 後援 31 件, 協賛 23 件について, 本会の名義使用を承認した。</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本学術会議 土木工学・建築学委員会から、「第 21 回環境工学連合講演会」(追認)</p> <p>ロ) 文部科学省科学研究費補助金(特別研究促進費)「ジャワ島中部地震による被害に関する調査研究」プロジェクトチームから、「インドネシア・ジャワ島中部地震災害調査速報会」(追認)</p> <p>ハ) 技術倫理協議会から、「公開シンポジウム:安全に関わる技術倫理と学協会への期待」(追認)</p> <p>ニ) (社) 日本機械学会から、「サステナブル時代における建築一住宅の生産と暮らしを支える IT・RT」</p> <p>ホ) 日本燃焼学会から、「第 44 回燃焼シンポジウム」</p> <p>ヘ) 第 44 回日本伝熱シンポジウム実行委員会から、「第 44 回日本伝熱シンポジウム」</p> <p>ト) 国際材料構造試験研究機関連合(RILEM)から、「International RILEM Symposium on Photocatalysis, Environment and Construction Materials」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) 日本学術会議 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会から、「シンポジウム:子どもを元気にする環境とは—政策の現状と評価」(追認)</p> <p>ロ) (社) 日本免震構造協会から、「第 11 回免震フォーラム:首都直下地震の被害低減に向けての免震構造の適用性を探る」(追認)</p> <p>ハ) (社) 日本建築士事務所協会連合会から、「第 31 回建築士事務所全国大会:信頼回復を目指して」(追認)</p> <p>ニ) (社) 日本建築構造技術者協会から、「見落としはならない『RC 造の打継ぎチェックリスト』講習会」(追認)</p> <p>ホ) (社) 日本建築家協会から、「2006 年 JIA 全国学生卒業設計コンクール」(追認)</p> <p>ヘ) (社) 建築業協会から、「BCS 建築セミナー:組織にできること, 個人にできること」(追認)</p> <p>ト) (社) 軽金属溶接構造協会から、「シンポジウム:アルミニウム合金の摩擦攪拌接合継手の諸特性とその施工法の動向—第 2 回 FSW 小委員会研究活動成果報告会」(追認)</p> <p>チ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「コンクリートの凍結融解抵抗性の評価方法に関するシンポジウム」(追認)</p> <p>リ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「国際会議:8th International Conference on Creep, Shrinkage and Durability of Concrete and Concrete Structures (CONCREEP8)」(追認)</p>

- ヌ) フォーリッジクラブから、「ワークショップ：親子で木と触れ合うものづくり」(追認)
- ル) グンナール・アスブルンド展実行委員会から、「グンナール・アスブルンド展：癒しのランドスケープ—京都展」(追認)
- ヲ) LED 照明推進協議会から、「平成 18 年度 JLEDS シンポジウム：LED が明日のビジネスを拓く—『産業としての LED』を展望する」(追認)
- ワ) 有限責任中間法人日本インテリアプランナー協会から、「IPEC21-2006 6th INTERIOR PRO EX CO—ひと 環境 デザイン」(追認)
- カ) マスターピースズ オブ スカンジナビアン デザイン展企画運営事務局から、「マスターピースズ オブ スカンジナビアン デザイン展」(追認)
- ヨ) (社) 日本圧接協会から、「鉄筋継手品質確保のための新しい技量資格者認証制度に関する説明会」
- タ) (社) 日本画像情報マネジメント協会から、「e ドキュメント JAPAN2006」
- レ) (社) 公共建築協会, (社) 空気調和・衛生工学会, 特定非営利活動法人 アジア都市環境学会から、「国際シンポジウム：激動するアジアの建築と都市環境」
- ソ) (社) 日本建築美術工芸協会から、「平成 18 年度島根景観シンポジウム：いわみ元気フォーラム—風土・文化・そして景観」
- ツ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「JCI シンポジウム：再生骨材コンクリートの現状と将来展望」
- ネ) (社) 地盤工学会から、「インターネット講習会：基礎構造物の信頼性設計法」
- ナ) 独立行政法人 国立博物館 九州国立博物館, (財) ヒートポンプ・蓄熱センターから、「環境建築セミナー：人と環境の間に—新しいかたちの博物館」
- ラ) (財) 日本美術協会から、「高松宮殿下記念世界文化賞 受賞記念講演会：フライ・オートー建築を語る」
- ム) (財) 住宅総合研究財団から、「第 1 回住総研コレクティブハウジングフォーラム：多文化社会におけるコレクティブハウジングの暮らし・住まい・まち」
- ウ) NPO 法人 木造建築文化総合センターから、「講座：木構塾」
- キ) 九州大学 21 世紀 COE プログラム「循環型住空間システムの構築」拠点リーダーから、「第 3 回国際ワークショップ：循環型住空間システム “Review and Development”」
- ノ) 全国近代化遺産活用連絡協議会から、「近代化遺産 全国一斉公開 2006」
- オ) 公共建築の日及び公共建築月間実行委員会から、「公共建築の日及び公共建築月間」
- ク) ふくやま美術館から、「福山市市制施行 90 周年記念事業：フランク・ロイド・ライトと武田五—日本趣味と近代建築」
- ヤ) ゆきみらい 2007 in 会津 実行委員会から、「ゆきみらい 2007 in 会津：会津で探す雪国の温もり, ひと・絆」
- マ) 東京電力㈱から、「第 10 回 TEPCO 快適住宅コンテスト」
- ケ) 日本経済新聞社から、「建築・建材展 2007」
- (3) 協 賛
- イ) (社) 腐食防食協会から、「第 53 回材料と環境討論会」(追認)
- ロ) (社) 建築設備技術者協会, (社) 日本能率協会から、「第 39 回 2006 建築設備技術会議」(追認)
- ハ) (社) 日本鋼構造協会から、「鋼構造シンポジウム 2006」(追認)
- ニ) (財) エンジニアリング振興協会, 特定非営利活動法人 日本プロジェクトマネジメント協会から、「PM シンポジウム 2006：次世代へのチャレンジ—明日を創るプロジェクトマネジメント」(追認)
- ホ) (財) 住宅産業研修財団から、「第 4 回『真の日本のすまい』提案競技」(追認)
- ヘ) 独立行政法人 理化学研究所から、「理研シンポジウム：VCAD システム研究プログラム (第 1 回) —科学と技術をつなぐ座標軸『VCAD システム』研究における戦略—VCAD システムのものづくりへの普及と, 医用・生体・生物研究ツールへの展開」(追認)
- ト) 日本睡眠環境学会から、「第 24 回睡眠環境シンポジウム」(追認)
- チ) 日本コージェネレーションセンターから、「コージェネレーションシンポジウム 2006 (第 22 回)」(追認)
- リ) システム制御情報学会 事業委員会, 担当ワーキンググループから、「第 56 回システム制御情報講習会：工学が切り拓く未来の医療—ここまできた医工融合」(追認)
- ヌ) 健康, 建築, エコロジーを考える会 日独セミナー実行委員会から、「健康・建築・エコロジー日独セミナー」(追認)

	<p>ル) 日本エキスパンションジョイント工業会から、「20 周年記念講演会：最近の地震に見る耐震設計とエキスパンションジョイント」 (追認)</p> <p>ヲ) エコデザイン学会連合, エコデザイン 2006 アジア・パシフィックシンポジウム実行委員会から、「エコデザイン 2006 アジア・パシフィック・シンポジウム」 (追認)</p> <p>ワ) (社) 日本材料学会腐食防食部門委員会から、「日本材料学会腐食防食部門委員会第 252 回例会」 (追認)</p> <p>カ) (社) 文教施設協会から、「セミナー：知的創発拠点としての大学キャンパスと地域との連携について—大学と地域との連携によるまちづくりの推進」 (追認)</p> <p>ヨ) (社) 都市環境エネルギー協会から、「第 13 回都市環境エネルギーシンポジウム：人に優しい地球環境 暮らしやすい都市環境」</p> <p>タ) (社) 計測自動制御学会から、「SICE セミナー：実践的な制御系設計の最前線」</p> <p>レ) (社) 空気調和・衛生工学会から、「平成 18-19 年度 中堅技術者のための研修会」</p> <p>ソ) (社) 日本鉄鋼協会育成委員会, 同技術講座 WG から、「第 58 回白石記念講座：技術者育成教育への新たな取り組みとその将来展望」</p> <p>ツ) バイオメディカル・ファジィ・システム学会から、「バイオメディカル・ファジィ・システム学会第 19 回年次大会」</p> <p>ネ) 日本リスク研究学会第 19 回研究発表会実行委員会から、「2006 年度日本リスク研究学会第 19 回研究発表会：リスク評価に基づく意思決定支援研究の展開」</p> <p>ナ) 日本地震工学会から、「特別セミナー：Prof. Mogami による地盤と基礎構造物の動的相互作用解析の基礎から応用まで」</p> <p>ラ) 日本塗装技術協会から、「第 22 回塗料・塗装研究発表会」</p> <p>ム) 第 18 回国際生気象学会議から、「第 18 回国際生気象学会議 (ICB2008)：自然の中のハーモニー」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 公益法人制度改革の概要とスケジュールについての説明</p>
<p>10 月理事会 2006. 10. 11 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) 文部科学省から、「新教育システム開発プログラム」[文教施設委員会に付託]</p> <p>2. 後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 後 援</p> <p>イ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から、「講習会：避難安全検証によるビルリニューアル仕様規定によらない合理的な設計法」</p> <p>ロ) (社) 土木学会 地震工学委員会から、「震度計の設置促進と震度データの利用高度化に関するシンポジウム」</p> <p>ハ) NPO 都市環境研究会から、「国際舟運シンポジウム：河川・運河を活用した都市再生」</p> <p>ニ) 第 3 回 ISEV2007 国際シンポジウム委員会から、「3rd International Symposium on Environmental Vibrations (環境振動の予測・モニタリング・対策・評価に関する国際シンポジウム)」</p> <p>(2) 協 賛</p> <p>イ) (社) 日本騒音制御工学会から、「第 61 回技術講習会：騒音対策の基礎と考え方」</p> <p>ロ) (社) 日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「第 253 回例会：流動加速腐食に関する設備管理の動向」</p> <p>ハ) (社) 日本材料学会から、「第 43 回 X 線材料強度に関する討論会：電子デバイスにおける応力問題の現状と対策」</p> <p>ニ) (社) 日本材料学会から、「JCOM-36：材料・構造の複合化と機能化に関するシンポジウム」</p> <p>ホ) (社) 日本非破壊検査協会から、「第 10 回表面探傷シンポジウム：人工物の経年劣化事象にかかわる表面センシングと評価技術」</p> <p>ヘ) (社) 空気調和・衛生工学会から、「平成 18 年度講演会：改正省エネ法と省エネ推進」</p> <p>ト) (財) 金属系材料研究開発センターから、「第 4 回環境調和型超微細粒鋼創製基盤技術の開発シンポジウム」</p> <p>3. 日本建築学会大賞選考委員の選任を承認可決</p> <p>4. (仮称) 社会対応推進委員会の設置および委員構成について、委員会名称を「社会ニーズ対応推進委員会」に変更、また、運営規程の第 2 条 (事業) を変更することとして承</p>

	<p>認可決。</p> <p>5. 土木学会との共同提言「巨大地震による長周期地震動の予測と既存建築物の耐震性と今後の課題」を承認可決</p> <p>6. 梅村魁記念基金の廃止を承認</p> <p>7. 2007年本会・日本建築家協会・東京建築士会の三会共催による新年交礼会を、1月5日（金）14時から建築会館ホールにおいて開催することを承認</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 事業計画・収支予算編成上の基本方針（2007～2009年）（案）について説明</p> <p>2. 定款改正の方向に関する中間報告</p> <p>3. 選挙制度の検討に関する中間報告</p> <p>4. 健全な設計・生産システムに関する特別調査委員会の報告</p> <p>5. 2006年度日本建築学会大会（関東）概要報告</p> <p>6. 資格・教育・法律等社会システム検討特別調査委員会、建築教育認定事業委員会「建築士法改正の方向についての要望」提出の報告</p> <p>7. 大会における作品発表の場の創設および大会作品発表会準備委員会の設置について説明</p> <p>8. 創立120周年記念事業についての中間報告</p> <p>9. 学会叢書の創刊について報告</p> <p>10. 2006年度支部共通事業設計競技「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」入選者報告</p> <p>11. 創立120周年記念事業「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」の開催について説明</p>
<p>11月担当理事会 2006.11.16 本会会議室</p>	<p>1. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共催</p> <p>イ) (社)日本アイソトープ協会から、「第44回アイソトープ・放射線研究発表会」</p> <p>ロ) 独立行政法人 国立環境研究所から、「国内シンポジウム：建築から見た今後の温暖化対策シナリオとは？」</p> <p>(2) 後援</p> <p>イ) (社)日本コンクリート工学協会から、「コンクリート構造物のアセットマネジメントに関するシンポジウム」</p> <p>ロ) (社)プレストレストコンクリート技術協会から、「第35回プレストレストコンクリート技術講習会—PCの新たな展開」</p> <p>ハ) (財)日本建築防災協会から、「実務者のための“既存鉄骨造体育館等の耐震改修の手引と事例”講習会」</p> <p>ニ) (財)日本建築防災協会から、「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・耐震改修設計指針講習会」</p> <p>ホ) (財)住宅総合研究財団から、「住総研ハウスアダプテーション出版記念フォーラム：自分らしく住むためのバリアフリー—ハウスアダプテーションの事例から」</p> <p>ヘ) (財)神戸国際観光コンベンション協会、(財)神戸市防災安全公社から、「第1回震災対策セミナー IN 神戸」</p> <p>ト) (財)震災予防協会から、「第26回震災予防協会講演会：身近な地震・火山の学び方—エンターテイメントから探る防災へのヒント」</p> <p>チ) 耐震補強フォーラム実行委員会から、「第5回耐震補強フォーラム：防災の国民運動をめざして」</p> <p>リ) 耐震補強フォーラム実行委員会から、「第6回耐震補強フォーラム：都会で地震が起こった日」</p> <p>ヌ) グンナール・アスプルンド展実行委員会から、「建築家グンナール・アスプルンド—癒しのランドスケープ（旭川展）」</p> <p>ル) 特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会から、「第2回緊急地震速報展・講演会（名古屋）」</p> <p>ヲ) 震災対策技術展／自然災害対策技術展横浜会場実行委員会から、「第11回震災対策技術展／自然災害対策技術展（横浜）」</p> <p>ワ) グリーン・サステイナブル・ケミストリー ネットワークから、「国際シンポジウム</p>

	<p>GSC-AON2007 (第1回グリーン・サステイナブル ケミストリー アジア・オセアニア会議, 第7回 GSC シンポジウム)</p> <p>カ) ウズベキスタン文化・芸術フォーラム基金 駐日代表部 展示会実行委員会から, 「ウズベキスタンの現代建築と世界遺産展」</p> <p>ヨ) 第10回木質構造国際会議実行委員会から, 「第10回木質構造国際会議 (WCTE2008)」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 腐食防食協会から, 「第32回腐食防食入門講習会」</p> <p>ロ) (社) 計測自動制御学会から, 「SICE セミナー: 実践的な制御理論」</p> <p>ハ) (社) 自動車技術会から, 「自動車空調技術総合レビュー2007: 人にやさしく環境にやさしい技術」</p> <p>ニ) (社) 日本空気清浄協会から, 「第25回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会」</p> <p>ホ) 人間-生活環境系学会から, 「人間-生活環境系学会 第30周年記念シンポジウム: 人間-生活環境系の過去・現在・未来」</p> <p>ヘ) 特定非営利活動法人 関東地域インターンシップ推進協会から, 「平成18年度インターンシップ成果発表会」</p> <p>ト) 国際会議 ICCM 実行委員会から, 「国際会議 ICCM2007 (International Conference on Computational Methods)」</p> <p>チ) モバイル学会から, 「シンポジウム: モバイル 2007」</p> <p>リ) 日本計算工学会から, 「第12回日本計算工学会講演会」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 社会ニーズ対応推進委員会の活動方針について説明</p> <p>2. 2006年度下期国際交流振興基金の援助事業・助成額報告</p> <p>3. 2007年度特色ある支部活動企画企画の選考経過についての報告</p> <p>4. 都市計画委員会から石原東京都知事宛「都市計画道路補助54号線の認可および下北沢駅周辺地区の用途変更に関する要望書」ならびに熊本世田谷区長宛「下北沢駅周辺地区・地区計画および都市計画道路補助54号線に関する要望書」が提出されたことの報告</p>
<p>12月理事会 2006.12.14 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) (社) セメント協会から, 「エコセメントを用いたコンクリートの建築構造物への適用に関する研究 (その2)」</p> <p>(2) 大阪生コンクリート圧送協同組合から近畿支部へ, 「コンクリートのポンプ圧送性評価手法に関する研究 (継続)」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本学術会議 総合工学委員会から, 「安全工学シンポジウム 2007」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社) 建築研究振興協会から, 「建築技術研究フォーラム 2007」</p> <p>ロ) (社) 地盤工学会から, 「液状化地盤の変形予測及び対策工法講習会」</p> <p>ハ) (社) 日本塗料工業会から, 「建築塗装講習会 最新の建築塗料・塗装セミナー: ①遮熱・高反射塗料による塗装の実状, ②JASS改定による建築塗装の方向」</p> <p>ニ) (社) 照明学会から, 「平成18年度 照明学会 光環境研究専門部会 公開研究会: CGを利用した照明設計の可能性」</p> <p>ホ) (社) 日本コンクリート工学協会から, 「国際シンポジウム: 8th International Symposium on Utilization of High-strength and High-performance Concrete」</p> <p>ヘ) 首都大学東京 21世紀 COE プログラム・拠点リーダーから, 「首都大学東京 21世紀 COE プログラム国際会議: Building Stock Activation 2007」</p> <p>ト) 景観材料推進協議会から, 「景観材料推進協議会シンポジウム: ものをつくり, まちをつくる」</p> <p>チ) 和歌山県高野町から, 「高野山創造学 第1回世界遺産フォーラム in 高野山」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 計測自動制御学会から, 「SICE セミナー: アドバンスト制御-基礎・先端・応用」</p> <p>ロ) (社) 空気調和・衛生工学会から, 「第37回セミナー: 都市と大規模プロジェクト」</p> <p>ハ) (社) 日本非破壊検査協会から, 「第38回 応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」</p>

	<p>ニ) (社) 日本非破壊検査協会から、「第 14 回超音波による非破壊評価シンポジウム」</p> <p>ホ) (社) 日本非破壊検査協会から、「安全・安心な社会を築く先進非破壊計測技術シンポジウム：新素材及びその製品の非破壊評価技術」</p> <p>へ) (社) 電気設備学会から、「講演会：電気設備の原点『照明を語る』－あかりの『創作』『デザイン』『テクノロジー』」</p> <p>ト) (社) 日本防錆技術協会から、「第 27 回防錆防食技術発表大会」</p> <p>チ) (財) 建築環境・省エネルギー機構から、「第 25 回建築環境・省エネルギーフォーラム」</p> <p>リ) 東京大学生産技術研究所 計算科学技術連携研究センターから、「文部科学省 次世代 IT 基盤構築のための研究開発：『革新的シミュレーションソフトウェアの研究開発』ワークショップ（第 8 回）－都市の安全・環境シミュレーション」</p> <p>ヌ) 日本感性工学会から、「日本感性工学会第 3 回春季大会」</p> <p>ル) 日本検査機器工業会から、「総合検査機器展（JIMA2007）」</p> <p>ヲ) エコ・グリーンテック実行委員会から、「エコ・グリーンテック 2007」</p> <p>3. 2007 年度事業計画・収支予算両案，2006 年度事業報告・収支決算両案の作成について承認</p> <p>4. 大会作品発表会準備委員会の設置と運営規程を原案通り承認可決し，準備委員会委員長を指名</p> <p>5. 男女共同参画等推進委員会の設置と運営規程を原案どおり承認可決。なお，委員会の名称は「男女共同参画推進委員会」とした</p> <p>6. 特別調査委員会運営規程，海洋委員会運営規程，ほか関連規程，組織規程の改正案について原案どおり承認可決</p> <p>7. 九州支部・福岡支所の設置を承認可決</p> <p>8. 2008 年度大会を中国支部地域で開催することの検討方を中国支部に対して依頼</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 通常総会の議事と役員分担について説明があり了承</p> <p>2. 社会ニーズ対応研究課題の抽出について，第 1 回社会ニーズ対応推進委員会を開催し審議を開始した旨の報告</p> <p>3. 建築士法改正に伴う教育問題について対応すべく「全国建築系大学教育連絡協議会」の発足を議案に変更し承認可決</p> <p>4. 代議員定数の見直しについての支部長会議での審議内容の報告</p> <p>5. 定款改正の方向に関する最終報告</p> <p>6. 代議員名簿・理事名簿の作成ならびに開示を議案に変更し承認可決</p> <p>7. 論文集，技術報告集，JAABE 等の投稿・査読システムの電子化についての中間報告</p> <p>8. 2006 年度日本建築学会大会（関東）決算報告</p> <p>9. 創立 120 周年記念事業：建築文化週間 2006 の開催結果報告</p> <p>10. 2005～2006 年度調査研究委員会活動報告会開催についての報告</p> <p>11. 2007 年度支部共通事業日本建築学会設計競技ならびに 2007 年度日本建築学会技術部門設計競技の課題決定について報告</p> <p>12. 九州支部から，旧西日本シティ銀行大分支店の保存に関する要望書」提出報告</p> <p>13. 2006 年度鹿島学術財団助成候補として 7 件を鹿島学術振興財団に推薦した旨の報告</p> <p>14. UIA2011 東京大会の準備状況の報告</p> <p>15. 2007 年新年交礼会の開催について案内</p> <p>16. 事務局組織機構の変更について報告</p>
<p>1 月担当理事会 2007. 1. 18 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) (財) 建築環境・省エネルギー機構から、「住宅におけるエネルギー消費データに基づく施策提案に関する調査業務」</p> <p>(2) 八幡浜市から四国支部へ、「日土小学校校舎・校地改修及び校舎増築基本計画案策定」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) (社) 日本原子力学会から、「原子力総合シンポジウム 2007」</p> <p>ロ) 日本知能情報ファジィ学会から、「第 28 回ファジィワークショップ：次世代の知的処理へ」</p> <p>(2) 後 援</p>

	<p>イ) (社) 日本鉄鋼連盟から、「講習会：建築構造用鋼材とその利用技術」</p> <p>ロ) (社) 建築設備総合協会から「第 95 回建築設備総合ゼミナール：最近注目されるプロジェクトの設計・施工の動向」</p> <p>ハ) (社) 日本材料学会から、「第 7 回コンクリート建造物の補修、補強、アップグレードシンポジウム」</p> <p>ニ) 東京都環境局から、「新エネルギー・フォーラム in 東京：太陽熱の利用拡大に向けて」</p> <p>ホ) 特定非営利活動法人 リアルタイム地震情報利用協議会から、「第 6 回国土セイフティネットシンポジウム：緊急地震速報の一般利用開始を迎えて」</p> <p>ヘ) 東京大学生産技術研究所 計測技術開発センターから、「第 3 回東京大学生産技術研究所計測技術開発センター公開シンポジウム：化学物質汚染に関する計測と対策」</p> <p>ト) 法政大学大学院エコ地域デザイン研究所から、「倉敷国際シンポジウム＋イベント：水の都 倉敷 水文化の再生にと復活－Via dell’acqua 水の道」</p> <p>チ) 木材活用推進協議会から、「シンポジウム：木と問答する」</p> <p>リ) 大分大学工学部から、「国際会議：International Conference on Modern Bamboo Structures」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 日本オペレーションズ・リサーチ学会から、「第 57 回シンポジウム：信頼性－温故知新」</p> <p>ロ) (社) 可視化情報学会から、「講演会：可視化フロンティア－PIV（粒子画像流速計）と LIF（レーザ誘起蛍光法）の基礎と応用」</p> <p>ハ) (社) 日本材料学会から、「第 42 回 X 線材料強度に関するシンポジウム」</p> <p>ニ) (社) 日本機械学会から、「第 17 回環境工学総合シンポジウム 2007」</p> <p>ホ) (社) 未踏科学技術協会から、「第 17 回池谷コンファレンス：堂山シンポジウム－人類を救う材料の夢と創造と実現」</p> <p>ヘ) (財) 地域開発研究所 建築施工管理技術研究会から、「平成 19 年度 1 級・2 級建築施工管理技術検定試験受験準備講習会」</p> <p>ト) 日本太陽エネルギー学会から、「第 2 回太陽熱利用講演会：これからの太陽熱利用－建築事例とシステムデザイン」</p> <p>チ) 日本計算工学会から、「セミナー：鉄筋コンクリート建造物の震動破壊と計算力学シミュレーションの適用」</p> <p>リ) 日本接着学会から、「第 45 回日本接着学会年次大会」</p> <p>ヌ) 日本実験力学学会から、「日本実験力学学会 2007 年度年次講演会」</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 今般の改正建築士法のうち教育に関わる個所について報告があり、本会における継続能力開発への取り組み、2 月 22 日開催予定の「シンポジウム“建築士制度の抜本改正と建築教育”ならびに“全国建築系大学教育連絡協議会設立説明会”」の概要について紹介</p>
<p>2 月担当理事会 2007. 2. 15 本会会議室</p>	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) (社) 韓国空間構造学会附設研究所から、「韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成」</p> <p>(2) 榊長谷工コーポレーション、榊長谷工設計から近畿支部へ、「『(仮称) 鳳南町計画』建設における風環境および外装材設計荷重に関する風洞実験調査」</p> <p>(3) 榊長谷工コーポレーション、榊長谷工設計から近畿支部へ、「『(仮称) 大津石山計画』の風環境と風荷重に関する風洞実験調査」</p> <p>(4) 榊浅沼組技術研究所、榊浅沼組大阪本店一級建築士事務所から近畿支部へ、「大型模型を用いたバルコニーを有する建築物の風荷重に関する実験的研究費」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) 日本学術会議 土木工学・建築学委員会から、「シンポジウム：温暖化防止と民生用エネルギー消費の現状と将来」</p> <p>ロ) 水文・水資源学会から、「第 53 回風に関するシンポジウム」</p> <p>(2) 後 援</p> <p>イ) (社) プレストレストコンクリート技術協会、(社) プレストレスト・コンクリート建設業協会から、「PC 建築技術講習会 (第 15 回)」</p>



	<p>ロ) (社) 建築・設備維持保全推進協会から3件、  「平成19年度“建築設備診断技術者”資格取得講習」  「平成19年度“建築仕上診断技術者”資格取得講習」  「平成19年度“建築・設備総合管理技術者”資格取得講習」</p> <p>ハ) (財) 東京オペラシティ文化財団から、「第10回ヴェネチア・ビエンナーレ建築展 帰国展：藤森建築と路上観察」</p> <p>ニ) 芝・三田まちづくり倶楽部から、「第1回三田ぶらサロン」</p> <p>ホ) 特定非営利活動法人 国境なき技師団から、「第1回定例セミナー」</p> <p>ヘ) 「萬来舎」建築会館展実行委員会から、「写真展：谷口吉郎とイサム・ノグチの萬来舎—そのオーセンティシティーと清らかさ」</p> <p>ト) エチオピア歴史遺産会議 2007 実行委員会から、「エチオピアの歴史遺産とその保護に関する国際シンポジウム」</p> <p>チ) 多摩ニュータウン学会から、「多摩ニュータウンアーカイブ市民シンポジウム 2007-2009：新都市開発の遺産を礎に“未来”を考える（第1回～第5回）」</p> <p>リ) こども環境学会から、「こども環境学会 2007 年大会（横浜）：『こども・まち・おとな』—キッカケの扉を開こう」</p> <p>(3) 協 賛</p> <p>イ) (社) 日本照明委員会から、「第15回 JCIE セミナー：安全で、人にやさしい見えかたを目指して—視覚研究の成果を活用した標準化の事例を通して」</p> <p>ロ) (社) 日本非破壊検査協会から、「第6回保守検査シンポジウム：世の中のニーズに応える保守検査」</p> <p>ハ) (社) 日本騒音制御工学会から、「日本騒音制御工学会第62回技術講習会：騒音規制の手引き」</p> <p>ニ) (社) 日本熱供給事業協会から、「地域熱供給シンポジウム：環境の世紀をどう生きるか—地域熱供給に求められるもの」</p> <p>ホ) (社) 溶接学会から、「平成19年度溶接技術基礎講座」</p> <p>ヘ) (社) 日本鉄鋼協会から、「第191・192回西山記念技術講座：21世紀を拓く高性能厚板」</p> <p>ト) (社) 日本非破壊検査工業会、(社) 日本能率協会から、「非破壊評価総合展 2007：非破壊検査・モニター・評価・診断に関する専門展示会」</p> <p>チ) 建築・住宅国際機構から、「建築環境の熱的性能とエネルギー使用（ISO/TC163）国際規格シンポジウム」</p> <p>リ) 第41回空気調和・冷凍連合講演会運営委員会から、「第41回空気調和・冷凍連合講演会」</p> <p>ヌ) 日本複合材料学会から、「2007年度研究発表講演会」</p> <p>ル) ICOSAR2009 議長から、「第10回構造物の安全性と信頼性に関する国際会議 ICOSAR 2009 (International Conference on Structural Safety and Reliability)」</p> <p>3. 職員の定年退職を承認</p> <p>[報告・懇談事項]</p> <p>1. 建築界と職業倫理に係わる建築界の動向につき、耐震強度偽装事件、建築基準法ならびに建築士法改正との関わりにおいて状況説明</p> <p>2. 近畿支部から「旧室谷家住宅の保存に関する要望書」の提出報告</p> <p>3. 九州支部から「都城市民会館の保存に関する要望書」の提出報告</p>
(通信) 2007. 2. 15	2007年日本建築学会「作品選奨」表彰業績候補11作品について承認可決
3月理事会 2007. 3. 15 本会会議室	<p>1. 委託研究の受託を承認</p> <p>(1) ジャパンパイル(株)、ジオトップ(株)から近畿支部へ、「既製杭の杭頭接合部の支圧特性に関する技術研究」</p> <p>2. 共催・後援・協賛の名義使用を承認</p> <p>(1) 共 催</p> <p>イ) (社) 土木学会から、「第7回複合構造の活用に関するシンポジウム」</p> <p>(2) 後 援</p>

- イ) (社) 日本溶接協会から、「シンポジウム：より理想的な鋼構造の設計・製作法を目指して（鋼構造設計・製作法の異分野交流）」
- ロ) (社) 日本コンクリート工学協会から、「耐久性力学に関するシンポジウム」
- ハ) 特定非営利活動法人 建築環境情報センターから、「建築環境倫理セミナー：新生建設産業に期待する」
- ニ) 学生設計優秀作品展組織委員会から、「第 30 回学生設計優秀作品展－建築・都市・環境」
- ホ) 日本の景観を良くする国民運動推進会議から、「日本の景観を良くする国民運動推進会議 全国大会」

(3) 協 賛

- イ) (社) 日本材料学会 腐食防食部門委員会から、「日本材料学会腐食防食部門委員会第 255 回例会：歴史的文化的文化財の修復と保存」
- ロ) (社) 計測自動制御学会から、「SICE セミナー：制御のためのシステム同定」
- ハ) (社) 可視化情報学会から、「第 35 回可視化情報シンポジウム」
- ニ) 日本シミュレーション学会から、「第 26 回日本シミュレーション学会大会」
- ホ) バイオメカニズム学会から、「第 20 回バイオメカニズム・シンポジウム」

3. 3 月通常総会に付議する議案および報告・懇談事項を確認

- (1) 2007 年度事業計画案について
- (2) 2007 年度収支予算案について
- (3) 報告・懇談事項の確認について

4. 「真に求められる建築をつくるための提言－建築企画書(ブリーフ)の活用に向けて(案)」について議論の結果、修正提言案を次回再審議

5. 2007 年度大会(九州)の参加費、収支予算書、行事概要を原案通り承認

6. 日本工学会「新公益法人における税制に関する要望書」ならびに「公益法人認定法の運用における“公益認定基準”に関する要望書」について日本工学会の会員学協会の一員として賛同することを承認

7. 事務局職員の採用を承認

8. 職員給与細則の一部改正について原案どおり承認

[報告・懇談事項]

1. 新たな日本学士院会員を推薦する必要性について説明があり、議論の結果、候補者選定のための協議会を立ちあげ、12 月理事会への上程を目標に選定作業を開始
2. 正副会長会議報告として、中長期計画アクションプランの実施状況について概況報告及び、各副会長から分掌事業の進行状況について報告
3. 2007 年内部監査項目として、①公益社団法人の取得にむけた支部の活動状況、②会員サービスの充実、について監査する旨の報告
4. 情報ネットワーク委員会報告として、本会によるアーカイブ・ネットワーク構築の必要性について説明があり、2007 年度から具体化を目指した作業に着手する旨を報告
5. 建築物の評価と保存活用ガイドライン(案)について議論の結果、本日の意見を踏まえた修正案を次回再提出していただくこととした
6. 建築博物館企画展示会「建築家山田守展－流動するフォルムにみた合理性」の開催報告
7. 建築法制委員会「建築基準法の性能規定化のあり方に関する提言」が学術推進委員会の承認を得たことの報告
8. 「2006 年ジャワ島中部地震災害調査報告」の刊行について報告
9. 北海道支部の移転について報告
10. 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームからの「防災および災害対応における包括的協力」要請について、合意書(案)を審議した結果、合意書を原案通りに取り交わすことを議案に変更し承認可決

### 1.3 支部長会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 7. 18 本会会議室	1. 支部運営の現状 ・ 支部別個人会員数および支部助成口数の推移 ・ 支部財政の推移 2. 支部活動報告 ・ 北海道支部：中長期戦略検討WG 報告書 ・ 北海道支部：会員在籍率向上を目的とした取組み試案 ・ 九州支部：九州支部運営に関するアンケート調査結果 3. 2006 年支部長会議で取上げるべきテーマについて 4. 2007 年度特色ある支部活動企画募集（案）
2006. 10. 11 本会会議室	<特色ある支部活動企画選考委員会> 1. 特色ある支部活動企画案の審査
2006. 11. 6 中国支部会議室	1. 中国支部の現状報告 2. 支部活動報告（各支部より） 3. 2007 年度特色ある支部活動企画について 4. 代議員定数の見直しについて 5. 定款改正の方向性について
2007. 3. 15 本会会議室	1. 支部活動の活性化に向けた検討 ・ 各支部活動報告 ・ 公益社団法人取得に向けた各支部活動 ①各種支援活動の支部への波及 ②支部会員（法人）にとって魅力ある活動の場の提供 ③会員増強に対する支部の具体的支援

### 1.4 協力委員会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
	本年度は開催せず

### 1.5 7学協会会長会議\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 8. 29 空気調和・衛生 工学会	(1) 各学協会の重点課題について (2) CPD について

\*本会，空気調和・衛生工学会，地盤工学会，土木学会，日本コンクリート工学協会，日本造園学会，日本都市計画学会

### 1.6 建築学会・土木学会正副会長会議

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 4. 25 本会会議室	(1) 両学会による共同調査・研究について

## 1.7 建築5団体会長会議\*

開催年月日 場所	主要議事とその処理
2006. 4. 17 建築士会連合会	建築士法の抜本改正へ向けた提言（建築士事務所協会）、健全な設計・生産システム構築のための提言の枠組（学会）、調査会提言に対する報告（建築士会連合会）、信頼回復を目指して5団体で何が出来るか（建築業協会）、その他
2006. 6. 22 日本建築家協会	各団体取り組み課題の報告、JIA からの UIA2011 年東京大会日本組織委員会設立と各団体から委員派遣要請、その他
2006. 8. 23 建築士会連合会	国土交通省社会資本整備審議会建築分科会基本制度部会報告への対応、各会の大会開催、建設産業政策研究会の検討状況と建築業協会の意見、その他
2006. 10. 23 建築業協会	建築基準法・建築士法改正方向への各団体の取組み、各団体報告事項、その他
2007. 1. 30 本会会議室	建築基準法・建築士法への対応、各会報告、その他

\*本会、建築業協会、日本建築家協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会

## 1.8 日本技術者教育認定機構 (JABEE)\*

開催年月日 場所	主要議事とその処理
2006. 4. 18 本会会議室	<総務委員会> 運営委員会、審査会関係、理事会関係、受託事業関係
2006. 5. 8 経団連会館	<理事会> 平成 17 年度事業報告概要・収支決算、平成 17 年度認定プログラム、平成 18 年度事業計画・収支予算
2006. 6. 6 本会会議室	<総務委員会> 理事会報告、認定・審査、受託事業、広報、国際関係、産業諮問評議会報告
2006. 7. 11 本会会議室	<総務委員会> 総会・運営委員会報告、認定審査関係報告、受託事業関係報告
2006. 9. 5 本会会議室	<総務委員会> 審査員・オブザーバーについて、修了生の管理、受託事業関係、国際関係、広報関係
2006. 10. 3 本会会議室	<総務委員会> 運営委員会報告、認定審査関係、基準委員会関係、審査員導入研修会、大学院認定
2006. 10. 13 経団連会館	<理事会> 平成 18 年度認定委員選任、平成 18 年度特別会計収支予算、大学院修士課程認定基本方針、中国・マレーシアとの協力協定
2006. 11. 7 本会会議室	<総務委員会> 理事会・運営委員会報告、認定審査・基準・大学院認定・受託事業・国際・広報の報告
2006. 12. 12 本会会議室	<総務委員会> 各委員会報告、受託関係、国際関係、広報関係
2007. 1. 16 本会会議室	<総務委員会> 運営委員会・規準委員会報告、認定・審査関係、審査員養成、国際関係
2007. 2. 13 本会会議室	<総務委員会> 各委員会報告、認定・審査関係、審査員養成
2007. 3. 13 東京機械会議室	<総務委員会> 定款ならびに組織のあり方、理事候補推薦依頼、審査員養成、広報

\*工学系 91 学協会、本会は理事団体、経済産業省が支援

## 1.9 建築設計資格制度調査会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 4. 4 普及センター	<幹事会> 13 団体共同提言の取りまとめ, 今後の進め方について
2006. 4. 10 普及センター	建築 CPD 運営会議の設立, APEC エンジニア/アーキテクト, これまでの幹事会の検討経過と今後の進め方について
2006. 4. 21 普及センター	<幹事会> 13 団体共同提言に対する日本建築士会連合会における検討結果, 今後の進め方について

\*建築 5 団体, 国土交通省, 建築技術教育普及センター, 事務局は建築技術教育普及センター

## 1.10 APEC アーキテクト・プロジェクト・モニタリング委員会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 9. 20 普及センター	APEC アーキテクトの登録者の決定について
2007. 3. 22 普及センター	<幹事会> APEC アーキテクト受入にあたっての「固有事項審査」の在り方, 他エコノミーとの相互承認協議の状況について

\*学識経験者+5 団体+建築技術教育普及センター, 事務局は建築技術教育普及センター

## 1.11 日本工学会 技術者能力開発(PDE)協議会\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 6. 23 本会会議室	<運営委員会> 平成 17 年度専門委員会活動報告, 平成 18 年度会費および活動計画, 平成 19 年度以降の活動方針について
2006. 10. 17 日本機械学会	<運営委員会> 中期計画と平成 18 年度の活動方針, 今後の進め方について
2007. 2. 22 日本機械学会	<運営委員会・全体会議> 日本工学会の中長期計画案における技術者能力開発事業のあり方の検討について
2007. 3. 29 日本機械学会	<全体会議> 各専門委員会報告について

\*工学系 41 学協会が参加, 本会は幹事団体

## 1.12 建築 CPD 連絡会議\*

開催年月日 場 所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 4. 11 普及センター	建築 CPD 運営会議の設立, 認定基準, 認定プログラム情報の提供, 建築 CPD 運営会議データベースの管理について
2006. 4. 26 普及センター	<プログラム審査会> プログラム審査会の設立, 認定基準, 判定指針, 審査について
2006. 5. 15 普及センター	第 1 回運営会議決定事項ならびにプログラム審査会報告, プログラム判定指針・プログラム認定制度認定基準について
2006. 6. 7 普及センター	前回決定事項の確認, プログラム審査会, プログラム判定指針, プログラム認定制度認定基準について
2006. 6. 21 普及センター	<プログラム審査会>判定指針、プログラム審査、特別認定講習会認定基準について
2006. 8. 28	<プログラム審査会>プログラム審査、特別認定講習会認定基準について

普及センター	
2006. 10. 12 普及センター	プログラム審査, 特別認定講習会審査について
2006. 10. 27	<プログラム審査会>特別認定講習会審査について
2006. 1. 17	<プログラム審査会>プログラム審査
2007. 1. 26 普及センター	特別認定講習, 今後の取り組みについて
2006. 3. 15	<プログラム審査会>特別認定講習会、プログラム審査について

\*建築 5 団体+建築技術教育普及センター, 事務局は建築技術教育普及センター

### 1.13 建設系 CPD 協議会\*

開催年月日 場所	主 要 議 事 と そ の 処 理
2006. 4. 26 土木学会	<運営委員会> 新規参加団体の費用負担, プログラム情報検索システムの現状, 今後の活動方針について
2006. 7. 7 土木学会	<運営委員会> 新規参加団体の費用負担のあり方申し合わせ, 電気電子・情報系 CPD 協議会への対応, CPDS の今後のテーマについて
2006. 7. 26 土木学会	<システム検討部会> 今後の活動, プログラム情報の検索・閲覧システムの現状および HP 改良について
2006. 9. 28 土木学会	<システム検討部会> CPD 実施アンケート(案), 主要学協会の CPD 単位の比較について
2006. 10. 2 土木学会	<運営委員会> CPD 実施状況把握のためのアンケート、プログラム情報検索・閲覧システムの現状について
2006. 11. 22 土木学会	<システム検討部会> CPD 実施状況ヒアリング、HP の修正について
2007. 1. 24 土木学会	<システム検討部会> 建設系 CPD 協議会ワークショップ, ヒアリング, アンケート結果報告について
2007. 3. 6 土木学会	<運営委員会> 建設系 CPD 協議会ワークショップ報告, 今後の取り組み課題について

\*建設系 11 学協会が参加, 事務局は土木学会

## 2. 大 会

### 2.1 概 要

1. 期 日：2006年9月7日（木）～9日（土）

2. 会 場：神奈川大学

3. 大会テーマ：社会とともにー建築

4. 内 容

(1) 学術講演発表題数（オーガナイズドセッション、ポスターセッションを含む）

部 門	発表題数	参加者数
材 料	561	1,368
構 造	1,913	4,312
建築歴史・意匠	393	746
防 火	159	432
建築経済	113	258
環境工学	1,178	3,277
建築教育	17	30
都市計画	510	653
建築計画	788	1,339
農村計画	97	138
海 洋	45	47
情報システム	60	92
合 計	5,834	12,692

(2) 研究集会

研究協議会	14主題	1,962名
パネルディスカッション	30主題	3,085名
研究懇談会	2主題	136名
計	46主題	計 5,183名

(3) 2006年度日本建築学会支部共通事業設計競技

「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」公開審査 120名

(4) 建築作品展 456名

(5) 全国大学・高専卒業設計展示会 240名

(6) 記念行事

1) 創立120周年記念講演・シンポジウム「社会とともにー建築」	220名
2) 講演会「建築の社会性」	98名
3) 見学会「横浜の現代建築を訪ねて」	55名
4) 見学会「海から見る京浜工業地帯」	94名
5) 見学会「横浜のリノベーション建築」	68名
6) シンポジウム「リノベーションの可能性」	60名
7) まちづくりワークショップ「小さなプロジェクトの積み重ねで災害に備える」	88名
8) 第2回学生主体によるシャレットワークショップ「逗子のまちづくりデザインを考える」	28名
9) 同 上 公開講評会	60名
計	771名

(7) パネル展示

- 1) 「成功する建築・都市教育支援活動の実際」
- 2) 第2回学生主体によるシャレットワークショップ「逗子のまちづくりデザインを考える」

5. 大会参加者

(1) 有料会員・会員外

	事前登録	当日登録	計
会員・一般	2,088名	3,554名	5,642名
会員・大学院	1,338名	1,338名	2,676名
会員外・一般	47名	370名	417名
会員外・大学院	28名	181名	209名
会員外・登録メンバー	1名	1名	2名
計	3,502名	5,444名	8,946名

(2) 無料登録者(準会員・学生・市民) 657名

(3) 合計参加者数 9,603名

6. 開会式 9月7日(木) 神奈川大学16号館セレストホール

司 会 紀谷文樹 (大会総務部会長)  
 開会の辞 大熊武司 (大会実行委員長)  
 歓迎の辞 坂本 功 (大会委員長)  
 挨拶 村上周三 (会長)  
 出席者 40名

7. 閉会式 9月9日(土) 神奈川大学16号館セレストホール

司 会 紀谷文樹 (大会総務部会長)  
 閉会の辞 大熊武司 (大会実行委員長)  
 閉会の挨拶 嘉納成男 (副会長)  
 学会旗の引き継ぎ 片桐正夫 (関東支部長)  
 竹下輝和 (九州支部長)  
 挨拶 竹下輝和 (九州支部長)  
 出席者 37名

8. 懇親会 9月7日(木) 横浜港大さん橋国際客船ターミナル 大さん橋ホール

司 会 山家京子 (大会学術・会場部会幹事)  
 開会の辞 大熊武司 (大会委員長)  
 挨拶 村上周三 (会長)  
 挨拶 金田孝之 (横浜市副市長)  
 乾 杯 山火正則 (神奈川大学学長)  
 挨拶 坂本 功 (大会委員長)  
 挨拶 竹下輝和 (九州支部長)  
 閉会の辞 岩田 衛 (大会副実行委員長)  
 参加者 398名

9. 託児所 9月7日～9日

使用料: 午前、午後 各1,000円

半日単位利用者合計 18名 (9/7: 4人、9/8: 5人、9/9: 9人)

10. 聴覚障害者の参加

聴覚障害を持つ参加希望者3名に対し、一人当たり3名の手話通訳者を3日間手配し、本人の研究発表および希望するすべてのセッションへの参加を支援した。



## 2.2 学術講演会

数字は午前10時、午後2時の在室者数

号館	室番	部門	9月7日(木)		9月8日		9月9日	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後
7号館	7-13	研協・PD・研懇	計画研懇 98	計画研協 207	計画他PD 133	防火研協 137	総合論文PD 51	海洋研協 34
	7-21	研協・PD・研懇	-	材料研協 159	材料PD 128	情報研協 83	倫理研懇 38	材料PD 95
8号館	8-11	研協・PD・研懇	-	災害PD 255	特研PD 35	応力PD 94	特研PD 30	特研研協 38
10号館	10-41	研協・PD・研懇	-	SCCSPD 115	荷重PD 37	振動PD 285	鋼構造PD 270	特調研協 450
	10-42	研協・PD・研懇	-	シエルPD 320	PC構造PD 113	基礎構造PD 190	RC構造PD 78	仮設構造PD 43
11号館	11-11	研協・PD・研懇	設計競技 88	設計競技 60	経済PD 46	環境研協 155	JABEED 52	農村研協 31
16号館	レストラン	研協・PD・研懇	農村他PD 71	総合研協 271	地球PD 49	地球PD 68	地球PD 41	計画PD 101
23号館	23-201	研協・PD・研懇	-	都市研協 113	都市PD 45	歴史研協 159	歴史PD 96	歴史PD 53
	23-301	研協・PD・研懇	-	都市PD 58	都市PD 78	経済研協 74	法制研協 51	教育PD 55
7号館	7-14	建築計画1	32	-	44	64	19	37
	7-31	建築計画2	37	-	46	53	29	-
	7-32	建築計画3	27	-	43	41	47	42
	7-33	建築計画4	24	-	64	95	26	42
	7-34	建築計画5	32	-	24	47	43	28
	7-42	建築計画6	26	-	32	50	42	52
	7-43	建築計画7	20	-	32	48	25	26
	7-44	材料施工1	30	-	60	92	28	43
	7-51	材料施工2	34	-	38	35	42	36
	7-52	材料施工3	45	-	48	59	23	51
	7-53	材料施工4	35	-	28	62	27	33
	7-62	材料施工5	78	-	29	104	46	53
	7-63	材料施工6	33	-	27	44	41	64
8号館	8-13	構造1	43	38	-	66	68	63
	8-14	構造2	39	43	59	-	39	40
	8-15	構造3	49	45	59	-	29	41
	8-21	構造4	55	64	50	-	41	-
	8-22	構造5	36	50	61	-	35	27
	8-23	構造6	38	57	22	-	57	24
	8-33	構造7	-	45	29	-	34	32
	8-34	構造8	42	-	88	110	36	33
	8-41	防火1	42	78	43	-	45	-
	8-42	防火2	38	60	55	-	71	-

11号館	11-12	環境工学1	52	115	50	-	69	92
	11-13	環境工学2	34	93	42	-	38	60
	11-21	環境工学3	48	58	31	-	53	37
	11-22	環境工学4	82	67	75	-	47	91
	11-23	環境工学5	57	45	42	-	54	51
	11-24	環境工学6	77	84	70	-	46	29
	11-25	環境工学7	62	86	58	-	43	38
	11-35	環境工学8	40	74	41	-	64	60
	11-36	環境工学9	60	17	56	-	35	39
	11-37	環境工学10	34	82	64	-	95	86
	11-413	環境工学11	75	71	40	-	70	98
20号館	20-109	都市計画1	24	-	32	34	31	31
	20-110	都市計画2	28	-	-	35	24	43
	20-111	都市計画3	26	-	35	45	23	-
	20-112	都市計画4	22	-	24	29	28	51
	20-113	都市計画5	-	-	19	31	20	18
	20-201	農村計画	-	30	43	31	34	-
	20-203	歴史・意匠1 ／海洋	32	53	31	27	20	38
	20-208	歴史・意匠2	14	38	31	-	31	-
	20-210	歴史・意匠3	28	42	31	-	24	56
	20-310	歴史・意匠4	55	77	38	-	71	56
23号館	23-203	構造9	69	59	82	41	-	36
	23-205	構造10	38	42	20	52	-	27
	23-206	構造11	51	51	33	55	-	70
	23-208	構造12	45	-	31	37	-	-
	23-209	構造13	-	68	-	58	45	44
	23-303	情報システム/ 教育／建築経済2	30	32	30	30	16	-
	23-304	建築経済1	46	40	39	39	28	34
	23-306	構造14	73	52	41	40	32	26
	23-307	構造15	35	46	38	51	-	50
	23-309	構造16	57	60	39	52	-	46
	23-310	構造17	52	85	44	78	57	64
23-311	構造18	42	72	57	71	41	70	
2号館	2-B201	建築作品展	8	60	60	18	28	23
	2-B201	ポスター セッション	-	22	110	49	78	-
8号館	8-43	卒業設計展	9	14	7	19	11	5
	8-44	卒業設計展	7	17	8	21	13	7

## 2.3 部門別研究集会（研究協議会・研究懇談会・パネルディスカッション）

部門	区分	主題	日時	会場
総合	研協	耐震強度偽装事件に関する最終報告－健全な設計・生産システム構築のための提言・解説	9月7日（木） 13:00～17:00	16号館セレストホール
材料施工	研協	コンクリート技術の動向と JASS5 の方向	9月7日（木） 13:15～17:00	7号館 21 室
	PD	固形エンドタブ工法を用いた梁端溶接接合部の欠陥評価を考える	9月9日（土） 13:15～17:00	7号館 21 室
	PD	進化を続ける建築外皮と克服すべき課題	9月8日（金） 9:00～12:00	7号館 21 室
構造	PD	〔応用力学〕 重要構造物の耐衝突・耐爆性能評価と防止対策	9月8日（金） 13:00～15:30	8号館 11 室
	PD	〔荷重〕 温度変化を考慮した建築構造の設計	9月8日（金） 9:00～12:00	10号館 41 室
	PD	〔基礎構造〕 性能設計と地盤調査	9月8日（金） 13:00～16:50	10号館 42 室
	PD	〔鋼構造〕 鋼構造制振技術の現状と設計指針への期待－鋼構造における制振のこれから	9月9日（土） 9:15～12:00	10号館 41 室
	PD	〔RC 構造〕 大断面 R C 基礎部材の強度・変形性能	9月9日（土） 9:00～12:00	10号館 42 室
	PD	〔PC 構造〕 実施例から見える PC 構造の将来性	9月8日（金） 9:00～12:00	10号館 42 室
	PD	〔SCCS〕 New Composite Structures –CES 構造システムの実用化を目指して	9月7日（木） 13:15～17:00	10号館 41 室
	PD	〔シェル・空間構造〕 ストラクチャル・デザインの行方	9月7日（木） 13:00～17:00	10号館 42 室
	PD	〔振動〕 建築物の地震時挙動を知るために－建築物における強震観測の意義	9月8日（金） 13:15～16:45	10号館 41 室
	PD	〔仮設構造〕 期限付き建築物の再使用・再利用を探る－構造部材のリユースについて	9月9日（土） 13:30～16:00	10号館 42 室
防火	研協	超高層ビルの火災安全を再考する	9月8日（金） 13:00～17:00	7号館 13 室
環境工学	研協	建築環境性能に関する説明責任	9月8日（金） 13:30～17:00	11号館 11 室
建築計画	研協	プロトタイプからプロトコルへ－21 世紀の建築計画学のあり方を展望する	9月7日（木） 13:15～17:00	7号館 13 室
	PD	たたかう住宅・住宅地－住宅地の再生	9月9日（土） 13:00～17:00	16号館セレストホール
	研懇	建築計画、その可能性の中心－建築計画は集落を超えることが出来るか	9月7日（木） 9:15～12:00	7号館 13 室
農村計画	研協	ラーバンデザインがきり拓くもの－混在・混住から共生の環境へ	9月9日（土） 13:00～16:30	11号館 11 室
農村・特別研究合同	PD	自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画	9月7日（木） 9:15～12:00	16号館セレストホール

都市計画	研協	期待されるまちづくり連携のプラットフォーム ーまちづくり実践教育の成果と展望	9月7日(木) 13:00~17:00	23号館201室
	PD	都市と大学の連携による都市・地域の再生	9月8日(金) 9:00~12:00	23号館201室
	PD	非成長時代の土地利用像と実現手法ー市街地フリンジにみるアーバンフォームとマネジメント	9月7日(木) 13:00~17:00	23号館301室
	PD	変わりゆく生活景	9月8日(金) 9:00~12:00	23号館301室
建築経済	研協	建設現場技術者の流動化と教育問題	9月8日(金) 13:15~17:00	23号館301室
	PD	建築物マネジメントのシステム化と体系化	9月8日(金) 9:00~12:00	11号館11室
計画・都市・経済・農村合同	PD	住宅系研究の動向と新たな展開ーその横断的議論	9月8日(金) 9:00~12:00	7号館13室
建築歴史・意匠	研協	10年経った登録文化財	9月8日(金) 13:30~17:00	23号館201室
	PD	モダニズムから70年代へ	9月9日(土) 9:00~12:00	23号館201室
	PD	平泉建築文化にみる中央性と地方性	9月9日(土) 13:00~16:30	23号館201室
海洋	研協	横浜港メガフロートを事例としてー実例を通して「アダプティブ海洋建築」を考える	9月9日(土) 13:00~17:00	7号館13室
情報システム技術	研協	建築・都市の防災・減災を支える情報システム技術	9月8日(金) 13:00~16:40	7号館21室
建築教育	PD	成功する建築・まちづくり教育支援活動の実際	9月9日(土) 13:30~16:00	23号館301室
建築法制	研協	既存不適格建築物を対象としてー建築ストック社会における建築法制度を考える	9月9日(土) 9:00~12:00	23号館301室
災害	PD	首都圏を襲う可能性のある地震に備えて(直下型地震、長周期地震)	9月7日(木) 13:00~17:00	8号館11室
地球環境	PD	社会ニーズの変化と建築構造ー良好な社会ストックとしての構造性能評価手法の確立に向けて	9月8日(金) 13:00~17:00	16号館セレストホール
	PD	「環境」と防災ー持続的な生活環境づくりのための総合的エンジニアリングをめざして	9月8日(金) 9:00~12:00	16号館セレストホール
	PD	地球環境のための新たなビジネスモデル創造の可能性	9月9日(土) 9:00~12:00	16号館セレストホール
特別研究	研協	〔建築教育〕新たな時代の教育界と産業界の教育連携のあり方を探る	9月9日(土) 13:30~16:30	8号館11室
	PD	〔男女共同〕建築の教育・研究・就業の場における男女共同参画の課題と可能性	9月8日(金) 9:00~12:00	8号館11室
	PD	〔木造廃校舎+農村〕地域資源としての木造廃校舎の可能性	9月9日(土) 9:00~12:00	8号館11室
特別調査	研協	〔巨大災害〕巨大地震による長周期地震動の予測と既存建築物の耐震性と今後の課題	9月9日(土) 13:00~17:00	10号館41室
総合論文誌委員会	PD	情報化の視点からみた建築・都市のフロンティア	9月9日(土) 9:00~12:10	7号館13室
倫理委員会	研懇	技術者倫理の遵守とその社会的条件	9月9日(土) 9:00~12:00	7号館21室
建築教育認定事業委員会	PD	動き出すJABEE大学院認定	9月9日(土) 9:00~12:00	11号館11室

## 2.4 2006年日本建築学会賞（論文・業績）受賞者記念講演

期 日	時 間	講演題目	講演者	会 場
9月7日（木）	13:00～13:15	建築仕上材料の感触の評価方法に関する研究	松井 勇	7号館21室
		鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート構造の耐力と変形性能に関する一連の研究	称原 良一	10号館41室
		数値計画法を用いた施設計画に関する一連の研究	宗本 順三	7号館13室
9月8日（金）	13:00～13:15	杭基礎の非線形動的相互作用の解明と耐震性能評価法の高度化に関する一連の研究	宮本 裕司	10号館41室
	13:00～13:15	建築気候とオフィスの環境設計に関する一連の研究	郡 公子	11号館11室
	13:15～13:30	人間－環境－社会システムのモデル化に関する都市建築環境論	谷本 潤	
	13:00～13:15	持続可能性の向上に資する建築生産のあり方に関する研究	野城 智也	23号館301室
	13:00～13:15	『近世近代町家建築史論』に集大成された一連の町家研究	大場 修	23号館201室
	13:15～13:30	日本における都市空間の近世史に関する研究	宮本 雅明	
9月9日（土）	9:00～9:15	鋼構造柱梁溶接接合部における破壊および変形能力に関する一連の研究	中込 忠男	10号館41室
	13:00～13:15	建築鉄骨の品質向上と信頼性確保に関する一連の業績	橋本 篤秀	7号館21室

### 3. 表 彰

#### 3.1 2006 年日本建築学会大賞

表 彰 業 績	受 賞 者
永年にもわたる構造設計活動による建築界への貢献	終身正会員 木 村 俊 彦 君 (建築構造家)
建築人間工学・インテリア計画の確立と発展 および「木の文化」の普及に関する一連の功績	正 会 員 小 原 二 郎 君 (千葉大学名誉教授・千葉工業大学常任理事)
建築環境工学、特に光環境工学の研究・教育とその発展に対する貢献	名誉会員 松 浦 邦 男 君 (財)建築研究協会理事長・京都大学名誉教授)

※推薦件数14件

#### 3.2 2006年日本建築学会賞

表 彰 業 績	受 賞 者
『近世近代町家建築史論』に集大成された一連の町家研究	正会員 大 場 修 君 (京都府立大学教授)
建築気候とオフィスの環境設計に関する一連の研究	正会員 郡 公 子 君 (宇都宮大学助教授)
鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート構造の耐力と変形性能に関する一連の研究	正会員 称 原 良 一 君 (清水建設(株)建築技術部 上席エンジニア)
人間－環境－社会システムのモデル化に関する都市建築環境論	正会員 谷 本 潤 君 (九州大学教授)
鋼構造柱梁溶接接合部における破壊および変形能力に関する一連の研究	正会員 中 込 忠 男 君 (信州大学教授)
建築仕上材料の感触の評価方法に関する研究	正会員 松 井 勇 君 (日本大学教授)
日本における都市空間の近世史に関する研究	正会員 宮 本 雅 明 君 (九州大学教授)
杭基礎の非線形動的相互作用の解明と耐震性能評価法の高度化に関する一連の研究	正会員 宮 本 裕 司 君 (鹿島建設(株)小堀研究室地震地盤研究グループ長)
数理計画法を用いた施設計画に関する一連の研究	正会員 宗 本 順 三 君 (京都大学教授)
持続可能性の向上に資する建築生産のあり方に関する研究	正会員 野 城 智 也 君 (東京大学生産技術研究所教授)

作 品	金沢 21世紀美術館	正会員 妹島和世君 (SANAA代表取締役) 正会員 西沢立衛君 (SANAA代表取締役)
	北上市文化交流センター さくらホール	正会員 野口秀世君 (㈱久米設計設計本部設計部長)
	富弘美術館	正会員 ヨコミゾマコト君 (aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所代表取締役)
技 術	データセンター向け空調システムの研究開発とその 実用化	正会員 植草常雄君 (㈱エヌ・ティ・ティファシリティーズ 研究開発本部環境・エネルギー部門 長) 正会員 藁谷至誠君 (㈱エヌ・ティ・ティファシリティーズ 研究開発本部環境・エネルギー部門 主任研究員) 正会員 木下学君 (㈱エヌ・ティ・ティファシリティーズ 研究開発本部環境・エネルギー部門 主任研究員)
	超高層ビルのガラスファサード技術 ー 泉ガーデンのリブガラスカーテンウォールとそれ を活かす構造・設備技術ー	正会員 櫻井 潔 君 (㈱日建設計代表取締役副社長設計 統括) 正会員 慶伊道夫君 (㈱日建設計構造設計室長) 正会員 野原文男君 (㈱日建設計設備設計部門統括部長) 正会員 村田 修 君 (㈱日建設計設計長) 正会員 横田 暉生君 (横田外装研究室主宰) 賀井 伸一郎 殿 (日本板硝子㈱建築硝子部主席技師)
	偏心ロータ式高品質再生骨材製造技術の開発	正会員 米澤敏男君 (㈱竹中工務店技術研究所建設技術研 究部部長) 正会員 柳橋邦生君 (㈱竹中工務店技術研究所先端技術研 究部グループリーダー) 荒川和明殿 (クリモトメック㈱常務取締役) 山田 優 殿 (大阪市立大学名誉教授)

業 績	人と縁をはぐくむ住まいまち育て活動	正会員 延 藤 安 弘 君 (愛知産業大学教授)
	大阪府中央公会堂の保存・再生	大阪府中央公会堂 殿 大阪府住宅局営繕部 殿 大阪府中央公会堂保存・再生プロジェクト技術検討会 殿 坂倉・平田・青山・新日設設計共同企業体 殿 清水・西松・大鉄特定建設工事共同企業体 殿
	市民参加による大洲城天守の復元	大洲市 殿 井波社寺建築 代表 野村 克己 殿 正会員 富士川 俊 輔 君 (株三宿工房一級建築士事務所代表取締役) 正会員 前 川 康 君 (株前川建築研究室代表取締役) 竹林舎建築研究所有限公司 殿
	建築鉄骨の品質向上と信頼性確保に関する一連の業績	正会員 橋 本 篤 秀 君 (千葉工業大学教授)

※応募推薦件数：論文 33 件，作品 32 件，技術 7 件，業績 20 件

### 3.3 2006 年日本建築学会奨励賞

表 彰 業 績	受 賞 者
開拓使旧蔵建築関連洋書の購入と移管経緯について －開拓使旧蔵建築関連洋書に関する研究 その1－	正会員 池 上 重 康 君 (北海道大学助手)
高強度材料を用いた柱部材の引張軸力時の復元力特性に関する研究	正会員 石 川 裕 次 君 (株竹中工務店技術研究所主任研究員)
空気集熱式太陽熱暖房システムの簡易設計法に関する研究	正会員 北 野 博 亮 君 (三重大学助手)
水平方向単一パルス波を受ける単層ラチスドームの動的座屈性状	正会員 熊 谷 知 彦 君 (東京工業大学助手)
目標空間イメージの編集によるまちづくり協議ツールの開発に関する研究 －建替えデザインゲームによる景観形成手法の開発－	正会員 志 村 秀 明 君 (芝浦工業大学助教授)
夏季夜間の都市表面熱収支に関する研究	正会員 竹 林 英 樹 君 (神戸大学助手)
沖縄における米式住宅の非住居機能への転用に関する研究	正会員 田 上 健 一 君 (九州大学助教授)
高強度コンクリートの若材齢における変動荷重下のクリープ挙動	正会員 萩 原 伸 治 君 (財)建材試験センター中央試験所)



文章の読みやすさについての多様な設計水準に対応する明視三要素条件を示す「等読みやすさ曲面」	正会員 原 直 也 君 (関西大学専任講師)
Fiber Modeling Analysis for Cyclic Flexure / Shear Behavior of RC Columns Retrofitted by Pre-Tensioned High Strength Steel Bars	正会員 メヒディ・バナザデ 君 (アミールカビール技術大学講師)
松室重光「京都府古社寺建築調査報告」について	正会員 山 崎 幹 泰 君 (金沢工業大学講師)
継続的な視点からみた痴呆性高齢者グループホームの環境とその変容に関する研究	正会員 巖 爽 君 (宮城学院女子大学助教授)
ピストイアにみられる濃強縞模様型ビクロミアについて —中世後期トスカーナの宗教建築におけるポリクロミアに関する研究 その3—	正会員 吉 田 香 澄 君 (ストゥーディオ・アツツチャート・セッキューヴィガノ所員)
旧住宅地造成事業による未成住宅地の土地所有構造 —つくば市SR地区を事例として—	正会員 吉 田 友 彦 君 (筑波大学講師)
曲げ降伏後にせん断破壊するRC梁および柱の復元力特性モデル	正会員 渡 辺 英 義 君 (大成建設(株)技術センター建築技術研究所主任研究員)

※応募件数49件 (構造12件、環境8件、計画29件)

### 3.4 2006年日本建築学会作品選奨

表 彰 業 績	受 賞 者
日本工業倶楽部会館・三菱UFJ信託銀行本店ビル	正会員 岩 井 光 男 君 (株)三菱地所設計代表取締役副社長執行役員)
	正会員 稲 田 達 夫 君 (株)三菱地所設計技術情報部長)
	正会員 狩 野 大 和 君 (株)三菱地所設計執行役員建築設計部統括部長)
	正会員 佐 藤 和 清 君 (株)三菱地所設計都市開発マネジメント部長)
	正会員 野 村 和 宣 君 (株)三菱地所設計建築設計部主幹)
	正会員 今 枝 亮 一 君 (株)三菱地所設計名古屋支店担当課長)
筑紫の丘斎場	正会員 遠 藤 秀 平 君 (遠藤秀平建築研究所)
モエレ沼公園 ガラスのピラミッド	正会員 川 村 純 一 君 (アーキテクトファイブ代表取締役)
	正会員 堀 越 英 嗣 君 (芝浦工業大学教授 ・堀越英嗣/ARCHITECT 5 代表)
	正会員 松 岡 拓 公 雄 君 (滋賀県立大学教授)
東京農業大学「食」と「農」の博物館	正会員 隈 研 吾 君 (隈研吾建築都市設計事務所代表)
福野の家	正会員 濱 田 修 君 (濱田修建築研究所代表取締役)

鹿沢インフォメーションセンターと森の小径 上信 越高原国立公園 鹿沢園地 自然学習歩道施設整備	正会員 平倉直子君 (平倉直子建築設計事務所代表)
中国木材 名古屋事業所	正会員 福島加津也君 (福島加津也+富永祥子建築設計事務所) 正会員 富永祥子君 (福島加津也+富永祥子建築設計事務所)
六花亭真駒内ホール	正会員 古市徹雄君 (㈱古市徹雄都市建築研究所代 表取締役・千葉工業大学教授)
浄土宗 長谷院	正会員 宮崎浩君 (㈱プランツアソシエイツ代表取締役)
杉並の家	正会員 村上美奈子君 (計画工房主宰)
時事通信ビル	正会員 森島清太君 (鹿島建設㈱建築設計本部本部次長) 正会員 北典夫君 (鹿島建設㈱建築設計本部グループリー ダー)
昭和町立押原小学校	正会員 山本健司君 (㈱久米設計設計本部設計部長) 正会員 伊藤彰彦君 (㈱久米設計設計本部建築設計部上席主 査) 正会員 木津潤平君 (木津潤平建築設計事務所代表・元㈱久 米設計) 正会員 長澤悟君 (東洋大学教授)

### 3.5 2006年日本建築学会文化賞

表彰業績	受賞者
日本の住まいにおける風土性と持続性の研究を通して の建築文化への貢献	オギュスタン・ベルク 殿 (フランス国立社会科学高等研究院教授)
伝統的工法である「土佐漆喰」を現代にも通用するよ うに技術的改良を重ね、その施工技術の伝承を全国的 に普及した功績	久保田 騎志夫 殿 (久保田左官)
日本の近代建築を対象にした写真家活動	増田 彰久 殿 (増田彰久写真事務所主宰)

※推薦件数7件

### 3.6 2006 年日本建築学会優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞

(タジマ建築教育振興基金対象事業)

部	部門	論文名	受賞者	
学部	構造	1969年に建設された既存鉄骨建物が現有する耐震性能の検証	正会員 赤澤 資貴 君 (京都大学)	
		履歴型制振ブレースを設置した既存RC造建物の耐震性能に関する研究	正会員 落合 徹 君 (東京理科大学)	
		PVA繊維を使用したハイブリッド・ファイバー・コンクリートの拘束収縮変形特性－完全拘束実験と収縮変形力学モデル化の検討－	正会員 小島 一樹 君 (宇都宮大学)	
		CFT周辺柱を有する3層制振壁の弾塑性性状に関する実験的研究	正会員 増田 真吾 君 (九州大学)	
	計画	KEP方式による可変型集合住宅の経年変化に関する研究	正会員 石見 康洋 君 (芝浦工業大学)	
		新設高齢者向け優良賃貸住宅の時系列で見た居住の変化に関する研究－ビバース日進町におけるよろずやの活動と共用空間の活用状況－	正会員 稲垣亜希子 君 (明治大学)	
		郡衙正倉の建築技術	正会員 海野 聡 君 (東京大学)	
		広島県旧豊松村の明治期の家屋台帳と民家－家屋台帳に見る民家の諸形態とその変遷－	正会員 喜田華奈子 君 (京都女子大学)	
		河港町津川における歴史的建造物の残存状況および建築特性	正会員 小林 満 君 (新潟大学)	
		外国人の郊外団地居住に関する研究 －多文化共生を軸とした団地再生－	正会員 崎川 瑛子 君 (東京理科大学) 正会員 鈴木 雅之 君 (東京理科大学)	
		車いすの走行評価に基づく多段型曲線スロープの設計手法に関する研究	正会員 平田 光明 君 (大阪大学)	
	環境	火災加熱後の冷却過程における集成材の燃え止まり性状の実験と解析	正会員 齋藤 悠輔 君 (京都大学)	
		建物周辺における風による雪の飛散・堆積の数値予測法に関する研究	正会員 志田 貴之 君 (新潟工科大学)	
		古墳壁画保存に関する研究 －石室内温湿度と結露性状の検討－	正会員 多羅間次郎 君 (京都大学)	
		被災者の生活と心の復興過程に関する考察－兵庫県南部地震を対象とした影響要因の分析－	正会員 中村 文香 君 (日本女子大学)	
	修士	構造	残留変形低減をめざしたセルフセンタリング機能付与型柱脚機構の開発	正会員 池永 昌容 君 (京都大学)
			耐震診断基準における「せん断柱」からなる建物の耐震性評価	正会員 上野裕美子 君 (東京都立大学)
			外ダイアフラム形式柱梁接合部と間柱型の制震部材からなる構造システムの設計法	正会員 松尾真太朗 君 (京都大学)
			積層ゴムの大変形領域の特性を考慮した免震建物の地震時挙動	正会員 山本 祥江 君 (北海道大学)

修士	計画	居住者の自主改修による民間賃貸住宅のストック活用型供給方法に関する研究	正会員	阿部菜穂美 君 (千葉大学)
		生産組織から見た民家に石を利用した構法に関する研究－対馬・新島を事例として－	正会員	釜床美也子 君 (筑波大学)
		中世後期東寺の空間と寺院組織	正会員	北脇 翔平 君 (京都大学)
		米国におけるブラウンフィールド再生政策とその実践に関する研究－ニューイングランド地方の都市を事例として－	正会員	黒瀬 武史 君 (東京大学)
		アジア的メインストリートの屋台・露店空間に関する研究－ジョグジャカルタ・マリオボロストリートを事例として－	正会員	高木 研作 君 (九州大学)
		近代の民家普請における建築材料の調達の実態について－旧稲葉家住宅を事例として－	正会員	高木 美佐 君 (京都府立大学)
		災害仮設住宅における居住環境改変とその支援－「仮設カフェ」による実践的研究－	正会員	長谷川 崇 君 (新潟大学)
		伊東忠太と沖縄の建築－『フィールドノート第二十二巻 琉球』を基に－	正会員	吉池 文枝 君 (京都工芸繊維大学)
	環境	一次元熱収支式と CFD 解析を用いた高反射率塗料のヒートアイランド緩和効果の検討	正会員	大木 泰祐 君 (武蔵工業大学)
		Test Chamber 法による化学物質放散量測定法と室内化学物質濃度低減対策に関する研究	正会員	徐 長厚 君 (東京大学)
火災時における高強度コンクリートの爆裂機構に関する理論的研究		正会員	出端 祐輔 君 (京都大学)	

分野別受賞論文数（総応募数 211 編／57 大学）

	構造系	計画系	環境系	合計
卒業論文	4編(24)	7編(49)	4編(17)	15編(90)
修士論文	4編(27)	8編(77)	3編(17)	15編(121)
合計	8編(51)	15編(126)	7編(34)	30編(211)

※（ ）内の数字は応募論文数

## 4. 支部共通事業

### 4.1 講習会

JASS 6 (鉄骨工事)・鉄骨工事技術指針 (工場製作編／工事現場施工編)・鉄骨精度測定指針改定講習会

<主 催> 日本建築学会

<後 援> 国土交通省, 開催地都道府県, 都市再生機構, 建築業協会, 日本建築家協会, 日本建築士会連合会, 開催地都道府県建築士会, 日本建築士事務所協会連合会, 開催地都道府県建築士事務所協会, 日本建築構造技術者協会, 日本建築センター

<主 旨>

日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事」は、日本に建設される通常規模・形態の建物を対象として、施主が総合建設業者に対して提示する各種仕様書のうち鉄骨工事にかかわる標準的な仕様書であり、総合建設業者自らが設計者などに対して履行すべき施工管理に関する事項と、総合建設業者から施工業者に対して示す仕様とからなるものである。また、鉄骨工事技術指針は JASS6 の解説の役割を果たすと共に、先導的な技術を適用したい場合に特記するための参考となるような情報や、先進的技術・工法等が記されており、工場での加工・製作を対象にした「工場製作編」と、現場での施工を対象にした「工事現場施工編」の2冊からなっている。さらに、「JASS6」の付則6の精度基準の詳細な説明として「鉄骨精度測定指針」がある。

現行の「JASS6」は1996年に刊行された。その後の調査・研究によって蓄積された新たな技術的知見や、鉄骨製作に関わる各種の規定等の改定を鉄骨製作に反映させるために、このたび、「JASS6」、2冊の「鉄骨工事技術指針」および「鉄骨精度測定指針」の4冊の出版物の同時改定を行い、その講習をした。

<講 師> 犬伏 昭, 岡田 久志, 加賀美安男, 坂本 真一, 嶋 徹, 吹田啓一郎, 田中 剛, 田淵 基嗣, 津山 巖, 寺門 三郎, 中込 忠男, 西尾 啓一, 藤田 哲也, 増田 浩志, 護 雅典, 山下 達雄, 山田 丈富

<テキスト> 建築工事標準仕様書JASS6 鉄骨工事・同解説  
鉄骨工事技術指針・工場製作編  
鉄骨工事技術指針・工事現場施工編  
鉄骨精度測定指針

<開催地等>

支 部	開催地	期 日	会 場	参 加 者
関 東	東 京	2月14日(水)	砂防会館本館	574名
東 北	仙 台	2月19日(月)	ハーネル仙台	148名
北海道	札 幌	2月20日(火)	ホテルノースシティ	112名
近 畿	大 阪	2月22日(木)	大阪科学技術センター8階大ホール	341名
東 海	名古屋	2月23日(金)	昭和ビル9Fホール	180名
〃	〃	3月9日(金)	昭和ビル9Fホール	130名
北 陸	金 沢	2月26日(月)	メルパルク金沢	80名
九 州	福 岡	2月27日(火)	福岡建設会館8F大ホール	137名
中 国	広 島	3月1日(木)	広島県情報プラザ地下多目的ホール	154名
四 国	高 知	3月5日(月)	公立学校共済組合高知宿泊所高知会館	58名
合 計				1,914名

### 4.2 設計競技

<課 題> 「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」

<主 催> 日本建築学会

<後 援> 日本建築家協会, 日本建築士会連合会, 日本建築士事務所協会連合会, 建築業協会

<主 旨>

この設計競技を企画している日本建築学会の設計競技事業委員会は、「ブラウンフィールドとは、商工業施設の跡地、遊休地あるいは不完全利用地で、環境汚染が発生したり、荒廃が進んでいるため、拡張や再開発

が困難なものを指す」と述べている。

こうしたブラウンフィールドを再生させることを求めるのがこの設計競技のテーマである。しかしながら、ブラウンフィールドといってもさまざまな規模のものがあ、さまざまな状況におかれているものがあるであろう。どのような場所を対象に選ぶかが、まずもって大きな課題になる。どのような場所に注目し、そこにどのような問題を発見したのかを、十分に説明してほしい。それがおそらくは提案の方向性を決定してゆくであろうから。

個人的には、かつていくつかの鉱山の跡を訪れた記憶がよみがえる。炭鉱地帯はなかなかその跡を発見しにくい。ぼた山はあつという間に緑の小丘に変貌しているし、坑道は埋めもどされている。普通の田園に近いのだ。それ以外の鉱山には、いくばくかの遺跡が残る例があり、それらが新しく活用されている場合もある。生きている精錬施設で、硫黄の煙にまかれたこともあった。

工場跡地の場合はどうか。問題を抱えたまますでに住宅地化されているところもあれば、土壤改良を行って再利用されている場所もある。束の間の廃墟となっている場所もある。それらをどう利用するかは、立地とコストに関係してくるが、ここではコストよりはアイデアと夢を求めたい。危険ではあるが魅力的な産業遺産の廃墟を、新しい魅惑に満ちた「われわれの城」に変貌させられるかもしれない。

これまでの実例としては、ドイツのルール地方の再生を図った1990年代のIBA エムシャーパーク、あるいは1960年代にセドリック・プライスが提案した、英国の窯業地帯を主題にしたポタリーズ・シンクベルト計画などが思い浮かぶ。さらには土壤汚染の土地を「桜の園」にしてみようとする建築家もいる。

しかしながら場所によってそこに求められる計画は大きく異なるであろう。どこに問題を見だし、どこに未来の方向性を見いだすか、くり返すようであるが、それは場所の発見のされ方しだいである。そもそも日本のブラウンフィールドとは何なのか、それはどこに横たわっているのか。そこにどんな産業遺産が残されているのか。目と手を駆使した計画案を求めた。

審査委員長 鈴木博之

<全国審査員> 鈴木 博之、井上 容子、栗生 明、佐々木睦朗、佐々木葉二、手塚 貴晴、竺 覚暁、  
当麻 茂尚、早草 睦恵、堀 賀貴

<全国入選者>

応募資格……個人会員

賞	会員	氏名 (○:代表者)	所属	支部
最優秀賞 島本源徳賞	正会員	○新宅 健	山口大学大学院	中国
	正会員	三好 宏史	〃	
	正会員	山下 敦	〃	
優秀賞	正会員	○中野 茂夫	筑波大学大学院	関東
	正会員	小山 雄資	〃	
	正会員	不破 正仁	〃	
	正会員	神田 伸正	〃	
	正会員	市原 拓	〃	
	正会員	臂 徹	〃	
優秀賞	正会員	○堀江 晋一	大成建設株式会社	関東
	正会員	中野 弥	〃	
	正会員	関山 泰忠	〃	
	正会員	伊原 慶	〃	
	正会員	土屋 尚人	〃	
	正会員	出口 亮	〃	
優秀賞	正会員	○萩原 崇史	千葉大学大学院	関東
	正会員	佐本 雅弘	〃	
	正会員	真泉 洋介	〃	
優秀賞	正会員	○平山 善雄	九州大学大学院	九州
	正会員	安部 英輝	〃	
	正会員	馬場 大輔	〃	
	正会員	疋田 美紀	〃	
佳作	準会員	○皆川 和朗	日本大学	関東
	準会員	古賀 利郎	〃	

佳 作	正会員	○伊原 慶	大成建設株式会社	関東
	正会員	土屋 尚人	〃	
	正会員	出口 亮	〃	
	正会員	関山 泰忠	〃	
	正会員	中野 弥	〃	
	正会員	堀江 晋一	〃	
佳 作	正会員	○中西 正佳	京都大学大学院	近畿
	正会員	北 雄介	〃	
佳 作	準会員	○高田 郁	大阪市立大学	近畿
	準会員	黒木 悠真	〃	
	準会員	桜間 万里子	〃	
佳 作	正会員	○児玉 敏郁	崇城大学大学院	九州
	準会員	砂子 幸一	崇城大学	
	準会員	松村 賢治	〃	
	準会員	松山 真之	〃	
	準会員	若狭 哲人	〃	
佳 作	正会員	○稲田 靖之	熊本大学大学院	九州
	正会員	清田 圭志朗	〃	
	正会員	丸山 高央	〃	
佳 作	正会員	○三宅 成俊	佐賀大学大学院	九州
	正会員	淵上 貴由樹	〃	
	準会員	岩岡 隆之	佐賀大学	
タジマ奨励賞	準会員	○皆川 和朗	日本大学	関東
	準会員	古賀 利郎	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○広田 直樹	関西大学	近畿
	準会員	伏見 将彦	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○牧 奈歩	明石工業高等専門学校	近畿
	準会員	国居 郁子	〃	
	準会員	井上 亮太	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○三崎 恵理	関西大学	近畿
	準会員	小島 彩	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○高田 郁	大阪市立大学	近畿
	準会員	黒木 悠真	〃	
	準会員	桜間 万里子	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○伊藤 裕也	広島大学	中国
	準会員	江口 宇雄	〃	
	準会員	岡島 由賀	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○鈴木 聖明	近畿大学	中国
	準会員	高田 耕平	〃	
	準会員	田原 康啓	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○戎野 朗生	広島大学	四国
	準会員	森 智之	〃	
	準会員	豊田 章雄	〃	
	準会員	石川 陽一郎	〃	
	準会員	山根 俊輔	〃	
タジマ奨励賞	準会員	○田尻 昭久	崇城大学	九州
	準会員	長家 正典	〃	
	準会員	久富 太一	〃	

支 部	北海道	東 北	関 東	東 海	北 陸	近 畿	中 国	四 国	九 州	合 計
応 募 数	6	9	62	18	10	46	28	7	76	262
支部入選数	2	3	14	5	3	11	7	2	17	64

応募数：262 作品，支部入選数：64 作品  
 全国入選数：12 作品，タジマ奨励賞：9 作品

<備考>

全国入選作品および審査講評は「建築雑誌 2006 年 11 月号」に掲載の他、「優秀作品集」を 2007 年 3 月に刊行。

(タジマ奨励賞は、学部学生(それに準ずる)個人またはグループを対象とする)

#### 4.3 全国大学・高専卒業設計展示会 (第 47 回)

出展校 大学：154 校 (学科) / 短大：5 校 / 高専：13 校 / 能開大：2 校 計 174 校

開催支部	開催地	開催会場	開催期日	参観者数
北海道	室蘭	室蘭工業大学・大学会館多目的ホール	5 月 17 日 (水) ~ 5 月 19 日 (金)	250 名
	旭川	北海道東海大学 1 号館第 1 製図室・ホール	5 月 25 日 (木) ~ 5 月 28 日 (日)	430 名
	札幌	北海道大学 D 棟 D31 教室	6 月 2 日 (金) ~ 6 月 4 日 (日)	128 名
	釧路	釧路工業高等専門学校建築製図室	11 月 8 日 (水) ~ 11 月 10 日 (金)	200 名
東北	山形	東北芸術工科大学 1 階エントランスホール	6 月 19 日 (月) ~ 6 月 24 日 (土)	400 名
	本荘	秋田県立大学本荘キャンパス	7 月 21 日 (金) ~ 7 月 24 日 (月)	114 名
	仙台	東北大学人間環境系建物 2 階製図室	9 月 27 日 (水) ~ 9 月 29 日 (金)	40 名
	郡山	日本大学工学部 50 周年記念館大講堂	9 月 28 日 (木) ~ 9 月 29 日 (金)	191 名
	八戸	八戸工業大学建築工学科棟・設計室	10 月 21 日 (土) ~ 10 月 22 日 (日)	642 名
関東	宇都宮	宇都宮大学工学部建設棟 3 階 4 年製図室	7 月 12 日 (水) ~ 7 月 14 日 (金)	235 名
	東京	東京電機大学工学部建築学科製図室 (7 号館 10 階 7X01 室)	8 月 2 日 (水) ~ 8 月 4 日 (金)	178 名
	横浜	神奈川大学 8 号館 4 階建築学科製図室	9 月 7 日 (木) ~ 9 月 9 日 (土)	240 名
	足利	足利工業大学建築学科 8 号館第 2 製図室	10 月 7 日 (土) ~ 10 月 9 日 (月)	250 名
	前橋	前橋工科大学工学部新研究棟 1 階製図室 1・2	10 月 26 日 (木) ~ 10 月 28 日 (土)	604 名
東海	津	三重大学講堂 (山翠ホール) 小ホール・ホワイエ	5 月 6 日 (土) ~ 5 月 10 日 (水)	275 名
	名古屋	名古屋都市センター 11 階企画展示スペース	1 月 9 日 (火) ~ 1 月 14 日 (日)	264 名
北陸	長野	信州大学工学部社会開発工学科西棟 3 階製図室	6 月 12 日 (月) ~ 6 月 14 日 (水)	176 名
	新潟	新潟大学工学部 E 棟 5 階製図室	10 月 3 日 (火) ~ 10 月 5 日 (木)	200 名
	福井	福井県立美術館 (第 3 展示室)	12 月 7 日 (木) ~ 12 月 10 日 (日)	175 名
	石川	金沢工業大学ライブラリーセンター・1 階展示室	1 月 22 日 (月) ~ 1 月 28 日 (日)	1,194 名
近畿	大阪	大阪市立住まいのミュージアム (大阪暮らしの今昔館) 企画展示室	6 月 28 日 (水) ~ 7 月 2 日 (日)	700 名
	神戸	神戸芸術工科大学本館 1 階 KDU ギャラリー	1 月 12 日 (金) ~ 1 月 19 日 (金)	78 名
中国	広島	広島工業大学 設計実習室 3-301・303 号教室	7 月 31 日 (月) ~ 8 月 3 日 (木)	241 名
	宇部	山口大学工学部感性デザイン工学科本館 2 階製図室	8 月 7 日 (月) ~ 8 月 10 日 (木)	100 名
	米子	米子工業高等専門学校建築学科製図室	9 月 7 日 (木) ~ 9 月 11 日 (月)	231 名



四国	香美	高知工科大学 B 棟 5 階	7 月 26 日 (水) ～ 7 月 28 日 (金)	48 名
	徳島	専門学校穴吹カレッジ 11 階ビューホール	8 月 22 日 (火) ～ 8 月 24 日 (木)	50 名
	松山	愛媛県美術館	12 月 11 日 (月) ～ 12 月 17 日 (日)	196 名
九州	福岡	九州大学大橋キャンパス多次元ホール	5 月 9 日 (火) ～ 5 月 12 日 (金)	120 名
	熊本	熊本大学工学部百周年記念館	6 月 7 日 (水) ～ 6 月 9 日 (金)	479 名
	沖縄	琉球大学工学部 2 号館製図室	6 月 14 日 (水) ～ 6 月 16 日 (金)	332 名
	長崎	石丸文行堂イベントホール 4 階	6 月 30 日 (金) ～ 7 月 3 日 (月)	161 名
	大分	日本文理大学 3 号館 331 製図室	10 月 19 日 (木) ～ 10 月 22 日 (日)	250 名
	鹿児島	鹿児島県歴史資料センター黎明館	12 月 14 日 (木) ～ 12 月 16 日 (土)	175 名
		34 会場	延べ参観者数	9,347 名

## 5. 会 誌

### 5.1 建築雑誌

建築雑誌 12 冊, 作品選集 1 冊, 総合論文誌 1 冊, 日本建築学会 120 年略史 1 冊  
総ページ数 2,194ページ (建築雑誌1,682, 作品選集258, 総合論文誌138,  
日本建築学会120年略史116)

総発行部数 497,360部 (建築雑誌409,510, 作品選集19,700, 総合論文誌34,000,  
日本建築学会120年略史34,150)

- 2006年 4月号 (第1546号) 創立120周年記念特集号 [I] ——建築学120年間の現場  
5月号 (第1547号) 創立120周年記念特集号 [II] ——現代建築学横断  
6月号 (第1548号) 『建築雑誌』『土木学会誌』共同企画——子どもたちへのメッセージ  
7月号 (第1549号) デザインとサイエンス——構築環境デザインをとりまく諸科学  
8月号 (第1550号) 第4の構造材料  
9月号 (第1551号) 建築年報2006  
10月号 (第1552号) 不動産としての建築——建築の資産価値  
11月号 (第1553号) 進まない耐震補強, 私の提言  
12月号 (第1554号) 中国——そこに日本の建築世界はどう関われるか
- 2007年 1月号 (第1555号) 初夢——建築への期待  
増刊 (第1556号) 日本建築学会120年略史  
2月号 (第1557号) 生き残る施設, 生まれ変わる施設  
増刊 (第1558号) 総合論文誌 第5号「建築ものづくりのフロンティア」  
増刊 (第1559号) 作品選集2007  
3月号 (第1560号) 建築材料はデザインを変えられるか

### 5.2 作品選集

希望配布 18,697名 (個人:17,410名 法人:1,287名)

・総頁数 258頁

・印刷部数 19,700部

応募数・掲載数

支部別	応募数	掲載数
北海道	8	4
東 北	19	5
関 東	112	40
東 海	29	9
北 陸	14	5
近 畿	52	17
中 国	22	8
四 国	6	2
九 州	15	7
海 外	3	1
合 計	280	98

### 5.3 総合論文誌

学術論文の他にテーマに即した論説，事例，レビュー等を掲載。

- ・第5号 建築ものづくりのフロンティア
- ・総頁数 138頁
- ・印刷部数 34,000部

学術論文の応募数・掲載数

セッション	応募数	掲載数
建築ものづくりの市場と産業のあり方	4	1
ものづくりプラクティスのフロンティアと 人材育成	3	2
ものづくりビジネスの新展開とコアコンピ テンス	1	1
生産高度化と技術革新	4	2
建築＝ものづくりの質と価値	8	3
合 計	20	9

### 5.4 日本建築学会120年略史

- ・総頁数 116頁
- ・印刷部数 34,150部

## 6. 学 術 振 興

### 6.1 論 文 集

日本建築学会構造系論文集12冊，日本建築学会計画系論文集12冊，日本建築学会環境系論文集12冊。1題当たり5～8頁として下記各号に掲載発行。

(1) 発行回数および号数	12回 No. 602～613		
(2) 応募掲載数	構造系論文集	応募数 329題	掲載数 299題
	計画系論文集	” 465題	” 376題
	環境系論文集	” 243題	” 184題
(3) 総頁数	構造系論文集		2,350頁
	計画系論文集		2,842頁
	環境系論文集		1,384頁
(4) 総発行部数	構造系論文集		47,850部
	計画系論文集		50,450部
	環境系論文集		30,050部
(5) 論文予約購読者（個人）	構造系論文集		2,551名
	計画系論文集		2,480名
	環境系論文集		692名
	2系列(構造+計画)		73名
	2系列(計画+環境)		454名
	2系列(環境+構造)		144名
	3系列(構造+計画+環境)		502名
(6) 年決め予約購読者（法人）			391名

### 6.2 大会学術講演梗概集

#### (1) 冊子版

1題当たり2頁（オーガナイズドセッション希望者は1題当たり4頁）として，A-1～F-2の12分冊に大別，論文予約購読者，年決め予約購読者，発表登録者に希望配布。

	掲載題数	ページ数	発行部数
A-1（材料施工）	561題	1,142頁	1,660部
A-2（防火，海洋，情報システム技術）	264題	536頁	1,080部
B-1（構造Ⅰ）	431題	862頁	1,610部
B-2（構造Ⅱ）	489題	978頁	1,490部
C-1（構造Ⅲ）	593題	1,186頁	1,680部
C-2（構造Ⅳ）	400題	824頁	1,400部
D-1（環境工学Ⅰ）	493題*1	1,018頁	1,550部
D-2（環境工学Ⅱ）	685題	1,414頁	1,790部
E-1（建築計画Ⅰ）	565題	1,142頁	1,700部
E-2（建築計画Ⅱ，農村計画，教育）	337題	682頁	1,270部
F-1（都市計画，建築経済・住宅問題）	623題	1,278頁	1,820部
F-2（建築歴史・意匠）	393題	786頁	1,570部
計	5,834題	11,848頁	18,620部

\*1は2題取り下げあり

(2) CD-ROM版

構造系，計画系，環境系の3系列に大別，論文予約購読者，年決め予約購読者に3系列を配布。発表登録者に当該発表梗概が掲載されている1系列を配布。

	掲載題数	発行枚数
構造系（材料施工，構造）	2,474題	10,020枚
計画系（建築計画，農村計画，都市計画，建築経済・住宅問題，建築歴史・意匠）	1,901題	9,290枚
環境系（防火，環境工学，海洋，情報システム技術，教育）	1,459題	9,100枚
計	5,834題	28,410枚

### 6.3 技術報告集

技術報告集2冊，1題当たり4～6頁として下記各号に掲載発行。

(1) 発行回数および号数	2回	( No. 23	No. 24)
(2) 応募数	230題	( 112題	118題)
(3) 掲載数	191題	( 98題	93題)
(4) 総頁数	1,062頁	( 548頁	514頁)
(5) 総発行部数	5,400部	(2,700部	2,700部)
(6) 技術報告集予約購読者（個人）	2,368名		
(7) 技術報告集予約購読者（法人）	134口		

応募数・掲載数

部門名	応募数	23号	応募数	24号
		掲載数		掲載数
材 料 施 工	14	12	16	13
構 造	23	21	27	23
防 火	3	3	1	1
環 境 工 学	18	18	16	15
建 築 計 画	14	10	23	16
農 村 計 画	0	0	2	2
都 市 計 画	21	19	14	10
建築経済・住宅問題	3	2	2	1
建 築 歴 史・意 匠	3	1	3	2
海 洋	0	0	0	0
情報システム技術	2	2	3	2
教 育	5	5	3	2
災 害	6	5	8	6
地 球 環 境	0	0	0	0
計	112	98	118	93

## 6.4 英文論文集

Journal of Asian Architecture and Building Engineering 2冊

1題当たり8頁として下記各号に掲載発行。

(1)発行回数および号数	2回	9号 (Vol. 5, No. 1)	10号 (Vol. 5, No. 2)
(2)応募数	104題	( 54題	50題 )
(3)掲載数	58題	( 27題	31題 )
(4)総頁数	442頁	( 206頁	236頁 )
(5)総発行部数	3,650部	( 1,850頁	1,800頁 )
(6)英文論文集予約購読者 (個人)	1,127名		
(7)英文論文集予約購読者 (法人)	44口		

### 応募数・掲載数

分野	学会名	応募数	9号	応募数	10号
			掲載数		掲載数
材料・構造	日本建築学会	4	1	1	3
	大韓建築学会	3	2	3	1
	中国建築学会	1	1	2	0
	その他	0	0	5	2
環境工学	日本建築学会	12	2	8	8
	大韓建築学会	2	2	2	1
	中国建築学会	2	0	0	2
	その他	1	2	0	1
計 画	日本建築学会	18	9	8	5
	大韓建築学会	2	3	3	0
	中国建築学会	1	0	4	1
	その他	1	1	1	0
建築歴史・意匠	日本建築学会	4	1	3	4
	大韓建築学会	0	1	4	1
	中国建築学会	0	0	0	0
	その他	3	2	6	2
小 計		54	27	50	31

## 6.5 研究補助・研究助成

### (1) 本会が受けた研究補助・研究助成等

#### 1. 平成18年度文部科学省科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

- 1) =南材木町・河原町 まちたんけん=地域の歴史をいかしたまちづくりを考えよう 270,000円
- 2) 2006親と子の建築講座 景観まちあるき「やまがたレトロ館めぐり」 170,000円
- 3) (社)日本建築学会九州支部学術講演会「既存建築物の耐震診断と耐震補強・改修の勧め」 1,050,000円

#### 2. 平成18年度(独)日本学術振興会科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

学術定期刊行物(欧文誌)

- 1) 英文論文誌(JAABE)の刊行 3,800,000円
- 2) 図書館 目録・書誌・画像データベースの構築 2,300,000円
- 3) 建築博物館 蒐集資料目録・画像データベースの構築 2,500,000円

(2) 2006年度支部研究補助

この研究補助は支部の研究補助をはかるもので、次の研究に総額180万円の研究費を補助した。

支 部	研 究 題 目	研 究 責 任 者	補 助 額
北海道	中高層民間分譲マンションの外断熱改修事例研究	佐藤 潤平 (㈱アイテック)	20万円
東 北	東北地方の建築・都市の総合的な環境負荷削減のあり方に関する研究	内海康雄 (宮城工業高等専門学校教授)	20万円
東 海	コンクリートおよびコンクリート構造物の健全度評価に関する研究—携帯式表層強度試験器を用いた圧縮強度の定量化手法	畑中重光 (三重大学教授)	20万円
北 陸	繊維交方向荷重を受けるカラマツ集成材ボルト接合部のき裂進展を伴う強度の推定手法の提案	神戸 渡 (信州大学大学院)	20万円
	日本近代における西洋プロポーション理論の受容に関する建築思潮研究 —J. ハムビッジのダイナミック・シンメトリー	佐藤 篤 (福井大学大学院)	
近 畿	地域と連携する都市計画・まちづくり活動の推進に関する研究	三輪 康一 (神戸大学)	20万円
	鉄筋コンクリート造建物のひび割れ対策マニュアル作成に関する研究	二村 誠二 (大阪工業大学)	20万円
中 国	新しい構造要素を用いた耐震改修に関する研究	高松隆夫 (広島工業大学教授) 玉井宏章 (広島工業大学助教授)	20万円
四 国	日土小学校保存再生に関する研究	曲田清維 (愛媛大学教授)	20万円
九 州	旧曾木発電所登録有形文化財記念シンポジウム	土田充義 (NPO法人文化財保存工学研究室理事長)	20万円
8支部	9件	総合計	180万円

(3) 2006年度特色ある支部活動企画

特色ある支部活動企画に対して、2支部に100万円を補助した。

支 部	企 画 名	助 成 額
北海道支部	積雪寒冷気候を生かした低コスト貯蔵技術による農業生産環境改善への貢献	50万円
中国支部	鳥取県西部地震と芸予地震による地域の景観変貌の追跡調査	50万円

(4) 竹中育英会建築研究助成

この研究助成は、若手研究者の今後に期待できる研究を助成するもので、今年度は下記10件の研究に対して助成された。

(応募件数 78 件)

No.	部 門	研 究 課 題	研 究 者	助 成 額
1	材料施工	摩耗による床のすべりの変化の即時推定方法に関する研究	工藤 瑠美 (東北工業大学大学院)	50万円
2	構 造	軽量薄板H形鋼構成板要素の弾塑性連成座屈挙動の解明	王 韜 (東京工業大学大学院)	50万円

3		高強度コンクリートを利用した完全循環型構造体の設計法の開発	竹内 崇 (九州大学大学院)	50万円
4	環境工学	ポリエステル不織布リサイクル材の吸音特性解明と吸音材としての実用化に向けての検討	中野 達成 (九州大学大学院)	50万円
5		くつろぎ空間のための適正照度に及ぼす室内輝度分布と主要注視箇所の影響に関する研究	石田 享子 (奈良女子大学大学院)	50万円
6	建築計画	ドイツにみる縮小型都市再構築の方法論の研究ー縮小型都市の建築の密度の評価ー	藤 貴彰 (早稲田大学大学院)	50万円
7		人の好みを取り入れた展示の空間計画法の研究	宗本 晋作 (京都大学大学院)	50万円
8	都市計画	「シビック・クリエイティビティ」を活かした都市再生に関する研究ー日英のソーシャル・エンタープライズの比較を通してー	斉藤 博 (ニューカッスル大学)	50万円
9	建築経済	中高年シングルの住宅条件に関する研究ー居住経歴の事例調査を通じてー	川田菜穂子 (神戸大学大学院)	50万円
10	建築歴史・意匠	関東大震災復興期における復興建築助成株式会社を中心とした都市の不燃化プロセスに関する研究	栢木まどか (東京理科大学大学院)	50万円

(2006年6月29日竹中育英会より通知)

(5) その他の研究助成

2006年度 鹿島学術振興財団研究助成

(新規採択4件, 継続採択5件)

No.	研究課題	研究代表者	助成金額	採 択
1	堅木と軟木の組合せによる耐震・制震機構を用いた歴史的木造建築物補強技術の開発	荒木 慶一 (京都大学助教授)	150万円	継続採択
2	接着重ね梁を用いた伝統的木造建築の継手に関する実験的研究	瀧野 敦夫 (大阪大学助手)	130万円	継続採択
3	戦前期の公共水道における水道配水塔の研究	平山 育男 (長岡造形大学教授)	50万円	継続採択
4	わが国における建築アーカイブズ構築に向けた資料保存現況と具体的方策に関する研究	鈴木 博之 (東京大学教授)	85万円	継続採択
5	省エネルギー及び快適な光・視環境を実現するための設計実務者用昼光シミュレーションシステム(直射日光, 天空光, 地物反射光, 相互反射光を考慮)の開発	鈴木 広隆 (大阪市立大学専任講師)	65万円	継続採択
6	ホーチミン市での道路交通騒音に関する社会調査	矢野 隆 (熊本大学教授)	210万円	新規採用
7	居住環境と児童のアレルギー性疾患等との関連性に関する疫学調査	吉野 博 (東北大学教授)	130万円	新規採用
8	並列計算機を用いた音環境解析手法および音場シミュレータ技術の確立	鶴田 泰弘 (早稲田大学助教授)	200万円	新規採用
9	日本の建築省エネルギー気候変動対策技術の海外都市波及移転	外岡 豊 (埼玉大学教授)	150万円	新規採用

(2007年3月27日付鹿島財団通知)



## 7. 委員会活動

### 7.1 創立 120 周年記念事業

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
記念事業委員会 村上 周三君 10名	0	創立 120 周年記念事業の推進
120 年略史編纂部会 山口 廣君 7名	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「120 年略史」の企画</li> <li>・建築学会 120 年年表の作成</li> </ul>
「現代日本建築展」部会 三宅 理一君 7名	4	<p>本会と国際交流基金の共催で日本の現代建築を世界各国に紹介することを目的に、「現代日本建築 1996-2006 展」の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代日本建築展 1985-1996」(8.6, 11.5 参照)</li> </ul>
二学協議会 村上美奈子君 10名	6	こども環境学会との共催シンポジウムの企画・開催 (8.4 (8)・(9) 参照)

### 7.2 支援建築会議

会長・委員長名 委員数 (運営委員会・部会数)	会合数	事業概要
	運営委員会 部会	
司法支援建築会議 会長 村上 周三君 運営委員長 仙田 満君 68名 (4)	22	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 講習会・シンポジウム等開催 (9.1(1) 参照)</li> <li>(2) 最高裁判所の要請に基づき、鑑定人 9 名、調停委員 31 名(再任含む)を推薦</li> <li>(3) 東京地方裁判所建築関係事件研究会講師推薦</li> <li>(4) 建築士のためのテキスト「戸建住宅を巡る建築紛争」の刊行</li> <li>(5) 司法支援建築会議会報 No.5 の発行</li> <li>(6) 建築紛争における判例事例、技術の現状、建築事件の調査</li> </ol>
まちづくり支援建築会議 会長 村上 周三君 運営委員会 佐藤 滋君 59名 (4)	8	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) まちづくり教科書企画・刊行 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第 9 巻の企画</li> <li>・新たなまちづくり教材の企画</li> </ul> </li> <li>(2) 地方でのまちづくりセミナー企画</li> <li>(3) 講習会・シンポジウム等開催 (9.1 (2) 参照)</li> <li>(4) 全体会議開催</li> <li>(5) まちづくり支援活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・芝・三田まちづくり倶楽部への登録会員推薦</li> </ul> </li> </ol>
住まいづくり支援建築会議 会長 村上 周三君 運営委員会 服部 岑生君 68名 (4)	31	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 住まいづくり支援建築会議設立記念講演会・シンポジウム開催 (9.1 (3) 参照)</li> <li>(2) 研究討論会の開催 (9.1 (3) 参照)</li> <li>(3) 講習会・シンポジウム等開催 (9.1 (3) 参照)</li> <li>(4) 住まいづくりに関する支援・調査研究情報発信</li> <li>(5) 設計事務所構造基本調査と分析 (アンケート実施)</li> <li>(6) 冊子「新築マンションを選ぶときは」原案作成</li> </ol>

### 7.3 会務関係

#### (1) 会 務

委 員 会 名 委 員 長 名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会 合 数	事 業 概 要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
正副会長会議 村上 周三君 6名	6	基本方針・戦略課題の検討
企画運営委員会 村上 周三君 11名	10	本会運営における重要事項の検討
総務・財務運営合同委員会 細田 雅春君 岡本 宏君 16名	3	(1) 2005年度事業報告案 (2) 2005年度収支決算・財産目録および未処分金処分案 (3) 短中長期計画ならびに公益法人制度改革について (4) 2006年度決算見込み (5) 2007～2009年度財政予測 (6) 2007～2009年度重点課題（中長期計画対応, 継続重点項目） (7) 公益法人制度改革への対応案 (8) 事業計画・収支予算編成上の基本方針案 (9) 2007年度事業計画・収支予算案 (10) 「公益社団法人」格取得についての課題
選挙管理委員会 中島 明子君 川瀬 博君 7名	4	1. 代議員半数（60名）改選に伴う選挙執行 2. 役員（副会長, 監事）選挙の執行管理
会員委員会 川瀬 博君 中島 明子君 14名	4	1. 2005年度の活動経過と関連する動き 2. 2006年度の検討課題 3. 中長期計画「国際化への対応」 4. 会員委員会報告について 5. 過去の会員増強施策について 6. 会員増強における今後の課題 7. 会員の意識調査アンケート調査について 8. シニア会員に対する検討 9. 役員選挙における代議員の個人情報への取扱い 10. 会員の意識調査アンケート調査のまとめについて 11. 会員数の動向
倫理委員会 島田 良一君 17名	4	・新たな倫理教材の制作に向けた倫理事例の収集・分析 ・講習会・シンポジウム等開催（9.2（1）参照） ・健全な設計・生産システムの提言立案に対する協力
国際交流委員会 細田 雅春君 岡本 宏君 7名	2	(1) 国際交流振興基金の配分
CIB委員会 古瀬 敏君 17名	0	(1) CIB委員会ホームページの運営
アジア建築交流委員会 布野 修司君 国広ジョージ君 40名	1	(1) 次期委員長・委員会組織について

会館委員会 稲田 泰夫君 櫻井 潔君 12名 (3)	2	(1) 2006年度整備工事・2007年度実施予定整備工事について (2) 中長期修繕計画および会館修繕積立金・会館運営積立金について (3) 2006年度会館部門収支決算ならびに2007年度収支予算について (4) 契約賃料，公募条件等の検討およびテナント契約解除に伴う新規契約テナントについて (5) 建築会館構造安全性調査WG，建築会館環境診断WGおよび建築会館長期保全WG中間報告および今後の進め方について (6) 三宅島研修所の運営について
----------------------------------------	---	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(2) 社会ニーズ対応推進

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
社会ニーズ対応推進委員会 神田 順君 13名	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的課題の抽出と研究課題の設定、特別調査委員会の組織化について</li> <li>会員に対する意見聴取について</li> <li>他学会との連携について</li> </ul>

(3) 特別調査

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
健全な設計・生産システム構築のための特別調査委員会 村上 周三君 26名	委員会4 幹事会2	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震強度偽装問題に対処し，不祥事の再発防止のため包括的対応策としての提言の立案</li> <li>大会において最終報告会を開催（2.3参照）</li> </ul>
保険制度等特別調査委員会 松本 光平君 18名	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>建築分野において現在わが国で提供されている保険等の網羅的調査とその分類と特徴の解明</li> <li>諸外国で実施されている「住宅保証制度」の調査とその分類と特徴の解明</li> </ul>
資格・教育・法律等社会システム検討特別調査委員会 仙田 満君 瀬口 哲夫君 20名	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の建築界のあるべき姿について，資格・教育・法律等の社会システム総体から見た検討</li> <li>シンポジウム、全国建築系大学教育連絡協議会設立説明会の企画・実施（9.3参照）</li> <li>国交省住宅局長宛の提言「建築士法改正の方向についての要望」の提出</li> <li>健全な設計・生産システム構築のための提言立案に対する協力</li> </ul>
資格と教育に関する小委員会 服部 岑生君 10名	小委員会5	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計者資格・技術者資格に関する理想像の検討とあるべき建築教育の検討</li> </ul>
良い建築・環境をつくる法律等検討小委員会 神田 順君 8名	小委員会4 WG4	<ul style="list-style-type: none"> <li>法律，税制，慣行等，現行の問題点整理と，それに基づいた提言の立案</li> </ul>

建築生産における品質確保のための仕組みと業務の現状と課題特別調査委員会 嘉納 成男君 20名 (3)	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築生産における品質確保のための仕組みと業務の現状と課題の調査研究</li> <li>・健全な設計・生産システム構築のための提言立案に対する協力</li> </ul>
東海地震等巨大災害への対応特別調査委員会 秋山 宏君 22名 (3)	本委員会 6 小委員会 3	<p>(1) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「海溝型巨大地震による長周期地震動と土木・建築構造物の耐震性向上に関する共同提言」（土木学会との共同提言）の作成・公表</li> <li>・検証用長周期地震動の策定</li> </ul> <p>(2) 大会（研究協議会の開催と資料作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巨大地震による長周期地震動の予測と既存建築物の耐震性と今後の課題</li> </ul>
歴史的建造物保存活用ガイドライン検討特別調査委員会 鈴木 博之君 12名	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物保存活用のガイドライン制定</li> </ul>

(4) 表彰関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
表彰委員会 村上 周三君 12名	1	<p>(1) 2007年各賞表彰業績候補の選考結果を承認し理事会へ上程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大賞 2件, 学会賞 18件 (論文 10, 作品 1, 技術 3, 業績 4), 教育賞 7件 (業績 2, 貢献 5), 奨励賞 15件, 文化賞 3件, 作品選奨 11件</li> </ul> <p>(2) 2008年各賞選考委員 (役職以外) を選出し理事会へ上程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会賞 22名, 教育賞 5名, 奨励賞 12名, 作品選奨 3名</li> </ul>
日本建築学会大賞選考委員会 村上 周三君 10名	1	2007年日本建築学会大賞 2件の選考
日本建築学会賞選考委員会 嘉納 成男君 43名	3	2007年日本建築学会賞候補業績 18件 (論文 10, 作品 1, 技術 3, 業績 4) の選考
日本建築学会教育賞選考委員会 吉野 博君 10名	7	2007年日本建築学会教育賞 7件 (教育業績 2, 教育貢献 5) の選考
日本建築学会奨励賞選考委員会 久保 哲夫君 安藤 正雄君 24名	4	2007年日本建築学会奨励賞 15件の選考
日本建築学会作品選奨選考委員会 宗本 順三君 10名	2	2007年日本建築学会作品選奨 11件の選考
日本建築学会文化賞選考委員会 村上 周三君 10名	1	2007年日本建築学会文化賞 3件の選考

## 7.4 研究関係

### (1) 学術関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
学術推進委員会 斎藤 公男君 嘉納 成男君 33名 (1)	10	(1) 学術推進委員会・調査研究委員会の運営 ・調査研究委員会および特別研究委員会の予算配分 ・委員会改組，小委員会の廃止・設置承認 ・公募委員の承認 ・委員会活動評価の実施 (2) 特別研究課題の公募 (3) 大会学術関係行事の企画・運営 ・電子投稿の実施と CD-ROM 梗概集の発行 ・オーガナイズドセッションの実施 ・学術講演会に PC プロジェクターの導入 ・学術講演会プログラム編成 ・研究集会等の企画・運営 (4) 学術基盤の整備等の検討 (5) 大会作品発表会準備委員会において大会における作品発表会の検討

### (2) 調査研究関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
材料施工委員会 田中 享二君 1,043名 (82/WG含む)	383 (WG含む)	(1) 成案 1) 仕様書 ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS23 吹付け工事 (改) ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS18 塗装工事 (改) ・建築工事標準仕様書・同解説 JASS6 鉄骨工事 (改) 2) 指針 ・ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針 (案)・同解説 ・鉄骨工事技術指針・工場製作編 ・鉄骨工事技術指針・工事現場施工編 ・鉄骨精度測定指針 ・鉄筋コンクリート造建築物の品質管理および維持管理のための試験方法 (2) 建築雑誌への掲載 ・RILEM 概要紹介 (3) 大会研究協議会・パネルディスカッション ・コンクリート技術の動向と JASS5 改定への反映 ・固形エンドタブ工法を用いた梁端溶接接合部の欠陥評価 (4) 講習会・シンポジウム等の開催 (9.4 (1) 参照) (5) 作成中 ・構造体コンクリート強度に関する技術の現状 ・マスコンクリート技術指針 ・環境配慮型鉄筋コンクリート工事仕様書作成ガイドライン ・フライアッシュを使用するコンクリートの調合設計・

		<p>施工指針・同解説（改定版）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコセメントを用いるコンクリートの調合設計・施工ガイドライン</li> </ul> <p>(6) 改定中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JASS5 鉄筋コンクリート工事</li> <li>・JASS8 防水工事</li> <li>・JASS9 張り石工事</li> <li>・JASS15 左官工事</li> <li>・JASS16 建具工事</li> <li>・JASS24 断熱工事</li> <li>・型枠の設計・施工指針</li> <li>・鋼構造建築溶接部の超音波探傷検査基準</li> </ul> <p>(7) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・RILEM</li> <li>・材料施工分野における環境問題</li> <li>・土・基礎工事</li> <li>・セメント混和材料</li> <li>・電気炉酸化スラグ</li> <li>・鉄骨工事</li> <li>・フライアッシュコンクリート</li> <li>・構造体コンクリート</li> <li>・マスコンクリート</li> <li>・高強度コンクリート</li> <li>・型枠</li> <li>・防水工事</li> <li>・内外装工事</li> <li>・自動化施工技術</li> <li>・建築物の耐久保全</li> </ul>
<p>構造委員会 和田 章君 1,848名 (145/WG含む)</p>	<p>738 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物荷重指針（英語版）【HP版】（改）</li> <li>・木質構造設計規準・同解説 ―許容応力度・許容耐力設計法（改）</li> <li>・建築基礎のための地盤改良設計指針案（新）</li> <li>・アクティブ・セミアクティブ振動制御技術の現状（新）</li> </ul> <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構造工学論文集 Vol. 53B</li> <li>・「空間構造の動的挙動と耐震設計」に関するセミナー</li> <li>・強風災害シンポジウム「2004年の強風被害とその教訓」</li> <li>・パネルディスカッション「『建築設計と雪』の問題を考える」</li> <li>・シンポジウム「建築・土木構造物の要求性能と地震荷重」</li> <li>・シンポジウム「杭基礎の耐震性に関する諸問題（その2）」</li> <li>・シンポジウム「小規模建築物基礎設計指針の刊行に向けて」</li> <li>・コロキウム「構造形態の解析と創生 2006」</li> <li>・第34回地盤震動シンポジウム「設計用入力地震動作成指針に向けて ―地盤震動研究を耐震設計に如何に活かすか（その5：総括）」</li> <li>・シンポジウム「アクティブ・セミアクティブ振動制御技術の現状」</li> <li>・第8回建物と地盤の動的相互作用シンポジウム「非線形相互作用の解明と設計への組み込み」</li> </ul> <p>(2) 大会関係</p>

		<p>1) 研究集会開催と資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PD「重要構造物の耐衝突・耐爆性能評価と防止対策」</li> <li>・PD「温度変化を考慮した建築構造の設計」</li> <li>・PD「性能設計と地盤調査」</li> <li>・PD「鋼構造制振技術の現状と設計指針への期待－鋼構造における制振のこれから」</li> <li>・PD「大断面 RC 基礎部材の強度・変形性能」</li> <li>・PD「実施例から見える PC 構造の将来性」</li> <li>・PD「New Composite Structures－CES 構造システムの実用化を目指して」</li> <li>・PD「ストラクチャル・デザインの行方」</li> <li>・PD「建築物の地震時挙動を知るために－建築物における強震観測の意義」</li> <li>・PD「期限付き建築物の再使用・再利用を探る－構造物材のリユースについて」</li> </ul> <p>2) ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「杭基礎ほか」「併用基礎ほか」実施</li> </ul> <p>3) オーガナイズドセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「鉄筋コンクリート構造の新しい考え方と構造新技術」実施</li> </ul> <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催 (9.4 (2) 参照)</p> <p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煙突構造設計指針 (新)</li> <li>・容器構造設計指針・同解説 (改)</li> <li>・小規模建築物基礎設計指針 (新)</li> <li>・伝統的木造建築物の設計の手引き (新)</li> <li>・木質構造接合部設計ノート (新)</li> <li>・木質耐力壁形式構造設計ノート (新)</li> <li>・鋼構造耐火設計指針 (改)</li> <li>・鋼構造塑性設計指針 (改)</li> <li>・各種合成構造設計指針・同解説 (改)</li> <li>・鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針・同解説 (英文版) (新)</li> <li>・コンクリート系構造の部材解析モデルの開発と応用 (新)</li> <li>・高強度コンクリートを用いた鉄筋コンクリート構造の現状と将来展望 (新)</li> <li>・プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説 (改)</li> <li>・変形性能を考慮した合成構造の耐震設計法 (案) (新)</li> <li>・コンクリート充填鋼管構造設計施工指針 (改)</li> <li>・ラチスシェルの座屈と座屈強度 (新)</li> <li>・シェル・空間構造物の減衰と応答制御 (新)</li> <li>・テンション構造を中心とした空間構造の実例と課題 (新)</li> <li>・地震荷重－性能設計への展望 (新)</li> <li>・最新の地盤震動研究を活かした設計用入力地震動作成指針 (新)</li> <li>・建築物の終局耐震性能評価手法の現状と課題－限界体力計算, エネルギー法, 時刻歴解析法の比較 (新)</li> <li>・仮設構造物計画の手引き (新)</li> <li>・建築地盤アンカーの Q&amp;A (新)</li> <li>・補強組積造性能評価型設計指針・同解説 (新)</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・煙突構造, 容器構造, 原子力建築</li> </ul>
--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理応用理論, 不均質・混合体の数理解析手法, 構造形態の創生と最適化, 力学原理・計算力学, 構造物の性能最適化とロバスト性, 衝突・衝撃問題, 建築構造の強非線形問題</li> <li>・応用確率論, 地震荷重比較, 耐風設計, 減衰と性能設計, 雪荷重, 温度荷重, 積載荷重</li> <li>・杭の鉛直支持力, 小規模建築物基礎設計, 地盤調査, 基礎構造の限界状態設計法, 地盤と基礎構造物の相互作用</li> <li>・木質構造性能評価, 動的設計法, 伝統木造構造, 教育プログラム, 接合部設計法, 耐力壁形式構造</li> <li>・鋼構造の座屈, 接合, 耐火設計, 制振</li> <li>・鉄筋コンクリート構造計算規準, 高強度 RC 構造, 基礎部材の構造性能評価, 長期性能</li> <li>・プレストレストコンクリート構造の耐震設計, 新 PC 規準, 部材性能設計法, 建物性能評価</li> <li>・合成構造耐震性能評価, 鋼コンクリート接合部設計法, コンクリート充填鋼管構造</li> <li>・シェル・空間構造耐震性能, 空間骨組構造, 連続体構造, 構造設計, 構造連成, 計算機応用, テンション構造, 応答制御・減衰</li> <li>・地震荷重, 地盤震動, 基礎構造系振動, 耐震設計, 構造物振動制御設計, 強震観測, 構造ヘルスマニタリング</li> <li>・地盤アンカー, 仮設構造計画, 山留め設計, 期限付き建築物リユース</li> <li>・各種補強組積造設計法, 壁式鉄筋コンクリート構造の性能規定化</li> </ul> <p>(6) 2007 年度日本建築学会 (第 9 回) 技術部門設計競技の企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題「既存建築物の耐震改修デザイン」(7.6 参照)</li> </ul>
<p>建築歴史・意匠委員会 吉田 鋼市君 238 名 (17/WG 含む)</p>	<p>29 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 図集 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本建築史図集 (改)</li> </ul> </li> <li>2) 大会研究協議会・パネルディスカッション <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 年経った登録文化財</li> <li>・モダニズムから 70 年代へ</li> <li>・平泉建築文化にみる中央性と地方性</li> </ul> </li> <li>3) 見学会・シンポジウム等の開催 (9.4 (3) 参照)</li> </ol> <p>(2) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国民家関係公開施設解説書</li> <li>・建築論・建築意匠辞典 (仮称)</li> <li>・文化財建造物総目録</li> <li>・データベース「海外建築遺産調査研究活動記録」</li> </ul> <p>(3) 改訂中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近代建築史図集</li> <li>・日本近代建築総覧</li> </ul> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物保存</li> <li>・DOCOMOMO 対応</li> <li>・日本建築史</li> <li>・西洋建築史</li> <li>・東洋建築史</li> <li>・民家</li> <li>・近代建築史</li> </ul>



		<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築論</li> <li>・建築意匠</li> <li>・都市史</li> <li>・文化遺産災害対策</li> <li>・データベース・アーカイブズ</li> </ul>
防火委員会 室崎 益輝君 272名 (21/WG含む)	94 (WG含む)	(1) 成果 1) 大会関係 ・研究協議会「超高層ビルの火災安全を再考する」の開催 ・オーガナイズドセッションの開催 (2) シンポジウム・セミナー・発表会 (9.4 (4) 参照) (3) 作成中 ・構造材料耐火性ガイドブック (改定) ・コンクリート系構造物の火災耐力設計指針 ・鉄筋コンクリート造および鉄骨造の火災診断および補修補強指針 ・エレベータ利用避難計画指針作成」原案作成 (4) 調査研究 ・火災被害の実態調査と被害低減のための防排煙対策の課題の抽出 ・火災安全設計における問題点抽出 ・火災安全計画に有用な以下の分野の研究情報の整備を行って、火災性状研究の到達点の再確認と将来的研究課題を明確化する。 ・各種構造材料の高温物性試験の試験条件の明確化と試験精度の検討、標準試験法の提案 ・着火発熱性状に関する研究情報の整備 ・延焼・加熱性状予測手法の研究情報の整備 ・火災性状予測モデルの相互検証 ・着火発熱性状に関する研究情報の整備 ・火災性状に関する試験測定法の相互検証、研究情報の整備 ・火災性状データベースの構築 ・火災性状研究の課題と可能性に関する社会・設計・技術開発 ・地震火災時の対応策 ・火災被害実態調査 ・防排煙対策ニーズ調査 ・具体的な防排煙対策と要素技術 ・各種構造材料 (鋼, コンクリート, アルミ, 木, ステンレス等) の火災時を想定した高温性状 (機械的特性等) ・各種構造材料の火災時を想定した高温物性試験 ・鋼構造耐火被覆における耐火性能評価法
建築経済委員会 眞嶋 二郎君 326名 (21/WGを含む)	141 (WG含む)	(1) 成果 1) 資料・報告書 ・第22回建築生産シンポジウム論文集 ・第18回建築生産パネルディスカッション報文集 ・空港施設研究会「空港施設のマネジメントーその課題と展望ー」資料 ・総務省委託研究報告書「非木造家屋に係る再建築費評点基準表の改正に係る基礎資料」 ・資産評価システム研究センター委託研究報告「家屋評価における経年減点補正率表の見直し」 2) 大会研究集会 ・研究協議会「建設現場技術者の流動化と教育問題」

		<p>開催及び資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルディスカッション「建築物マネジメントのシステム化と体系化」開催及び資料作成</li> </ul> <p>(2) シンポジウム・研究会の開催 (9.4 (5) 参照)</p> <p>(3) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅需要構造</li> <li>・住宅の地方性</li> <li>・集合住宅管理</li> <li>・建築生産</li> <li>・生産管理</li> <li>・生産情報</li> <li>・建設労働</li> <li>・コスト管理</li> <li>・建築企画</li> <li>・建築プログラミング</li> <li>・固定資産評価</li> <li>・プロジェクトマネジメント</li> <li>・施設マネジメント</li> <li>・工事監理の社会的役割</li> <li>・空港施設 LCM</li> </ul>
<p>環境工学委員会 加藤 信介君 1,396名 (119/WG含む)</p>	<p>456 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Q&amp;A 高齢者の住まいづくり ひと工夫</li> <li>・ソーラーアーキテクチャ・デザインブック</li> </ul> <p>(2) 大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「建築環境性能に関する説明責任」</li> <li>・オーガナイズドセッションの開催</li> </ul> <p>(3) シンポジウム・研究会の開催 (9.4 (6) 参照)</p> <p>(4) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIJ 環境基準総則に則った、各分野のアカデミックスタンダード</li> <li>・「目で見る都市環境学」</li> <li>・「(建築) 環境心理生理用語集」(英和・和英)</li> <li>・「ソーラー建築設計ガイドブック」</li> <li>・「電波吸収体とその応用」</li> <li>・「環境心理尺度ハンドブック」</li> <li>・「室内温熱環境測定法規準・同解説」</li> <li>・「流体数値解析による市街地風環境の予測・評価ガイドブック」</li> <li>・「水と緑の建築環境計画 ー循環型システムにおける水と緑ー」</li> <li>・「昼光照明デザインガイド」</li> <li>・「学校施設の音環境保全規準・同解説」</li> <li>・「ガイドライン実験動物施設の建築および設備」</li> <li>・「Q&amp;A で綴る高齢者の生活の場づくり～環境的要因から」</li> <li>・「建物の遮音設計 ー床衝撃音ー」</li> <li>・「設備管理ガイドライン」</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音環境 (固体音・集合住宅の遮音性能評価水準検討・建築音響測定法・室内音響・音響数値解析・アカデミックスタンダード)</li> <li>・環境振動 (環境振動測定手法・環境振動性能評価・環境振動制御情報)</li> <li>・光環境 (光環境性能・基準・建築空間の質感・色彩設計法・光環境デザイン・昼光シミュレーション・明視環境設計)</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・熱環境（伝熱・湿気・温熱感・バイオクリマティックデザイン・熱環境シミュレーション）</li> <li>・空気環境（室内空気質・室内気流・換気・通風・屋外空気環境の予測・評価）</li> <li>・水環境（水と都市・廃棄物・ごみ処理設備環境評価・水環境憲章）</li> <li>・建築設備（設備管理指針・環境選択型空調・設計気象データ・設備設計図書標準化・建築一体化空調）</li> <li>・都市環境・都市設備（都市環境気候図・空間データ利用・クールルーフ評価・サステイナブルシティ）</li> <li>・環境心理生理（ヒューマナイジング・感覚・知覚心理・環境心理）</li> <li>・環境設計（バリアフリーデザイン・教育施設・環境アセスメント・集合住宅）</li> <li>・電磁環境（電磁環境・磁気環境・電磁環境基準）</li> </ul>
<p>建築法制委員会 松本 光平君 70名 (4/WG含む)</p>	<p>27 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築基準法の性能規定化のあり方に関する提言（新）</li> <li>・建築法規用教材 2007（改）</li> </ul> <p>(2) 大会関係（研究協議会の開催と資料作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研協：建築ストック社会における建築法制度を考える－既存不適格建築物を対象として</li> </ul> <p>(3) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築確認・検査等，構造計算書偽造問題に関する事項の調査・提案</li> <li>・ストック時代における建築規制のあり方に関する調査研究</li> <li>・集団規定における各種規制（仕様規定）による市街地環境等の水準に関する調査研究</li> <li>・各種規制（仕様規定）による市街地実態把握に関する調査研究</li> </ul>
<p>建築教育委員会 西谷 章君 90名 (8/WG含む)</p>	<p>40 (WG含む)</p>	<p>(1) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルディスカッション 「成功する建築・まちづくり教育支援活動の実際」</li> </ul> <p>(2) 講習会・シンポジウム等開催（9.4（8）参照）</p> <p>(3) 大学（建築関係学科）名簿 2006 刊行</p> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築系大学卒業生の進路調査</li> <li>・建築系大学の JABEE 対応カリキュラムの分析</li> <li>・建築教育制度と資格に関する調査</li> </ul>
<p>都市計画委員会 西村 幸夫君 284名 (19/WG含む)</p>	<p>61 (WG含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <p>1) 大会関係</p> <p>①研究協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「期待されるまちづくり連携のプラットフォーム～まちづくり実践教育の成果と展望～」開催</li> </ul> <p>②パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市と大学の連携による都市・地域の再生」の開催</li> </ul> <p>③パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「非成長時代の土地利用像と実現手法－市街地フリンジにみるアーンフォームとマネジメント－」の開催</li> </ul> <p>④パネルディスカッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「変わりゆく生活景」の開催</li> </ul> <p>(2) シンポジウム・研究会・展示会・見学会等の開催（9.4（9）参照）</p> <p>(3) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市防災図集」</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮称) 都市インフラ計画」</li> <li>(4) 調査研究 <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画教育のあり方に関する調査研究</li> <li>・都市設計・計画教育プログラム・教材・新たな教育方法の開発に関する調査研究</li> <li>・住環境整備に関する調査研究</li> <li>・都市景観の計画・実践・研究事例の収集・分析調査</li> <li>・景観法適用上の法的・技術的課題</li> <li>・20世紀景観研究の総括調査</li> <li>・風水害や大規模地震災害に対して解決すべき都市計画的課題に関する調査研究</li> <li>・地方都市問題に関する調査研究</li> <li>・土地利用関連制度の体系化および各種マスタープランに関する調査研究</li> <li>・都市形成・計画史に関する調査研究</li> <li>・キャンパスの計画とマネジメントに関する調査研究</li> <li>・自然環境の保全・改善にかかわる都市計画手法・制度に関する調査研究</li> </ul> </li> </ul>
<p>建築計画委員会 布野 修司君 747名 (61/WG含む)</p>	<p>281 (WG含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <p>1) 資料・報告書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第46回建築人間工学研究会「つくばエクスプレス・秋葉原駅にみるユニバーサルデザインの実践」資料</li> <li>・第47回建築人間工学研究会「日常世界の見直しー宇宙開発技術に学ぶ」資料</li> <li>・第1回研究討論会「住宅の創造」資料</li> <li>・第60回研究会「魅力ある建築・都市空間のデザイン手法について」</li> <li>・地域施設計画研究24</li> <li>・第61回空間研究会「建築と都市の間に潜む危険ー日本の防犯環境設計の現状とこれからー」資料</li> <li>・第1回住宅系研究論文報告会 資料</li> <li>・シンポジウム「建築計画をめぐる新しい学術体系を考える」資料</li> <li>・公開研究会「住宅改修の評価システムのあり方ー住宅改修評価の実践事例をもとに考える」資料</li> <li>・高齢者居住をめぐる計画視点(10)介護保険の改正による高齢者居住への影響 資料</li> <li>・シンポジウム「公共事業と設計者選定のあり方」資料</li> </ul> <p>2) 大会研究集会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「プロトタイプからプロトコルへー21世紀の建築計画学のあり方を展望するー」</li> <li>・PD「たたかう住宅・住宅地ー住宅地の再生」</li> <li>・研究懇談会「建築計画, その可能性の中心ー建築計画は集落を超えることができるか」</li> <li>・PD「住宅系研究の動向と新たな展開ーその横断的議論」 (共催: 都市計画・建築経済・農村計画部門)</li> </ul> <p>(2) シンポジウム・研究会・見学会等開催 (9.4(10)参照)</p> <p>(3) 作成中</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域施設の国内・海外最新事例集」</li> <li>・「防災計画指針(案)」</li> <li>・「建築・都市計画のための空間学事典」</li> <li>・「体験される場所の質とデザイン」</li> <li>・「教育資源としての劇場」</li> <li>・「火葬場施設」</li> </ul>

		<p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅</li> <li>・住宅と都市の間の空間デザイン</li> <li>・比較居住文化</li> <li>・高齢者居住</li> <li>・在宅ケア環境</li> <li>・認知症ケア環境</li> <li>・地域施設計画</li> <li>・教育施設</li> <li>・劇場・ホール</li> <li>・医療施設</li> <li>・ワークプレイス</li> <li>・安全計画</li> <li>・建築人間工学</li> <li>・空間研究</li> <li>・環境行動研究</li> <li>・設計方法</li> <li>・情報設計</li> <li>・各部構法計画</li> <li>・外壁構法</li> <li>・構法教育</li> <li>・木造建築構法</li> <li>・オープンビルディング</li> <li>・ノーマライゼーション環境</li> <li>・現代建築評価</li> <li>・建築計画の学術体系</li> <li>・博物館建築</li> <li>・火葬場施設</li> <li>・建築計画関連法制度</li> <li>・ウェイファインディング</li> </ul>
<p>農村計画委員会 伊藤 庸一君 129名 (10/WG含む)</p>	<p>29 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中山間地域の現状と施策展開</li> <li>・ワークショップ「環境資産の継承と集落共生デザインー宮城県登米市の町並みと炭焼き小屋を中心に」</li> </ul> <p>(2) 大会関係</p> <p>1) 研究集会開催と資料作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「ラーバンデザインがきり拓くものー混在・混住から共生の環境へ」</li> <li>・PD「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」(共催：農山漁村集落における自然災害復旧支援計画特別研究委員会)</li> </ul> <p>2) ポスターセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「街並みのデザインコード」「地域づくり：情報・環境・生活・歴史文化」実施</li> </ul> <p>3) オーガナイズドセッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然災害と農山漁村計画」実施</li> </ul> <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催 (9.4 (11) 参照)</p> <p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田園で学ぶ地球環境</li> <li>・ラーバンデザイン</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被災集落支援計画に関する調査研究</li> <li>・中山間地域組織に関する調査研究</li> <li>・農山漁村景観保存に関する調査研究</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村居住に関する調査研究</li> <li>・集落共生デザインに関する調査研究</li> <li>・田園空間計画に関する調査研究</li> </ul> <p>(6) 2006年度日本建築学会(第8回)技術部門設計競技アイデアコンペの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」(7.6, 10.3参照)</li> </ul>
<p>海洋委員会 横内 憲久君 88名 (9/WG含む)</p>	<p>35 (WG含む)</p>	<p>(1) 大会関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「実例を通して『アダプティブ海洋建築』を考えるー横浜港メガフロートを事例として」</li> </ul> <p>(2) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共通研究テーマ「都市機能補完型海洋建築」におけるリスク評価に基づいた設計方法およびそのシステム化, 自然共生, 快適居住性実現のための建築計画, 社会経済性・法制度の整備に関する研究</li> </ul>
<p>文教施設委員会 安岡 正人君 12名 (1)</p>	<p>1</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受託研究の推進(7.4(4), 18.5参照)</li> </ul>
<p>情報システム技術委員会 新宮 清志君 345名 (29/WG含む)</p>	<p>106 (WG含む)</p>	<p>(1) 成案</p> <p>1) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第29回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集</li> </ul> <p>(2) 大会関係</p> <p>1) 研究集会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究協議会「建築・都市の防災・減災を支える情報システム技術」開催および資料作成</li> </ul> <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催(9.4(14)参照)</p> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報社会とデザインの関係, トランスネットワーク的事象, 環境情報デザイン理論, 地域性をもったデジタルコミュニティの構築に対応しえる都市・地域計画手法, ファシリティのあり方およびそのマネジメントに有効なIT活用方法に関する調査研究</li> <li>・建築情報教育のあり方, ITを利用した教育支援システムとカリキュラムの構築に関する調査研究</li> <li>・建築の設計・生産の実務におけるIT化の実態, 先端的ITツールの調査および普及方法と関係者間における協調ツール, 3次元オブジェクトCAD使用の可能性, 建築CAD利用実態調査およびその分析に関する調査研究</li> <li>・建築物の性能をモニタリング・管理する情報システムに関する調査研究</li> <li>・建築生産実務への適用性向上, 分類体系および用語定義・コード利用等の標準化, 建築データモデル, 図面を中心とした図書情報の活用技術に関する調査研究</li> <li>・ソフトコンピューティング(人工知能, ファジィ理論, ニューラルネットワーク, 遺伝的アルゴリズム, 人工生命等)に関する調査研究</li> <li>・複雑系科学を応用した事象や問題の解明・解決事例に関する調査研究</li> <li>・建築における感性工学システムの理論と応用に関する調査研究</li> <li>・デザイン科学に関する調査研究</li> </ul>
<p>災害委員会 林 静雄君 81名</p>	<p>7 (WG含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2004年10月23日新潟県中越地震災害調査報告</li> <li>・2006年ジャワ島中部地震災害調査報告</li> </ul>

(4/WG を含む)		<p>(2) 大会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルディスカッション「首都圏を襲う可能性のある地震に備えて（直下型地震，長周期地震）」</li> </ul> <p>(3) シンポジウム・研究会の開催（9.4（15）参照）</p> <p>(4) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットを活用した災害情報の交換システムの構築に関する調査・研究</li> <li>・災害被害情報等の HP 掲載（インドネシア ジャワ島中部地震，インドネシア中部ジャワ島南西沖地震・津波，佐呂間町竜巻，能登半島地震）</li> <li>・災害（地震・風水害・復興）調査マニュアルの作成</li> <li>・能登半島地震被害調査</li> <li>・台風被害調査</li> <li>・各種災害への対応</li> <li>・他の災害関連委員会との連携強化</li> <li>・市民講座開催の検討</li> </ul>
<p>地球環境委員会 岩田 衛君 252 名 (16/WG 含む)</p>	<p>93 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <p>1) 刊行物</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「建物の LCA 指針 ―温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール」改定版刊行</li> <li>・「学校のなかの地球」刊行</li> </ul> <p>2) 資料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒートアイランド対策と省エネルギー」</li> </ul> <p>(2) 大会関係（研究集会開催と資料作成）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルディスカッション「社会ニーズの変化と建築構造」</li> <li>・パネルディスカッション「「環境」と「防災」持続的な生活環境づくりのための総合的エンジニアリングをめざして」</li> <li>・パネルディスカッション「地球環境のための新たなビジネスモデル創造の可能性」</li> </ul> <p>(3) 講習会・シンポジウム等開催（9.4（16）参照）</p> <p>(4) 原案作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サステナブル建築事例集（新）</li> </ul> <p>(5) 調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温暖化対策評価</li> <li>・LCA</li> <li>・資源循環</li> <li>・地球環境・構造</li> <li>・サステナブル・ビルディング</li> <li>・SB デザイン</li> <li>・都市気候対策推進</li> <li>・エコロジカルリージョン</li> <li>・地球環境時代における教育</li> <li>・建築と CSR</li> <li>・地球環境防災</li> <li>・地球環境ビジネスモデル</li> </ul>

(3) 特別研究関係

<p>委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)</p>	<p>会合数 本委員会・運営委員会・小委員会</p>	<p>事業概要</p>
<p>農山漁村集落における自然災害復旧支援計画特別研究委員</p>	<p>9 (WG 含む)</p>	<p>(1) 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農山漁村集落における自然災害復旧支援計画特別研究</li> </ul>

<p>会 伊藤 庸一君 49名 (3/WGを含む)</p>		<p>委員会報告 (2) 調査研究 ・農山漁村集落における被災事例の集約, コミュニティ効果の検討, 過疎化・高齢化・広域化に関する課題抽出 ・自然災害別の防災・避難・復旧支援およびライフライン別の課題整理 ・農山漁村集落における安全・安心な暮らしを獲得できる防災・避難・復旧支援の方策の提言とりまとめ</p>
<p>木造廃校舎の利活用特別研究委員会 岡田 知子君 18名</p>	5	<p>(1) 研究目的 小中高等学校の廃校後の既存建物を利用した活用は6割で, 4割が取り壊しあるいは未活用のままである。そこで, 主として木造小学校の廃校舎についてその有効活用を探るとともに耐震性の評価方法と耐震補強を提案し, 廃校舎を含む学校施設を地域の貴重な資源として有効に活用できるよう働きかけたい。</p> <p>(2) 大会関係 1) 研究集会開催と資料作成 ・地球資源としての木造廃校舎の可能性 (共催: 農村計画部門)</p> <p>(3) 調査研究 ・木造廃校舎の現状把握 ・利活用の実態からみた将来展望の検討 ・利活用に係わる制約条件の整理</p> <p>(4) 講習会・シンポジウム等開催 (9.5 (1) 参照)</p>
<p>男女共同参画社会における建築学に関する特別研究委員会 中島 明子君 20名</p>	7	<p>(1) 調査研究 ・男女共同参画社会における建築専門分野の教育・研究・職業環境等に関する研究</p> <p>(2) 講習会・シンポジウム等開催 (9.5 (2) 参照)</p>
<p>初等中等教育支援活動システム特別研究委員会 稲葉 武司君 8名</p>	1	<p>(1) 成果 「初等中等教育支援活動システム特別研究委員会報告書」</p>
<p>非構造部材(屋根, 外壁, 天井)の地震・風による被害の軽減化特別研究委員会 石川 廣三君 107名 (9/WGを含む)</p>	49	<p>(1) 調査研究 ・地震時, あるいは強風下で屋根, 外壁(湿式, 乾式), 天井の二次部材に発生する構造被害の実態の把握。 ・構法に応じた診断方法, 補強方法の検討。 ・二次部材の作用外力と力学的挙動, 長期劣化メカニズムに関する基礎的検討。 ・新設内外装部材の耐震・耐風設計・施工指針と標準仕様策定。 ・既存内外装部材の地震, 風被害軽減のための改修指針策定の基礎資料の収集。</p>
<p>近代の空間システム・日本の空間システム 特別研究委員会 鳴海 邦碩君 74名 (1/WG含む)</p>	14 (WG含む)	<p>(1) 調査研究 1) 古代から近代まで日本という地域文化の中で継承してきた空間システム・景観システム(近代まで地域に継承してきたシステム)が何かを整理する。 2) 近代に世界的に広がった空間システム・景観システムが何かを検討する。 3) 近代日本の中で上記1)と2)がどのような関係であったかを検討する。 4) 新たな時代を向かえている現在の状況を踏まえ, 継承されてきた日本の空間システム・景観システムと近代の空間システム・景観システムの評価について, 共</p>



		有できるガイドラインをつくる。 空間システム・景観システムに関する方々から意見を幅広く聞く。
生物・化学汚染による健康障害の建築的対応特別研究会 吉野 博君 30名 (2/WGを含む)	11 (WG含む)	(1) 調査研究 ・微生物汚染, SVOC汚染などの研究に関する既往研究調査 ・微生物汚染, SVOC汚染などに関する現状の把握 ・これらの物質の低用量暴露による過敏性症候群の実態の究明 ・診断・治療方法の開発 ・予防・対策の建築的対応に関する提案
ユビキタス建築都市特別研究委員会 坂村 健君 93名 (7/WG含む)	18 (WG含む)	(1) 原案作成 ・ユビキタス社会の建築技術 (2) 調査研究 ・ユビキタス建築の未来像の具体化 ・ユビキタス建築の効果と問題点の検討 ・ユビキタス建築の可能性と研究・技術開発の方向性の整理 ・ユビキタス技術の応用による都市デザインの可能性の検討 (3) 講習会・シンポジウム等開催 (9.5 (3) 参照) ※前身のユビキタス・コンピューティング社会の建築・都市特別研究委員会主催として開催

(4) 受託研究関係 (18.5 参照)

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数		事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会		
住宅用エネルギー消費と温暖化対策検討委員会 村上 周三君 7名 (1/WG含む)	9 (WG含む)		(1) 住宅におけるエネルギー消費データに基づく施策提案に関する調査業務 ・住宅エネルギー消費データの解析 ・データ解析に基づく施策提案 (2) 成果 ・平成18年度「住宅におけるエネルギー消費データに基づく施策提案に関する調査業務」報告書 ・「日本の住宅におけるエネルギー消費」 ・第5回住宅エネルギーシンポの開催 (9.6(1)参照)
〔構造委員会〕 シェル・空間構造運営委員会 大森 博司君 27名	2		・韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成に関する研究
〔材料施工委員会〕 エコセメント研究小委員会 梶田 佳寛君 15名	3		・エコセメントを用いたコンクリートの建築構造物への適用に関する研究
〔建築歴史・意匠委員会〕 国立西洋美術館調査WG 鈴木 博之君 7名	7		(1) 国立西洋美術館の歴史的な位置づけを確立するために、文献史料、文書、図面等を一次史料にもとづく調査。 (2) 成果 「国立西洋美術館本館建造物に関する調査」報告書
〔建築経済委員会〕 固定資産評価小委員会 小松 幸夫君 15名	6		(1) 「非木造家屋に係る再建築費評点基準表の改正に係る基礎資料」 (2) 「家屋評価における経年減点補正率表の見直し」

[文教施設委員会] 新教育システム開発プログラム 小委員会 吉村 彰君 7名	7	(1) 義務教育諸学校の適正規模と公立学校施設のあり方に関する調査研究 ・最適な施設規模・施設基準に関する検討 ・全国10カ所の訪問調査の実施
----------------------------------------------------	---	-------------------------------------------------------------------------------

## 7.5 学術レビュー関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数 本委員会・運営委 員会・小委員会	事業概要
学術レビュー委員会 小野 徹郎君 9名	4	(1) 発表体系のあり方についての検討・策定 1) JAABE ベストペーパー賞の選考結果を理事会へ報告 (2) ピアレビューのあり方の検討・策定 1) 論文・作品のピアレビューに関する倫理規程の普及 2) 論文集等投稿者へのアンケート結果について検討 (3) 学術論文・技術報告・建築作品の評価・発信・流通の基本的問題に関すること。 1) 投稿・査読・公開システムの電子化について検討 2) 学術評価機能の強化について検討 3) 総合論文誌第5号企画の選定
論文集委員会 芳村 学君 62名 (2) 北村 春幸君 63名 (4)	17	(1) 論文集(構造系, 計画系, 環境系の3分冊)36冊の刊行 (2) 論文集の編集・企画 (3) 論文集掲載論文の募集・審査 1) 異議申し立てについて 2) 論文集委員会への意見に対する対応 (4) 論文集委員会査読委員の選定
技術報告集委員会 小松 幸夫君 51名 (1) 南 一誠君 51名	5	(1) 技術報告集(第23号, 第24号)2冊の刊行 (2) 技術報告集の編集・企画 (3) 技術報告集の募集・審査 (4) 技術報告集委員会査読委員の選定
JAABE(AIJ)編集委員会 布野 修司君 19名	3	(1) Journal of Asian Architecture and Building Engineering(JAABE)9号, 10号の刊行 (2) JAABE Editorial Committeeの運営 ・京都会議(2006年4月) 1) ベストペーパー賞の選考・発表 2) オンライン化の検討・準備 (3) JAABEの編集・企画 (4) JAABE掲載論文の募集・審査
総合論文誌委員会 安達 洋君 21名	7	(1) 総合論文誌第5号の刊行 (2) 総合論文誌の企画・編集 1) 第5号目次案の検討 2) 第6号テーマならびにチーフエディターの選任 (3) 総合論文誌掲載論文の募集・審査 (4) 総合論文誌フォローアップ講演会の開催 (日本建築学会大会(関東)パネルディスカッション)
作品選集委員会 宗本 順三君 93名	2	(1) 「作品選集2007」掲載作品の募集と選考 応募280点, 掲載98点

## 7.6 教育関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数		事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会		
教育普及事業委員会 岡本 宏君 平倉 章二君 10名	1		(1) 教育・文化事業の推進で、関連委員会（建築教育認定事業委員会、刊行委員会、教材委員会、能力開発支援事業委員会、設計競技事業委員会、卒業論文等顕彰事業委員会、建築文化事業委員会、子ども教育事業委員会および建築教育委員会）との総合的な企画・調整 (2) JABEEの実施 (3) 「能力開発支援制度」の検討 (4) eラーニングの企画実施 (5) 「建築教育振興基金（タジマ基金）」による学生向けの「設計競技事業」「論文顕彰事業」の実施 (6) 建築文化事業の実施 (7) 教育業績顕彰制度の検討
建築教育認定事業委員会 服部 岑生君 41名 (2小委員会含む)	13		・建築教育認定事業の統括 ・包括基礎科目要件に関するアンケート調査の実施 ・大学院認定システムの検討
建築分野審査委員会 清水 裕之君 25名	4		・2006年度認定審査の実施 ・審査員養成研修の実施 ・2007年度建築分野実施要領の検討
刊行委員会 長谷見雄二君 16名 (5)	25		(1) 刊行企画・計画の検討・承認 (2) 「作品年鑑」廃刊、「建築基準法令集」委託出版化検討 (3) 学会叢書の企画、出版
建築設計資料集成委員会 高橋 鷹志君 130名 (12)	16		(1) 「建築設計資料集成 環境」出版 (2) 拡張編「建築設計資料集成シリーズ」完成
建築ガイド編集委員会 前野まさる君 40名	0		「総覧日本の建築」 (1) 第7巻大阪・兵庫編の編集作業 (2) 第4巻甲信越・北陸編の編集作業
学術用語標準化委員会 156名 (24)	0		(1) 「建築学用語辞典第2版」の見直し
教材委員会 吉野 博君 95名 (13/WG含む)	30		(1) 新たな専門教育用教材の検討 (2) 『教材・教育システムの事例公開プラットフォーム』開設（AIJ デジタルライブラリ内で公開） (3) 「日本建築史図集」改訂版出版 (4) 「近代建築史図集」改訂版執筆 (5) 「環境ワークブック」執筆 (6) 「絵でみるちからとかたち」執筆 (7) 子ども・市民向け建築書の企画 (8) 「初学者のためのビジュアル版総合教材－木造住宅の一生－（制作・著作 独立行政法人 メディア教育開発センター）」監修
能力開発支援事業委員会 六鹿 正治君 岩村 和夫君 14名	6		(1) 能力開発支援制度事業の検討 ・能力開発プログラムの企画 ・eラーニングの企画 (2) 2006年度講習会事業報告 1) 支部共通事業

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JASS 6 (鉄骨工事)・鉄骨工事技術指針 (工場製作編／工事現場施工編)・鉄骨精度測定指針改定講習会 (材料施工委員会)</li> <li>2) 委員会主催等講習会</li> <li>材料施工委員会</li> <li>・ 建築工事標準仕様書 JASS18 塗装工事／JASS23 吹き付け工事改定講習会</li> <li>・ 鉄筋コンクリート構造物の品質管理および維持管理のための試験方法・同解説</li> <li>・ ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針・同解説 (案) 講習会</li> <li>構造委員会</li> <li>・ 建築基礎のための地盤改良設計指針講習会</li> <li>・ 木質構造設計規準・同解説－許容応力度・許容耐力設計法－改定講習会</li> <li>地球環境委員会</li> <li>・ 建物の LCA 指針－温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール－講習会</li> <li>能力開発プログラム (e ラーニング)</li> <li>・ 建築物の振動に関する居住性能評価指針</li> <li>・ 建築技術者のための JASS3 山留め工事／JASS 4 杭工事 Q&amp;A 講習会</li> </ul> <p>(3) 2006年度シンポジウム等報告 (9.7 (3) 参照)</p>								
設計競技事業委員会 宗本 順三君 12名	6	<p>(1) 2006年度支部共通事業設計競技の実施 課題「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>応募数</td><td>262</td></tr> <tr><td>支部入選</td><td>64</td></tr> <tr><td>全国入選</td><td>12</td></tr> <tr><td>タジマ奨励賞</td><td>9</td></tr> </table>	応募数	262	支部入選	64	全国入選	12	タジマ奨励賞	9
応募数	262									
支部入選	64									
全国入選	12									
タジマ奨励賞	9									
全国審査部会 (2006年度) 鈴木 博之君 10名		<p>(2) 2005年度支部共通事業設計競技 「風景の構想－建築をとおしての場所の発見」優秀作品集刊行</p> <p>2006年度支部共通事業設計競技 「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」優秀作品集刊行</p>								
全国審査部会 (2007年度) 古谷 誠章君 10名	2	<p>(3) 2007年度支部共通事業設計競技の企画 課題「人口減少時代のマイタウンの再生」</p>								
審査部会 (技術部門・2006) 伊藤 庸一君 10名	4	<p>(4) 2006年度 (第8回) 技術部門設計競技の実施 課題「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr><td>応募数</td><td>45</td></tr> <tr><td>最優秀賞</td><td>1</td></tr> <tr><td>優秀賞</td><td>2</td></tr> <tr><td>佳作</td><td>8</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">(7.4 (2), 10.3 参照)</p>	応募数	45	最優秀賞	1	優秀賞	2	佳作	8
応募数	45									
最優秀賞	1									
優秀賞	2									
佳作	8									
審査部会 (技術部門・2007) 平倉 章二君 11名	3	<p>(5) 2007年度 (第9回) 技術部門設計競技の企画 課題「既存建築物の耐震改修デザイン」 (7.4 (2) 参照)</p>								
卒業論文等顕彰事業委員会 六鹿 正治君 岩村 和夫君 27名 (3)	12	<p>(1) 2006年 (第17回)「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」表彰者決定 (3.6参照)</p> <p>(2) 2007年 (第18回)「優秀卒業論文賞」「優秀修士論文賞」応募論文募集要項作成ならびに応募論文募集</p>								

建築文化事業委員会 北 泰幸君 12名	4	(1) 建築文化週間2006開催 (10.1参照) ・建築文化週間2007企画の検討 (2) 講演会 ・2006年日本建築学会賞(作品)受賞者記念講演会 (10.2(1)参照) (3) セミナー ・学生サマーセミナー2006 (10.2(1)参照) (4) 展覧会 ・全国大学・高専卒業設計展示会 (4.3参照)
子ども教育事業委員会 村上美奈子君 18名 (3)	7	(1) 親と子の都市と建築講座 (10.2(2)参照)の企画・実施 (2) 子ども教育事業研究会の企画・実施 (3) 三学会共催シンポジウム「アウトドア・クラスルーム(子どもたちを育む校庭改善)」の企画・実施 (共催: こども環境学会, 日本環境教育学会) (4) 二学会共催シンポジウム「子どもの成育環境を考える」の企画・実施 (共催: こども環境学会)

## 7.7 情報関係

委員会名 委員長名 委員数 (運営委員会・小委員会数)	会合数	事業概要
	本委員会・運営委員会・小委員会	
情報委員会 嘉納 成男君 神田 順君 8名	1	(1) AIJ デジタルライブラリーの整備 (2) 情報委員会に関連する中長期計画課題について検討
図書委員会 小谷部育子君 三宅 理一君 119名 (8)	30	(1) 図書館の運営 ・新しい図書館構想に沿った運営規定などの検討 ・文献資料の収集・整理・閲覧 ・5館図書館蔵書目録横断検索 OPAC の運営 ・CTBUH 谷文庫の運営 ・土木学会附属土木図書館との会員相互利用の実施 (2) 会誌の寄贈・交換 ・会誌の内外機関との寄贈・交換 (3) 情報サービス ・「建築雑誌」掲載による文献情報サービス “図書館受入図書”“文献抄録”(毎月)の掲載。 ・データの電子化とホームページ公開 文献抄録(構造/材料施工/環境工学/建築計画/都市計画/火災/建築歴史・意匠/建築経済・住宅問題) 建築歴史・意匠・建築論関係文献目録(2002) 蔵書目録(和・洋図書, 和・洋雑誌, 記事索引)等 ・文献複写サービス(館内2,706件・郵送239件) ・本会刊行誌のマイクロフィッシュの作成と頒布 ・図書館デジタルアーカイブスのWeb公開 (戦前の本会刊行物: 175文献) ・明治大正建築写真聚覧の公開 (4) 文献研究と文献抄録作成(雑誌掲載60件) (5) 視聴覚ライブラリーの運営・整備 (6) 国立情報学研究所 CiNii への学会発表コンテンツの提供

		(7) 韓国 CRIC への学会発表コンテンツ及び書誌データの提供
建築博物館委員会 林 昌二君 49名 (5)	本委員会 3 作業 WG 65	(1) 建築博物館の運営 ・仮受け入れ資料の資料整備作業 (清家清資料, 曾禰中條事務所資料, 宮脇檀資料) (2) 展覧会 ・建築家山田守展の企画・開催 ・同展シンポジウム, 見学会の企画開催 (3) シンポジウム ・ミニシンポジウム「戦後の建築施工について小泉大成氏に聞く- 皇居新宮殿を中心に」企画開催 (4) 科研費研究成果公開 DB 補助金交付による画像 DB 作業の推進
編集委員会 松村 秀一君 20名	12	・建築雑誌 12 冊の企画・刊行 ・120 年略史の刊行 ・総合論文誌第 5 号の刊行 ・作品選集 2007 の刊行
情報ネットワーク委員会 小谷部育子君 三宅 理一君 14名 (1)	7	(1) 本会ホームページの整備 ・英語ページリニューアルの実施 ・バナー広告について検討 (2) 委員会活動に利用できる IT ツールの検討 (3) アーカイブ・ネットワークについて調査検討

## 7.8 委員会数・開催数・委員数

部 門	委員会数	運営委員会・小委員会・WG 数	会合開催数*	委員・専門委員数
創立 120 周年記念事業	1	3	12	34 名
支援会議	3	12	61	195 名
会務関係	会 務	10	36	147 名
	社会ニーズ対応	1	3	13 名
	特別調査	6	48	136 名
	表 彰	7	19	119 名
研究関係	学 術	1	10	33 名
	調査研究	16	2,521	7,221 名
	特別研究	8	114	399 名
	受託研究	6	34	78 名
学術レビュー関係	6	7	38	369 名
教育関係	13	66	133	637 名
情報関係	5	14	118	210 名
計	83	703	3,147	9,591 名
前 年 度	85	671	2,997	9,302 名
前 年 比	-2	+32	+150	+289 名

\*電子会議による会合 (29 回) を含む

## 8. 創立 120 周年記念事業

### 8.1 記念式典・祝賀会

1. 期 日：2006 年 4 月 7 日

2. 会 場：建築会館ホール

3. 内 容

(1) 記念式典 (13:00～14:00)

1) 開会の辞 齋藤 公男 (本会副会長・日本大学教授)

2) 式辞 村上 周三 (本会会長・慶應義塾大学教授)

3) 祝辞 清水 潔 (文部科学省研究振興局長)

佐々木 元 (日本工学会会長)

李大韓建築学会会長

劉中国建築学会副理事長

4) 功労者表彰

5) 閉会の辞 嘉納 成男 (本会副会長・早稲田大学教授)

出席者：200 名

(2) 記念講演会・シンポジウム (14:30～17:00)

1) 記念講演会「現代科学・技術と倫理について」

司 会：小野 徹郎 (本会副会長・名古屋工業大学教授)

基調講演者：村上 陽一郎 (国際基督教大学教授)

2) シンポジウム「建築界と社会—我々は何をしてきたか、何ができるのか」

司 会：陣内 秀信 (法政大学教授)

パネリスト：村上 陽一郎(前掲)

内田 祥哉 (本会名誉会員・東京大学名誉教授)

小倉 善明 (日本建築家協会会長・㈱日建設顧問)

宮本 忠長 (日本建築士会連合会会長・宮本忠長建築設計事務所所長)

村松 映一 (建築業協会設計部会特別委員・㈱竹中工務店副社長)

参加者：200 名

(3) 祝賀会 (17:30～19:00)

1) 開会の辞 岡本 宏 (本会副会長・清水建設㈱常務執行役員)

2) 祝辞 奥田 修一 (国土交通省大臣官房官庁営繕部長)

仲 中華民国建築学会理事長

3) 祝杯 内田 祥哉 (本会名誉会員)

4) 閉会の辞 細田 雅春 (本会副会長・㈱佐藤総合計画代表取締役副社長)

参加者：200 名

### 8.2 功労者

創立 120 周年の節目にあたり、本部・支部の運営・事業等に長年にわたって貢献のあった個人会員を表彰し、感謝の意を表した。

正 会 員 池 浩三 君 (中部大学名誉教授)

正 会 員 大澤 徹夫 君 (岐阜工業高等専門学校名誉教授)

正 会 員 河崎 昌弘 君 (香川県住宅供給公社参事)

終身正会員 川村 純夫 君 (大阪市立大学名誉教授)

正 会 員 小西 秀明 君 (財団法人建築技術教育普及センター中国四国支部事務局長)

正 会 員 近藤 正一 君 (株式会社アール・アイ・エー名誉会長)

正 会 員 千葉 純 君 (財団法人北海道建築指導センター理事長)

終身正会員 長島 弘 君 (元北見工業大学教授)

終身正会員 橋本 慎蔵 君 (元九州支部長)

終身正会員 長谷川吉郎 君 (元東海支部静岡支所長)

正 会 員 波 多 等 君 (社団法人香川県建築士会専務理事)  
 終身正会員 浜島国四郎 君 (元函館工業高等学校教諭)  
 終身正会員 平野 道勝 君 (東京理科大学名誉教授)  
 終身正会員 三島 庄一 君 (株式会社三島設計事務所代表取締役)  
 正 会 員 村上美奈子 君 (株式会社計画工房主宰)  
 終身正会員 吉村 卓美 君 (元九州支部長)

### 8.3 創立 120 周年記念大会 (2 章参照)

### 8.4 創立 120 周年記念建築文化事業

#### (1) 研究所見学会 (関東・近畿地域)

一般市民ならびに本会会員に、最新の建設技術を体験し建築への理解を深めていただくことを目的として開催。

地域	施設名 (所在地)	日時	参加者数
関東	大林組技術研究所 (東京都清瀬市)	2006. 7. 19 14:00~16:00	39 名
	日本国土開発技術事業センター (神奈川県愛甲郡愛川町)	7. 19 14:00~16:00	28 名
	三井住友建設技術研究所 (千葉県流山市)	7. 22 10:00~12:00	41 名
	奥村組技術研究所 (茨城県つくば市)	7. 25 13:30~15:30	39 名
	大成建設技術センター (神奈川県横浜市)	7. 26 14:00~16:00	38 名
	東急建設技術研究所 (神奈川県相模原市)	7. 27 14:00~17:00	31 名
	住友林業筑波研究所 (茨城県つくば市)	7. 29 10:00~12:00	30 名
	ハザマ技術研究所 (茨城県つくば市)	8. 2 14:00~16:00	18 名
	鹿島建設技術研究所西調布実験場 (東京都調布市)	8. 4 9:30~11:30	61 名
	清水建設技術研究所 (東京都江東区)	8. 8 13:30~15:30	62 名
	フジタ技術センター (神奈川県厚木市)	8. 23 14:00~16:00	42 名
	竹中技術研究所 (千葉県印西市)	8. 24 14:00~16:00	43 名
	ミサワホーム (東京都杉並区)	8. 29 14:00~16:00	36 名
	近畿	積水ハウス総合住宅研究所 (京都府相楽郡木津町)	7. 3 13:30~15:30
大和ハウス工業総合技術研究所 (奈良県奈良市)		7. 28 13:30~15:30	84 名
浅沼組技術研究所 (大阪府高槻市)		8. 3 13:30~15:30	45 名
合 計			695 名

#### (2) 作業所見学会 (各支部)

一般市民ならびに本会会員に、建設会社の建築工事作業所を実際に見学して建築物の生産に関する理解を深めていただくことを目的として開催。



支部	作業所名 (所在地)	建設会社	日 時	参加者数
北海道	北8西3東地区第一種市街地再開発事業施設建築物工事 (北海道札幌市)	大成建設	2006. 8. 23 13:30~15:30	10名
東北	五橋1丁目マンション計画新築工事 (宮城県仙台市)	鉄建建設	7. 19 10:00~12:00	30名
関東	ヨコハマポートサイドA-3街区住宅棟新築工事 (神奈川県横浜市)	鹿島建設	7. 5 15:00~16:30	29名
	浦和美園計画新築工事 (埼玉県さいたま市)	三井住友建設	7. 7 14:00~16:00	21名
	港北NTセンター北SC (神奈川県横浜市)	フジタ 新日鉄 奥村組	7. 18 13:30~15:30	17名
	勝どき6丁目地区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事 (東京都中央区)	前田建設工業 大成建設	7. 19 14:00~16:00	27名
	クレストフォルム芝タワー ※2回催行 (東京都港区)	清水建設	7. 25 ①10:00~12:00 ②13:00~15:00	41名
	中野区東中野5丁目計画, 日本閣再整備プロジェクト (東京都中野区)	東急建設	7. 26 14:00~16:00	29名
	千葉中央第六地区市街地再開発ビル新築工事 (千葉県千葉市)	大成建設 清水建設	8. 23 14:00~17:00	40名
東海	名駅四丁目7番地区再開発ビル新築工事 (愛知県名古屋市)	竹中工務店 大林組 鹿島建設 清水建設	7. 7 13:30~15:00	9名
	牛島再開発事業第2期工事 (愛知県名古屋市)	大成建設	8. 3 14:00~16:00	34名
北陸	新潟市民病院移転新築工事 (新潟県新潟市)	戸田建設 第一建設工業 田中組 櫛谷組 廣瀬 佐藤企業	7. 18 13:30~15:30	33名
近畿	正倉院事務所新築工事 (奈良県奈良市)	浅沼組	7. 20 14:00~16:00	39名
	平城宮跡第一次大極殿正殿復原工事 (奈良県奈良市)	竹中工務店 浅沼組 森本組	8. 23 14:00~16:00	39名
中国	下関細江地区12街区第一種市街地再開発事業施設建築物新築工事 (山口県下関市)	鹿島建設 鉄建建設	7. 25 13:30~15:30	31名
四国	今治城鉄御門 (愛媛県今治市)	熊谷組	7. 8 10:00~12:00	13名
九州	リバーラガーデンI棟 (福岡県福岡市)	竹中工務店	7. 5 13:30~15:30	35名
	熊本城本丸御殿大広間復元整備工事 (熊本県熊本市)	大林組 前田建設工業 岩永組 多々良	7. 7 13:30~15:30	5名
	日田市総合文化施設建築主体工事 (大分県日田市)	鹿島建設 新成建設 江藤工務店	7. 22 13:00~15:00	18名
合 計				500名

(3) 2006年日本建築学会賞（作品）受賞者記念講演会「作品を語る」（10.2（1）参照）

(4) 学生サマーセミナー（10.2（1）参照）

(5) 美しくまちをつくる，むらをつくる（各支部共通事業）

支部	提案競技	写真コンクール	絵画コンクール
北海道	「滝川市郊外丸加高原」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 2 ・滝川市長賞 3 応募数：10点	「滝川市の魅力と美しさ」 ・最優秀賞 1 ・滝川市長賞 1 ・五十嵐賞 1 ・佳作 5 応募数：20点	「私たちが暮らす滝川市」 ・最優秀賞 1 ・滝川市教育長賞 1 ・五十嵐賞 1 ・佳作 10 応募数：362点
東北	「旧鮎川小学校と周辺集落」 ・優秀賞（1） 1 応募数：2点	「由利本庄市の魅力と美しさ」 ・最優秀賞（市長賞） 1 ・優秀賞（教育長賞） 1 ・優秀賞（支部長賞） 1 ・入賞 2 応募数：16点	「私たちが暮らす由利本荘市」 ・最優秀賞（市長賞） 3 ・優秀賞（教育長賞） 3 ・優秀賞（支部長賞） 3 ・入賞 18 応募数：175点
関東	「足立区」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 3 ・足立区長賞 3 応募数：18点	「足立の魅力と美しさ」 ・優秀賞 1 ・足立区長賞 2 ・入選 5 応募数：62点	「私たちが暮らす足立」 ・優秀賞 2 ・足立区長賞 2 ・足立区教育委員会賞 3 ・入選 20 応募数：414点
東海	「犬山市」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 3 ・犬山市長賞 3 応募数：20点	「犬山のまちの魅力，まちの活力」 ・優秀賞 1 ・犬山市長賞 2 ・入選 5 応募数：40点	「私たちのまち犬山」 ・優秀賞 2 ・犬山市長賞 2 ・犬山教育長賞 3 ・入選 20 応募数：42点
北陸	「金沢市」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 3 ・金沢市長賞 3 応募数：11点	「野々市町の魅力と美しさ」 ・優秀賞 2 ・野々市町長賞 2 ・入賞 5 応募数：22点	①「おいでねんせー勝山のイトコ教えます」 ・最優秀賞 2 ・勝山市長賞 2 ・勝山市教育委員会賞 3 ・日本建築学会審査員賞 3 ・エコミュージアム賞 30 ・入選 38 応募数：1,112点 ②「こんなまちに住みたいな—野々市の理想像」 ・優秀賞 2 ・野々市町市長賞 2 ・野々市町教育委員会賞 3 ・金賞 4 ・銀賞 25 ・銅賞 38 応募数：1,075点
近畿	「丹波市」 ・最優秀賞 1 ・丹波市長賞 1 ・優秀賞 5 応募数：29点	「私たちが創るこれからの箕面」 ・優秀賞 1 ・箕面市長賞 2 ・入選 5 応募数：15点	「私たちが暮らす箕面」 ・優秀賞 2 ・箕面市長賞 2 ・箕面市教育長賞 3 ・入選 30 応募数：113点

中国	「廿日市市宮島町」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 3 ・廿日市市長特別賞 1  応募数：12点	「二葉の里歴史の散歩道」 <歴史部門> ・最優秀賞 1 ・東区長賞 1 ・優秀賞 1 ・入選 10 ・佳作 35 応募数：207点 <街並み部門> ・最優秀賞 1 ・支部長賞 1 ・優秀賞 1 ・入選 10 ・佳作 35 応募数：96点	「未来の江田島・夢プラン」 <小学生の部> ・最優秀賞 1 ・廿日市市長賞 1 ・廿日市市教育長賞 1 ・支部長賞 1 ・入選 15 応募数：583点 <中学生の部> ・最優秀賞 1 ・廿日市市長賞 1 ・廿日市市教育長賞 1 ・支部長賞 1 ・入選 10 応募数：156点
四国		「ここしかない個性豊かな景観とまちづくり・香美市の魅力と美しさ」 ・優秀賞 1 ・香美市長賞 2 ・入選 3  応募数：42点	「私たちが暮らす香美」  ・優秀賞 1 ・香美市長賞 1 ・香美市教育長賞 1 ・入選 10  応募数：31点
九州	「城下町くまもと」 ・最優秀賞 1 ・優秀賞 3 ・熊本市賞 3 ・佳作 3  応募数：32点	「城下町くまもとのフォトカード」 ・最優秀賞 1 ・熊本市賞 2 ・まちなか工房賞 3 ・入賞 16  応募数：173点	「400年後の城下町くまもと」 ・最優秀賞 1 ・熊本市賞 2 ・まちなか工房賞 3 ・入賞 15  応募数：70点

(6) 建築文化週間 (10.1 参照)

1) 本部主催事業

- ①建築夜楽校 2006
- ②東京ウォッチング 2006
- ③24時間耐久ワークショップ

2) 支部主催事業

(7) 親と子の都市と建築講座 2006 (10.2 (2) 参照)

(8) 3学共催シンポジウム「アウトドア・クラスルーム (子どもたちを育む校庭改善)」

共催：日本建築学会，こども環境学会，日本環境教育学会

日時：2006年5月2日(土) 18:00～21:30

会場：建築会館ホール

参加者：97名

(9) 2学共催シンポジウム「子どもの成育環境を考えるー新しい視点」

共催：日本建築学会，こども環境学会

日時：2006年10月14日(土) 10:00～17:30

会場：建築会館ホール・会議室

参加者：63名

(10) セミナー「少子・高齢化と建築 (全4回)」(主催：能力開発支援事業委員会) (10.7 (3) 参照)

- (11) e-ラーニング講習会
- ・建築物の振動に関する居住性能評価指針 (2006年6月1日より配信)
  - ・建築技術者のための「JASS3 山留め工事/JASS4 杭工事」Q&A (2007年1月15日より配信)

## 8.5 創立 120 周年記念出版

- (1) 120 周年略史 (会誌増刊号として 2007 年 1 月刊行)
- (2) 会誌 120 周年記念特集号 (2006 年 4, 5 月号として刊行) 十年表
- (3) 日本建築学会叢書の刊行
- 1 巻「都市建築の発展と制御－都市建築のビジョン」 (2006 年 12 月刊行)
  - 2 巻「都市建築の発展と制御－緑地・公共空間と都市建築」 (2006 年 9 月刊行)
  - 3 巻「都市建築の発展と制御－都市建築のかたち」 (2007 年 4 月刊行)
  - 4 巻「省エネ住宅とスマートライフでストップ地球温暖化」 (2006 年 10 月刊行)
  - 5 巻「ヒートアイランドと建築・都市－対策のビジョンと課題」 (2007 年 7 月刊行予定)
  - 6 巻「建築における市場・産業・職能の課題と将来像」 (2007 年 8 月刊行予定)

## 8.6 創立 120 周年記念海外巡回展覧会 (共催：国際交流基金)

- (1) 「パラレル・ニッポン－現代日本建築展 1996-2006」
- 1) 国内展 (10.2(3)参照)
    - 会 場：東京都写真美術館
    - 期 間：10 月 21 日～12 月 3 日
    - 参加者：12,378 名
  - 2) 目録
    - 「JA2007 年春 (65 号)」特集号として刊行
  - 3) 海外巡回展
    - 2007 年 6 月, イランより各国を巡回展示予定

## 9. 講習会・講演会・シンポジウム・展示会・見学会等（支部共通事業以外）

### 9.1 支援建築会議主催

#### (1) 司法支援建築会議（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第7回講演会「建築紛争の現状と課題－失敗の要因と建築紛争の事例」	2007. 2. 16	東京・建築会館ホール	松本 光平 他6名	120名
合 計				120名

#### (2) まちづくり支援建築会議（3回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
まちづくり支援建築会議設立記念シンポジウム「まちづくりの支援策を問う」	2006. 4. 25	東京・建築会館ホール	村上 周三 他11名	112名
芝・三田まちづくり展－芝・三田まちづくりのコモンイメージを考える		東京・建築博物館+ギャラリー		
・展示会	9. 23 ～9. 26			120名
・ワークショップ	9. 26		宇杉 和夫	40名
合 計				272名

#### (3) 住まいづくり支援建築会議（5回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
住まいづくり支援建築会議設立記念講演会・シンポジウム「耐震偽装問題の背景と住まいづくり支援建築会議が果たす役割」	2006. 7. 10	東京・建築会館ホール	友澤 史紀 他4名	160名
研究討論会「大規模災害における建築計画の役割」	10. 2	東京・建築会館会議室	重村 力 他3名	18名
住まいづくり市民大学校第1回準備講座	10. 27	東京・建築会館会議室	稲垣 道子 他1名	25名
住まいづくり市民大学校第2回準備講座	11. 20	東京・建築会館会議室	井上 文 他1名	18名
住まいづくり市民大学校第3回準備講座	12. 20	東京・建築会館会議室	工藤 忠良 他1名	20名
合 計				241名

### 9.2 会務関係委員会主催

#### (1) 倫理委員会（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第3回 技術者倫理研究会「市場原理 vs 良質な建築資産の形成－建築技術倫理の基底を考える」	2006. 6. 23	東京・建築会館ホール	青木 繁 他3名	70名
合 計				70名

### 9.3 特別調査委員会主催

(1) 資格・教育・法律等社会システム検討特別調査委員会 (2回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
教育と資格緊急シンポジウム「設計技術教育の現場と資格制度の改変－建築士法改正に伴う建築士受験資格改変と設計教育」	2006. 8. 1	東京・建築会館会議室	服部 岑生 他 8名	35名
シンポジウム「改正建築士法と優良な建築設計・生産のための建築教育」 ならびに「全国建築系大学教育連絡協議会」設立説明会	2007. 2. 22	東京・建築会館ホール	井上 勝徳 他 13名	120名
合 計				155名

### 9.4 調査研究委員会主催

(1) 材料施工委員会 (9回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「建築生産における3次元CAD普及の可能性－3次元設計情報の施工段階における活用」	2006. 6. 16	東京・建築会館ホール	嘉納 成男 他 10名	87名
コンクリート材料の基準化に関するシンポジウム	9. 13	東京・建築会館ホール	名和 豊春 他 10名	99名
「ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説」講習会	11. 2	東京・建築会館ホール	土田 恭義 他 5名	129名
	11. 10	大阪・大阪科学技術センター	土田 恭義 他 2名	82名
「JASS18(塗装工事)・JASS23(吹付け工事)」改定講習会	11. 24	東京・建築会館ホール	近藤 照夫 他 3名	98名
	12. 1	大阪・大阪科学技術センター	近藤 照夫 他 3名	44名
第5回ワークショップ「建築生産自動化・ロボット化20年の歩みと今後の展望」	2007. 1. 30	東京・建築会館会議室	三浦 延恭 他 8名	31名
「鉄筋コンクリート造建築物の品質管理および維持管理のための試験方法」講習会	3. 5	東京・建築会館ホール	谷川 恭雄 他 4名	122名
	3. 9	大阪・大阪科学技術センター	池永 博威 他 2名	94名
合 計				786名

(2) 構造委員会 (16回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第52回構造工学シンポジウム(9.9参照) ・特別講演会「構造工学の発展に大型構造実験は寄与できるのか－期待と不安」 ・建築・土木合同パネルディスカッション「大型実験による構造工学の新たな挑戦」	2006. 4. 4	東京・建築会館+東京読売理工福祉専門学校	中島 正愛	361名
	4. 4			(115名)
	4. 4			(96名)
シンポジウム「杭基礎の耐震性に関する諸問題(その2)」	4. 19	東京・建築会館ホール	杉村 義広 他 9名	132名
「空間構造の動的挙動と耐震設計」に関するセミナー	5. 26	東京・建築会館会議室	大森 博司 他 10名	84名

第 26 回地盤震動地域交流会	9. 8	神奈川・神奈川大学	元木健太郎 他 8 名	72 名
強風災害シンポジウム「2004 年の強風被害とその教訓」	9. 1	東京・建築会館会議室	田村 幸雄 他 6 名	68 名
パネルディスカッション「『建築設計と雪』の問題を考える」	10. 13	東京・建築会館会議室	苔米地 司 他 4 名	59 名
シンポジウム「建築・土木構造物の要求性能と地震荷重」	10. 19	東京・建築会館ホール	高田 毅士 他 9 名	87 名
コロキウム「構造形態の解析と創生 2006」	11. 14 ～15	愛知・名古屋大学野依記念 ～15 学術交流館	発表者 大森 博司 他 29 名	93 名
「建築基礎のための地盤改良設計指針」講習会	11. 16	東京・建築会館ホール	藤井 衛 他 8 名	283 名
	11. 30	大阪・大阪科学技術センター	藤井 衛 他 8 名	138 名
シンポジウム「小規模建築物基礎設計指針の刊行に向けて」	11. 17	東京・建築会館ホール	安達 俊夫 他 14 名	258 名
第 34 回地盤震動シンポジウム「設計用入力地震動作成指針に向けて - 地盤震動研究を耐震設計に如何に活かすか (その 5 : 総括)」	11. 30	東京・建築会館ホール	川瀬 博 他 13 名	195 名
「木質構造設計規準」改定講習会	12. 1	東京・建築会館ホール	鈴木 秀三 他 4 名	257 名
	12. 8	大阪・大阪科学技術センター	小松 幸平 他 3 名	121 名
シンポジウム「アクティブ・セミアクティブ振動制御技術の現状」	12. 5	東京・建築会館会議室	長島 一郎 他 9 名	44 名
第 8 回建物と地盤の動的相互作用シンポジウム「非線形相互作用の解明と設計への組み込み」	12. 15	東京・建築会館ホール	三浦 賢治 他 13 名	112 名

合 計 2,364 名

(3) 建築歴史・意匠委員会 (3 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「アジアの住まい第 1 回」	2006. 12. 16	東京・建築会館会議室	布野 修司 他 3 名	20 名
シンポジウム：都市と建築…「内と外」	2007. 3. 2	東京・建築会館会議室	伊藤 裕久 他 9 名	36 名
シンポジウム「近代建築史研究の先端(3)」	3. 15	東京・和敬塾	内田 青蔵 他 7 名	33 名

合 計 89 名

(4) 防火委員会 (1 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
シンポジウム「高齢者福祉施設の性能的火災安全設計ー日本と諸外国のケーススタディ」	2007. 1. 19	東京・東京理科大学森戸記念館	福井 潔 他 6 名	67 名

合 計 67 名

(5) 建築経済委員会 (6 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 22 回建築生産シンポジウム	2006. 7. 27 ～28	東京・建築会館ホール	水川 尚彦 他 39 名	119 名

第4回建築生産ワークショップ「建築現場技術者の流動化と教育問題」	11. 8	東京・建築会館会議室	古阪 秀三 他5名	21名
シンポジウム「集合住宅（マンション）のリノベーション－日本及び諸外国の事例を踏まえ今後の課題と対策を実践的に考える」	11. 24	大阪・大阪市立住まい情報センター3階ホール	梶浦 恒男 他8名	70名
第18回建築生産パネルディスカッション「新たな建設産業政策と今後の建設産業」	2007. 3. 7	東京建築会館ホール	吉野 洋一 他6名	33名
空港施設のマネジメント－その課題と展望	3. 7	東京建築会館3階会議室	小松 幸夫 他5名	50名
2007 建築プログラミング研究会	3. 9	北海道・旭山動物園	柳父 行二 他2名	18名

合 計 311名

(6) 環境工学委員会 (19回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
杉並公会堂見学会・講演会	2006. 4. 28	東京・杉並公会堂	石渡 智秋 他2名	166名
チュートリアル「ニーズをカタチにする方法」	4. 28	東京・トリトンスクエア	小野久美子 他4名	50名
第5回光環境デザインシンポジウム「原広司が語る光と建築」	6. 21	東京・建築会館ホール	原 広司 他3名	103名
第15回空気シンポジウム「都市空間の換気・通風と風の道」	9. 6	横浜・ホテルニューグランドタワー3階	赤林 伸一 他12名	211名
シンポジウム「水環境を考える」	10. 16	東京・建築会館会議室	鎌田 元康 他6名	35名
シンポジウム「高齢者の室内環境－快適な生活を支援するために」	10. 31	東京・建築会館ホール	三浦 昌生 他8名	211名
「室内空気質環境設計法」シンポジウム	11. 6	東京・建築会館会議室	野崎 淳夫 他12名	32名
第36回熱シンポジウム「温暖・蒸暑地域から学ぶバイオフィリックデザインの未来－持続可能な社会における建築の技術・デザインとライフスタイル」	11. 9 ～10	沖縄・沖縄県産業支援センターホール	須永 修通 他25名	190名
「室内空気質環境設計法」シンポジウム	11. 13	大阪・大阪市立大学文化交流センター	野崎 淳夫 他12名	22名
第2回建築設備シンポジウム「建築設備の評価の視点 Part II」	11. 22	東京・建築会館ホール	川瀬 貴晴 他22名	173名
建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム（第2回）	11. 25	大阪・大阪ガスアプテック	松原斎樹 他5名	31名
「人体熱モデル・熱環境シミュレーションの最前線」シンポジウム	12. 15	東京・建築会館会議室	垣鏑 直 他6名	55名
第25回環境振動シンポジウム「環境振動の性能設計はどこまで可能か。」	2007. 1. 23	東京・建築会館ホール	石川 孝重 他8名	79名
建築電磁環境に関する研究発表会 2007	1. 24	東京・建築会館会議室	黒崎 幸夫 他9名	48名
都市環境・都市設備 公開勉強会「都市環境・都市設備研究の最前線」	3. 6	東京・建築会館会議室	佐土原 聡 他10名	47名
第59回熱シンポジウム「重量床衝撃音の標準衝撃源」	3. 6	東京・建築会館ホール	平松 友孝 他7名	71名
建築空間における感覚・知覚心理シンポジウム（第3回）	3. 10	大阪・関西大学	松原 斎樹 他3名	25名



第 60 回音シンポジウム「音環境に関する法規制・規格・基準の現状とアカデミックスタンダードについて」	3.23	東京・建築会館会議室	中川 清 他 9 名	63 名
第 61 回音シンポジウム「室内の音声伝送品質の設計・評価基準の確立に向けて」	3.30	東京・建築会館会議室	岸永 伸二 他 4 名	40 名

合 計 1,652 名

(7) 建築法制委員会 (0 回)

(8) 建築教育委員会 (3 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 37 回工業高校建築教育研修会	2006. 8. 3 ～4	東京・建築会館ホール	三浦 昌生 他 4 名	41 名
第 7 回建築教育シンポジウム	2007. 1. 27	東京・建築会館会議室	森 傑 他 11 名	28 名
シンポジウム「産業成熟化のなかで建築技術者の能力開発はいかにあるべきか」	3.1	東京・建築会館会議室	柳川 裕 他 5 名	14 名

合 計 83 名

(9) 都市計画委員会 (14 回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
講演会「まちづくり三法の改正について」	2006. 7. 28	東京・建築学会会議室	明石 達生	24 名
公募学生によるワークショップ 「生活景の新しい見方と表現方法」	8. 1	東京・早稲田大学	後藤 春彦 他 7 名	17 名
公開研究会「新潟県中越地震の被害と対応から学ぶ」	8. 7	東京・建築学会会議室	大西 一嘉 他 4 名	34 名
学生主体によるシャレットワークショップ ー逗子市のまちづくりデザインを考える	9. 2	神奈川・逗子市野外活動センター	小林 正美 他 3 名	27 名
キャンパス計画小委員会主催「情報交流シンポジウム (第 9 回) / 大学キャンパスと都市の再生と連携」	9. 6	東京・工学院大学	小林 英嗣 他 4 名	80 名
第 17 回都市形成・計画史研究会「江戸空間・東京空間・江戸東京空間システム」	9. 6	東京・建築会館ホール	宇杉 和夫 他 6 名	63 名
第 16 回景観レックイン神奈川県真鶴町	9. 6	神奈川・コミュニティ真鶴	後藤 春彦 他 3 名	89 名
小さなプロジェクトの積み重ねで災害に備える	9. 9	神奈川・Bank ART	高見沢 実 他 6 名	90 名
国際シンポジウム「日・中の居住福祉開発」	11. 1	東京・日本福祉大学	児玉 善郎 他 3 名	56 名
都市計画の諸課題に関する研究会	12. 4	東京・建築会館会議室	鈴木 孝介 他 1 名	14 名
シンポジウム「関西の未来にみる一次世代の国土づくりへの視点」	12. 5	大阪・ドーンセンター特別会議室	加藤 恵正 他 3 名	112 名
第 18 回都市形成・計画史公開研究会「居住地のアイデアの形成/居住地の計画・形成の原形」	12. 20	東京・建築会館会議室	鳴海 邦碩 他 5 名	47 名
公開研究会「集団移転をとまなう海外の復興事例」	2007. 1. 22	東京・建築会館会議室	大西 一嘉 他 4 名	17 名
第 19 回都市形成・計画史公開研究会「開港都市の原風景と近代の空間システム」	3. 24	神戸・神戸市立御影公会堂会議室	安田 孝 他 4 名	8 名

合 計 678 名

## (10) 建築計画委員会 (22回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 46 回建築人間工学研究会「つくばエクスプレス (TX)・秋葉原駅にみるユニバーサルデザインの実践」	2006. 4. 21	東京・TX 秋葉原駅, 建築会館会議室	石原 秀雄 他 2 名	40 名
第 2 回情報設計シンポジウム	4. 22	東京・建築会館会議室	服部 岑生 他 2 名	28 名
第 2 回ワークプレイス研究会「オフィスの創造性とコミュニケーション」	4. 25	東京・建築会館会議室	柳父 行二 他 3 名	39 名
「設計－情報－空間を考える」研究会	5. 26	東京・建築会館会議室	斉藤 祐子 他 2 名	11 名
春季学術研究会「都市・建築の再生と建築計画」	6. 2 ～4	ソウル・大韓建築学会	金 泰永 他 1 名	38 名
第 47 回建築人間工学研究会「日常世界の見直し－宇宙開発技術に学ぶ」	6. 16	茨城・宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 筑波宇宙センター	福岡 勝 他 1 名	36 名
第 1 回比較居住文化小フォーラム「参加型調査法によるバン格拉デシュの農村調査」	7. 1	東京・建築会館会議室	田上 健一 他 1 名	12 名
第 60 回研究会「魅力ある建築・都市空間のデザイン手法について」	7. 20	東京・建築会館会議室	積田 洋 他 3 名	76 名
第 24 回地域施設計画研究シンポジウム	7. 20 ～21	東京・建築会館会議室	木村 正彦 他 55 名	73 名
第 1 回研究討論会「住宅の創造」	7. 3	東京・建築会館会議室	西村 伸也 他 3 名	79 名
第 3 回 ワークプレイス研究会「都市のワークプレイス」	10. 20	東京・建築会館会議室	佐藤 彰男 他 3 名	22 名
第 61 回空間研究会「建築と都市の間に潜む危険－日本の防犯環境設計の現状とこれから」	10. 27	東京・建築会館会議室	樋村 恭一 他 2 名	30 名
第 48 回建築人間工学研究会「建築人間工学の役割 I－パイオニアにきく」	12. 1	東京・建築会館会議室	小原 二郎 他 2 名	36 名
第 1 回住宅系研究論文報告会	12. 8 ～9	東京・建築会館会議室	鈴木 雅之 他 37 名	83 名
シンポジウム「建築計画をめぐる新しい学術体系を考える」	2007. 1. 24	東京・建築会館会議室	門内 輝行 他 10 名	43 名
昭和音楽大学新百合ヶ丘新校舎見学会－教育施設としての劇場・ホール	2. 3	神奈川・昭和音楽大学	上西 明 他 3 名	92 名
シンポジウム「学校の設計に『教科書』は必要か」	2. 10	東京・武蔵野市立大野田小学校けやきホール	横山 俊祐 他 4 名	39 名
公開研究会「住宅改修の評価システムのあり方－住宅改修評価の実践事例をもとに考える」	2. 23	東京・建築会館会議室	児玉 善郎 他 3 名	21 名
高齢者居住をめぐる計画視点 (10)「介護保険の改正による高齢者居住への影響」	3. 15	東京・建築会館会議室	井上由起子 他 4 名	34 名
シンポジウム「公共事業と設計者選定のあり方－邑楽町役場庁舎等設計者選定住民参加型設計提案競技」	3. 16	東京・建築会館ホール	山本 理顕 他 4 名	73 名
「ジャン・プルーベの軌跡」報告会	3. 28	東京・建築会館ホール	深尾 精一 他 2 名	56 名
第 62 回空間研究小委員会研究会「バン格拉デシュの建築遺産と現代建築」	3. 30	東京・建築会館会議室	カジ・カリード・アシュラフ 他 1 名	19 名

合 計 980 名

## (11) 農村計画委員会 (6回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
中山間地域の今後を展望する	2006. 6. 7	東京・建築会館会議室	三橋 伸夫 他 2名	20名
2006 年度農村計画委員会春季学術研究会 「近年のアジア農村研究 - フィールドワークからフィードバックへ」	6. 17	大阪・大阪工業技術専門学校	伊藤 庸一 他 6名	16名
日韓公開研究交流会 「東アジアの集住文化と保存」	7. 2	沖縄・那覇市ぶんかテンプス館	李 相正 他 6名	39名
ワークショップ「環境資産の継承と集落共生デザイン - 宮城県登米市の町並みと炭焼き小屋を中心に」	11. 25 ～26	宮城・登米町森林公園, ほか	伴丈 正志 他	15名
中山間地域の農業振興と地域組織の再編	12. 5	東京・建築会館会議室	小田切徳美	8名
農村計画研究の新しい動きⅢ	2007. 3. 9	東京・建築会館会議室	伊藤 庸一 他 2名	14名

合 計 112名

## (12) 海洋委員会 (0回)

## (13) 文教施設委員会 (0回)

## (14) 情報システム技術委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第 29 回情報・システム・利用・技術シンポジウム	2006. 12. 7 ～ 8	東京・建築会館ホール+会議室		171名
1) 論文/報告発表講演			発表者 47名	
2) 基調講演「インターネットインフラの最新技術動向 - SBC (Server Based Computing) とデータ・ビッグバンの将来」	12. 7		三田 典玄	(43名)
3) 小委員会企画研究集会				
①プロセス変化への対応/第 11 回建築 CAD 利用調査報告	12. 7		中元 三郎 他 3名	(46名)
②デザイン科学のフレームワーク	12. 7		位寄 和久 他 3名	(11名)
③次世代を育てる建築教育と情報技術 その 2 - 新しい空間を考える・新しいデザイン教育の現場	12. 7		下川 雄一 他 4名	(27名)
④発注者ニーズに対応した情報連携技術	12. 8		岡本 修平 他 9名	(43名)
⑤感性とデザイン	12. 8		伊東 豊雄 他 7名	(49名)

※ほかに「第 28 回ファジィワークショップ-次世代の知的処理へ」を共催した(9.9 参照)。合 計 171名

## (15) 災害委員会 (6回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
災害における自助・共助・公助 - 的確な情報伝達・取得のために何をすべきか (市民講座・北陸支部共催)	2006. 7. 8	福井・福井大学文京キャンパス	桜井 康宏 他 7名	100名
巨大地震からわが子を守るタウンウォッチング・静岡編 (市民講座・東海支部共催)	11. 26	静岡・静岡県地震防災センター	岡田 成幸 他 9名	50名

半田市みんなでのしむ防災まちづくり フェスティバル(市民講座・東海支部共催)	11.26	愛知・半田市市民交流センター	川端 寛文 他 10名	500名
第 11 回震災対策技術展関連シンポジウム 「真に効果的な耐震化の推進」	2007. 2. 1	神奈川・パシフィコ横浜・ アネックスホール	林 康裕 他 8名	150名
インドネシアジャワ島中部地震災害調査 報告会	2.23	東京・建築会館ホール	川瀬 博 他 14名	43名
若者と一緒に活動する自主防災組織の構 築に向けてー仙台市八木山地区 (市民講座・東北支部共催)	3. 3	宮城・八木山市民センター	田中 礼治 他 1名	90名

合 計 933名

#### (16) 地球環境委員会 (4回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
「ヒートアイランド対策と省エネルギー」 シンポジウム	2006. 7. 25	東京・建築会館会議室	足永 靖信 他 8名	43名
エコロジカルリージョン第二回公開研究 会「地域空間計画と再生可能エネルギーの 統合ーオーストリア」	9.29	東京・建築会館会議室	ゲルノット ・ストグレナ ー	12名
「建物のLCA指針ー温暖化・資源消費・廃 棄物対策のための評価ツール」改定講習会	11.17	東京・東京機械本社会議室	佐藤 正章 他 5名	77名
シンポジウム「学校のなかの地球ー地球 環境時代における住環境教育への期待」	2007. 1. 18	東京・建築会館ホール	吉野 博 他 6名	91名

合 計 223名

### 9.5 特別研究委員会主催

#### (1) 木造廃校舎利活用特別研究委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
研究会「木造廃校舎利活用の可能性を考 える」	2006. 5. 19	岡山・アーツ&クラフツビ リッジ	岡田 知子 他 3名	19名

合 計 19名

#### (2) 男女共同参画社会における建築学に関する特別研究委員会 (4回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
研究会「男女共同参画社会の価値の多元 化に定める」	2006. 4. 21	東京・建築会館会議室	笠嶋 淑恵	23名
第 1 回特別委員会シンポジウム「時の風を 受け止めてー男女共同参画による建築デ ザインの新たな可能性」	5.12	東京・建築会館ホール	長谷川逸子 他 3名	130名
公開シンポジウム「女性と建築：獲得して きた職場と今後の進路」	6.10	兵庫・武庫川女子大学甲子 園会館ホール	福本 早苗 他 4名	80名
日英国際シンポジウム「建築分野の革新に むけてー男女共同参画への視座と提言」	2007. 3. 16	東京・建築会館ホール	小伊藤亜希子 他 6名	77名

合 計 310名

#### (3) ユビキタス・コンピューティング社会の建築・都市特別研究委員会 (1回)

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
ユビキタス・コンピューティング社会の建 築・都市特別研究委員会報告会	2006. 7. 18	東京・建築会館ホール	坂村 健 他 8名	97名

合 計 97名

## 9.6 受託研究委員会主催

### (1) 住宅用エネルギー消費と温暖化対策検討委員会（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
第5回住宅エネルギーシンポジウム 「住宅用エネルギーの全国の消費実態 – すまい・すまい方による地球温暖化防止」	2006. 10. 16	東京・建築会館ホール	村上 周三 他 8 名	120 名
合 計				120 名

## 9.7 建築普及事業関係委員会主催

### (1) 建築教育認定事業委員会（1回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
JABEE 建築学および建築学関連分野審査員 研修会	2006. 7. 31	東京・建築会館ホール	服部 岑生 他 5 名	79 名
合 計				79 名

### (2) 能力開発支援事業委員会（6回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
e ラーニング講習会「建築物の振動に関する 居住性能評価指針」	2006. 6. 1～ 2007. 3. 31		石川 孝重 他 5 名	53 名
e ラーニング講習会「建築技術者のための JASS 3 山留め工事/JASS 4 杭工事 Q&A」	2007. 1. 15 ～3. 31		青木 功 他 4 名	13 名
セミナー「少子・高齢化と建築」				
第1回「人口減少と少子・高齢化で社会は どうなるか」	2006. 5. 9	建築会館ホール	大江 守之 他 1 名	99 名
第2回「人口減少と少子・高齢化で都市は どうなるか」	2006. 6. 12	建築会館ホール	藻谷 浩介 他 1 名	102 名
第3回「人口減少と少子・高齢化で地域は どうなるか」	2006. 7. 24	建築会館ホール	岡本 久人 他 1 名	79 名
第4回「未来の建築はどうあるべきか」	2006. 9. 28	建築会館ホール	大野 秀敏 他 4 名	71 名
合 計				417 名

## 9.8 情報関係委員会主催

### (1) 建築博物館委員会（6回）

名 称	期 日	会 場	講 師	参加者数
ミニシンポジウム「戦後の建築施工について 小泉大成氏に聞く」	2006. 10. 19	東京・建築会館会議室	小泉 大成	14 名
建築家 山田守 展 – 流動するフォルムにみた合理性 ギャラリートーク第1回	12. 12～ 2007. 1. 31	東京・建築博物館ギャラリー		2,100 名
山田守自邸見学会	12. 15	東京・建築学会図書館閲覧 室+建築博物館ギャラリー	藤岡 洋保	15 名
ギャラリートーク第2回	2007. 1. 5	東京・南青山 旧山田守自邸	藤岡 洋保 他 1 名	64 名
	1. 12	東京・建築学会図書館閲覧 室+建築博物館ギャラリー	藤岡 洋保	12 名

シンポジウム 「再考/山田守の後期の作品を検証する —京都タワーを中心に」	1. 13	東京・建築会館ホール	藤森 照信 他 2 名	148 名
---------------------------------------------	-------	------------	----------------	-------

合 計 2,353 名

### 9.9 本会・他学協会共催 (3 回)

名 称	共催学協会	期 日	会 場
第 52 回構造工学シンポジウム (9.4 (2) 参照)	日本学術会議 土木工 学・建築学委員会 日本建築学会 土木学会	2006. 4. 4 ～ 5	東京・建築会館 + 東京読売理工福 祉専門学校
第 6 回アジアの建築交流国際シンポジウム (11.2 (4) 参照)	大韓建築学会 日本建築学会 中国建築学会	10. 25 ～28	大韓民国・大邱コン ベンションセンタ ー
第 28 回ファジィワークショップ 一次世代 の知的処理へ (9.4 (14) 参照)	日本知能情報ファジィ 学会 日本建築学会	2007. 3. 9 ～10	東京・首都大学東京

### 9.10 開催数・参加者数

部 門	委員会数	開催数	参加者数
支援会議	3	9	633 名
会務関係	会 務	1	70 名
	特別調査	1	155 名
研究関係	調査研究	16	8,449 名
	特別研究	3	426 名
	受託研究	1	120 名
教育関係	2	7	496 名
情報関係	1	6	2,353 名
本会・他学協会共催	—	3	—
計	28	145	12,702 名

## 10. 教育・文化事業

### 10.1 建築文化週間

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
	創立 120 周年事業 <b>&lt; 建築文化週間 2006 &gt;</b> (主催) 日本建築学会 (後援) 日本建築家協会・日本建築士会連合会・日本建築士事務所協会連合会・建築業協会 (協賛) (株)大林組, 鹿島建設(株), 清水建設(株), 大成建設(株), (株)竹中工務店, 東京ガス(株), 東京電力(株), 戸田建設(株), 日新工業(株), (株)日建設計, (株)日本設計, 西松建設(株), 前田建設工業(株), (株)三菱地所設計 (14 社)		
10. 5	<b>建築夜楽校 2006</b> テーマ:「21 世紀の建築を探る Part2」 第 1 夜 建築が社会の要請を超えるとき 講 師:伊東豊雄 (伊東豊雄建築設計事務所代表取締役) 聞き手:城戸崎和佐 (城戸崎和佐建築設計事務所)	建築会館ホール	110 名
10. 6	第 2 夜 未来をつくる 講 師:山本理顕 (山本理顕設計工場代表取締役) 聞き手:五十嵐太郎 (東北大学大学院助教授)	建築会館ホール	90 名
10. 12	第 3 夜 地球の上に創る——小住宅から土木まで 講 師:内藤廣 (東京大学大学院教授) 聞き手:今村雅樹 (日本大学教授)	建築会館ホール	170 名
10. 13	第 4 夜 均質な都市空間を豊かにするもの——現代建築の差異性 講 師:原広司 (原広司+アトリエ・ファイ建築研究所主宰) 聞き手:鶴飼哲矢 (東京大学大学院助手)  コーディネーター:中谷正人 (NAKATANI NETWORKS 主宰)	建築会館ホール	150 名
10. 21	<b>東京ウォッチング 2006</b> テーマ:「丸の内ふたたび」 講 師:藪野 健 (画家, 早稲田大学芸術学校教授・絵画学) 井上 明久 (作家) 斉藤 理 (東京理科大学非常勤講師, 東京大学客員研究員・建築史) 小笠原 伸 (早稲田大学 WABOT-HOUSE 研究所客員講師・都市論) 見学先: J R 東京駅, 東京中央郵便局, 日本工業倶楽部, 丸の内ビルディング, 明治生命館		60 名
10. 7~8	<b>学生ワークショップ 2006</b> (特別協賛) 長谷川萬治商店 主テーマ:「24 時間耐久ワークショップ ArchiTV 『建築の“なかみ”』」	建築会館ホール + イベント広場	110 名
10. 7	テーマ:『あぶりだす —建築とデザイナー—』 ゲスト:土井伸朗 (soup design)	建築会館ホール	40 名

10.7,8	<p>藤村龍至（藤村龍至建築設計事務所）  藤森泰司（藤森泰司アトリエ）  上領大祐（中央アーキ）  坂下加代子（中央アーキ）  松本悠介（中央アーキ）</p> <p>テーマ：『つくるー商店街ワークショップー』  協力：慶応仲通り振興会  ゲスト：太田浩史（東京大学 COE 特任研究員）  氏田尚克（慶応仲通り振興会）  佐々木早苗（慶応仲通り振興会）  日置喜士（慶応仲通り振興会）  湯浅孝雄（慶応仲通り振興会）</p>	建築会館ホール	70名
10.7	<p>テーマ：『さがすー一夜限りの建築大運動会ー』  日時：10月日（土）00:30～06:00</p>	建築会館ホール	70名
10.8	<p>テーマ：『きりとるー言葉と空間認識ワークショップー』  ゲスト：浅川敏（ZOOM）  城戸崎和佐（城戸崎和佐建築設計事務所）  日埜直彦（日埜建築設計事務所）  松田達（吉村靖考建築設計事務所）</p>	建築会館ホール	60名
10.8	<p>テーマ：『かたるーオリンピックと都市ー』  ゲスト：五十嵐太郎（東北大学大学院助教授）  今村創平（(有)アトリエ・イマム）  日埜直彦（日埜建築設計事務所）</p>	建築会館イベント 広場	60名
10.7,8	<p>テーマ：『つなぐーCM企画ー』（5回）</p>	建築会館ホール	120名
10.7～8	<p>テーマ：『つなぐー大学設計課題展示ー』</p>	建築会館ギャラリー	
10.7～8	<p>テーマ：『くるむー会場全体デザインー』</p> <p>HP：<a href="http://news-sv.aij.or.jp/bunka/06ws/index.html">http://news-sv.aij.or.jp/bunka/06ws/index.html</a></p>	建築会館ギャラリー ー・中庭・ホール ワイエ・ホール	
10.14	<p><b>建築文化週間 2006 支部開催事業</b>  <b>&lt;北海道支部&gt;</b></p> <p>テーマ：江別市内の歴史的建造物と煉瓦生産を訪ねる  （主催）北海道支部  （共催）日本建築家協会北海道支部，北海道建築士会，  北海道建築士事務所協会  （後援）北海道教育委員会，江別市教育委員会，江別市  経済部</p> <p>見学先：江別グレシヤム市アンテナショップ（旧肥田（ひだ）工場），米澤煉瓦株式会社，江別市セラミック  アートセンター，酪農学園大学，ガラス工芸館，旧町村農場，江別駅前周辺の煉瓦建築群（高橋歯科・火薬庫ほか）</p> <p>解説：石垣秀人（江別市役所環境課）  水野信太郎（北海道浅井学園大学教授）</p>		35名
10.14	<p>テーマ：津波防災まちづくり体験学習 in はまなか  （主催）北海道支部  （共催）北海道立北方建築総合研究所，浜中町  （後援）北海道総務部危機対策室防災消防課</p>	浜中町総合文化セ ンター	59名



	<p>プログラム：1.地震・津波の話し 2.室内避難体験 3.まちなか探検～避難場所，避難施設，避難経路 4.津波避難マップ作り 5.避難食づくり</p> <p>講師：本学会北海道支部都市防災専門委員会委員 大柳佳紀（北海道立北方建築総合研究所）</p>		
10.28	<p>&lt;東北支部&gt; テーマ：建築ウォッチング 「伊達なサステナブル建築探訪」 （主催）東北支部福島支所 見学先／講師： 静戸の家／田中直樹（田中直樹設計室） 斎藤邸／樋口康裕（樋口建築研究所）</p>	福島県伊達市および周辺地域（相馬郡飯館村）	24名
10.21	<p>テーマ：膜構造建築の新しい表現，その具現化としての現場「宮城県仙台空港」 （主催）東北支部 講師：大野雅紀（熊谷 J.V. 作業所長） 渡辺和之（熊谷組） 加藤昌史，安原大策，佐藤英明，稲村力（技術担当）</p>	宮城県名取市南原 仙台空港敷地内	28名
10.28	<p>テーマ：地震に強い建物“中間層免震”現場見学会 「みずほ銀行」 （主催）東北支部 講師：杉崎良一（大成建設営業推進本部耐震推進部長） 西河 誠（大成 J.V 作業所長）</p>	宮城県仙台市青葉区東二番町通り （みずほ銀行敷地内）	20名
10.22	<p>親と子の建築講座 2006 テーマ：コンピューターによる住宅モデルの作成 （主催）東北支部山形支所 講師：江川嘉幸（山形県立産業技術短期大学校助教授）</p>	山形県立産業技術短期大学校	12名
10.1	<p>親と子の建築講座 2006 テーマ：やまがたレトロ館めぐり （主催）東北支部山形支所 講師：結城玲子</p>	旧米沢高等工業学校本館，上杉記念館	28名
10.3	<p>&lt;関東支部&gt; テーマ：見学会「芝浦アイランドグローブタワー」 （主催）関東支部 見学先：建設中の超高層集合住宅（港区芝浦）</p>		42名
10.19	<p>テーマ：見学会「Switch Station 浦安」 （主催）関東支部 見学先：市街地環境共生型モデル住宅（浦安市東野）</p>		13名
10.19	<p>テーマ：セミナー「市街地環境共生型モデル住宅」 （主催）関東支部 プログラム： 「建築からのアプローチ」 織間亜希（東京電力千葉支店建築施設運用グループ副長） 鈴木清久（東京電力千葉支店）</p>	浦安住宅公園内	13名

	「設備からのアプローチ」 落合総一郎（システック環境研究所長） 佐藤 誠（システック環境研究所東京事務所調査研究室長）		
11. 18	<東海支部> テーマ：建築ウォッチング 2006 「名古屋三の丸一地下の秘密を探る」 （主催）東海支部 見学先：名古屋市中区三の丸周辺・名城中電変電所 ※国土交通省中部地方整備局，愛知県，名古屋市の「公共建築月間」との共同開催	名古屋工業大学	45 名
10. 7	<北陸支部> テーマ：こども建築探偵団(第2回) 「集合！ みんなはたてもの探偵団」 （主催）北陸支部 内 容：いつも見慣れている建物をデジカメで切り撮って持ち帰り，反対の感じがする一組の対になる言葉とともに発表した	富山大学芸術文化学部	50 名
10. 15	テーマ：町屋・町並みウォッチング （主催）北陸支部 見学先：住民自らが，「景観づくり住民協定」を締結し，瑞泉寺の門前町としての歴史と伝統にふさわしいまちづくりを目指す旧井波町八日町通りと上新町を見学した	富山県南砺市八日町通り及び同市上新町	37 名
10. 14	<近畿支部> テーマ：「親子で考えよう，防災対策」～津波にそなえる～ （主催）近畿支部，串本町(予定)，他	串本町内の小学校	50 名
10. 14	<中国支部> テーマ：広島における被爆建築物と現代建築物の共存－建築材料・施工法の観点からの建物見学会－ （主催）中国支部 見学先：原爆ドーム，江波山気象館，旧陸軍被服支廠倉庫，世界平和記念聖堂	広島工業大学広島校舎 201 号教室	30 名(内小学生 4 名)
11. 25	<四国支部> テーマ：まちなみウォッチング in 落合 （主催）四国支部・徳島支所 （共催）日本建築家協会四国支部・徳島県建築士会・徳島県建築士事務所協会 （後援）三好市 講 師：増井正哉（奈良女子大学） 見学先：東祖谷山村落合地区	落合地区公民館	90 名
10. 8	<九州支部> テーマ：見学会「船でめぐる建築・土木の近代化の長崎港」 （主催）九州支部・長崎支所 （後援）長崎県，長崎市，長崎県教育委員会，長崎市教育委員会，長崎県建築士会 見学先：長崎港の建築・土木建造物について（事前説明）高島，端島（軍艦島）の建造物を船で見学		102 名

	講 師：岡林隆敏（長崎大学教授） 村田明久（長崎総合科学大学教授） 小倉義弘（長崎市教育委員会文化財課） 宮下雅史（長崎市教育委員会文化財課）		
--	----------------------------------------------------------------------------------	--	--

## 10.2 講演会・展覧会

### (1) 講演会・セミナー

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
7.11	創立 120 周年記念事業 <b>2006 年 日本建築学会賞（作品）受賞者記念講演会</b> 「作品を語る」 （主催）日本建築学会・四国支部 （協賛）日本板硝子(株)・東京ガス(株) （受賞作品） 金沢 21 世紀美術館 妹島和世（SANAA 代表取締役） 西沢立衛（SANAA 代表取締役） 北上市文化交流センター さくらホール 野口秀世（(株)久米設計設計部部長） 富弘美術館 ヨコミゾ マコト（aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所代表取締役）	建築会館ホール	320 名
7.13	東京会場 記念講演：妹島和世＋西沢立衛（前掲） 野口秀世（前掲） ヨコミゾ マコト（前掲） パネルディスカッション： 受賞者 富永 譲（2006 年日本建築学会賞選考委員／法政大学教授） 司会：芝山哲也（建築文化事業委員会委員／大成建設設計本部統括グループリーダー）		
7.13	高松会場（四国支部） 記念講演：妹島和世＋西沢立衛（前掲） 野口秀世（前掲） ヨコミゾ マコト（前掲） パネルディスカッション： 受賞者 新居千秋（2006 年日本建築学会賞選考委員／新居千秋都市建築設計代表取締役） 司会：中谷正人（建築文化事業委員会幹事／中谷ネットワークス）	高松市文化芸術ホール 小ホール	280 名
	創立 120 周年記念事業 <b>Student Summer Seminar' 06</b> 「空間と構造の交差点 ーいまもしも君がフラーならー 祭りの空間と耐災の空間」 （主催）日本建築学会 （協賛）(株)NTT ファシリティーズ, (株)大林組, (株)小川テック, 小川テント(株), 鹿島建設(株)川口金属工業(株), 協立工業(株), (株)熊谷組, (株)久米設計, 黒沢建設(株), (株)建研, (株)佐藤総合計画, 清水建設(株), 神鋼鋼線工業		

7. 17	<p>(株, 新日軽(株), 新日鉄エンジニアリング(株), 大成建設(株), 太陽工業(株), (株)竹中工務店, TSP 太陽(株), 東京製綱(株), 戸田建設(株) (株)巴コーポレーション, (株)日建設計, (株)日本設計, 日本鑄造(株), 前田建設工業(株), (株)松田平田設計, (株)三菱地所設計, (株)山下設計, 横河工事(株)</p> <p>コンペ審査 ノミネート 17 作品 (56 作品中)      課題: 手づくりのスペース・デザイン      ー祭りの空間～耐災の空間ー      審査員: 斎藤公男(委員長, 日本大学)      大塚眞吾(大塚建築構造設計室)      河端昌也(横浜国立大学)      川村則子(bbr)      佐藤淳(佐藤淳構造設計事務所)      陶器浩一(滋賀県立大学)      富永祥子(福島・富永建築設計事務所)      中谷正人(中谷ネットワークス)      蜂屋景二(bbr)      福島加津也(福島・富永建築設計事務所)</p>	建築会館会議室	
7. 29～30	<p>ワークショップ      第1日: レクチャー (講師: 斎藤公男 (前掲), 他)      ワークショップ      第2日: 作品制作, 発表, 最終審査</p> <p>◆ 2006 入選作品</p> <p>【最優秀賞】      分子くん (横浜国立大学大学院 / 平嵩雄)      まつり縫い。 (東京芸術大学大学院 / 井上裕史)</p> <p>【優秀賞】      てんぶる (日本大学大学院 / 玉川悠貴)</p> <p>【審査員特別賞】      斎藤公男賞: bubble of umbrella (横浜国立大学 / 石井裕之, 近藤真理子, 坂上瞬 小谷暢宏)      大塚眞吾賞: ☆コンペイトウ☆ (工学院大学大学院 / 戸澤知仁)      岡田章賞: POKKA POKKA (工学院大学大学院 / 長谷川理男, 小沢卓真, 浅見祐一)      金田勝徳賞: カミでつくるじぶんのイバショ (日本大学大学院 / 永井佑季)      河端昌也賞: Bon - Bori Dome (日本大学大学院 / 櫻井優貴)      川村則子賞: つつみがみ (立命館大学 / 田中康太郎, 石塚祐至, 吉田航介, 牛山友, 花房侑司)      佐藤淳賞: He-shelter (滋賀県立大学 / 高橋溪)      陶器浩一賞: めろんぱん (日本大学大学院 / 森永信行)      富永祥子賞: メットハウス (芝浦工業大学 / 佐々木啓介, 南澤正人, 藤掛智美, 大山総太 / 細田陽平)      蜂屋景二賞: Rock kaku (滋賀県立大学大学院 / 木村安宏)      福島加津也賞: FAIR TREE (日本大学 / 赤岩英和, 真上結子, 三好清史)</p>	建築会館イベント 広場+建築博物館 ギャラリー	延べ240名 (10 大学)
7. 31～8. 8	作品展示	建築会館イベント 広場・ギャラリー	
8. 8～8. 21		横浜国立大学 情報ラウンジ	

## (2) 講座

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
5. 27	<p>&lt;親と子の都市と建築講座 2006&gt;            第1回 「地図」を片手に時代をタイムスリップする旅にでかけよう！            ～“もののけ姫”の記憶からつながる時間と空間～            (主催) 日本建築学会, 国立科学博物館            講 師: 陣内秀信 (法政大学教授)</p>	国立科学博物館・上野公園	32名
8. 6	<p>第2回 集まれ!けんちく探偵団            一体で「測る」, 芦原小の謎!—            (主催) 日本建築学会</p>	戸田市立芦原小学校	33名
8. 20	<p>第3回 江戸東京たてもの園で「人間温度計になろう!」            (主催) 日本建築学会, 江戸東京たてもの園            講 師: 梅干野晃 (東京工業大学教授)</p>	江戸東京たてもの園	32名
10. 29	<p>第4回 「分身モノサシ」で測る!            一体で「感じる」大きさと体で「測る」大きさ。どちらが大きいかな?—            (主催) 日本建築学会, 晴海デザインセンター            (協力) 晴海アイランドトリトンスクエア</p>	晴海アイランドトリトンスクエア	46名
5. 20	<p>第2回 子ども教育事業研究会            「子どもを対象とした教育事業の展望」            (主催) 日本建築学会子ども教育事業委員会            プログラム            主旨説明            西河哲也 (子ども教育事業委員会幹事, ひとまち CDC 理事長)            基調講演: 建築・都市から考える環境教育・教育普及活動            「BLISS—ロンドンとドイツの子どもたちと知覚ワークショップ—」            宮元三恵 (東京芸術大学)            「建築・地域づくりへの子どもの参画            —身近な環境学習から環境創造への展開—」            藤岡泰寛 (横浜国立大学)            「東京下町でのまち探検ワークショップにみる「学び」            について—学生による多彩な企画・運営とこどもたちの嗜好—」            佐藤将之 (子ども教育事業委員会委員, 早稲田大学)            発表会: 子どもを対象とした教育事業等について            「世界の子どもの対象とした人工環境教育事業, UIA の現況」            稲葉武司 (建築教育委員会市民・子ども教育小委員会主査)            「いしぐれ・こどもデザインワークショップ」            陳乃鈴 (名古屋大学)            「地域づくりの中での 子ども を対象 した人工環境            学習の展開と世界的ネットワーク化 に関する研究」            田代久美 (宮城大学)            ディスカッション: 講演や発表をふまえて            司会 仲綾子 (子ども教育事業委員会幹事, 仲建築研究所)</p>	建築会館会議室	30名
	<p>&lt;親と子の都市と建築講座&gt;            (主催) 本会・東北支部・東海支部・北陸支部・            近畿支部・中国支部・九州支部</p>		

7.26	<p>&lt;東北支部&gt;            仙台会場            (主催)東北支部・仙台市            テーマ:「南材木町・河原町まちたんけん            ～地域の歴史をいかしたまちづくりを考えよう」            講師:渋谷セツコ(建築と子供たちネットワーク仙台)</p>	河原町・南材木町, 南材コミュニティーセンター	20名
10.1	<p>山形会場            テーマ「やまがたレトロ館めぐり」            (建築文化週間 2006 参照)</p>		
10.22	<p>山形会場            テーマ:「コンピュータによる住宅モデル作成」            (建築文化週間 2006 参照)</p>		
8.26	<p>&lt;東海支部&gt;            親と子の建築講座            テーマ:「コンクリート宝探しゲーム」</p>	名城大学	16名
11.11	<p>親と子の建築講座            テーマ:「町屋で遊ぼう」</p>	名古屋市緑区有松の町並み	15名
9.16	<p>&lt;北陸支部&gt;            長岡会場            テーマ:「建物の形秘密を探る」            講師:高田清太郎氏(高田建築設計事務所)</p>	長岡市立劇場	40名
10.15	<p>新潟会場            テーマ:「とびだすカードで家を作る」            講師:木原隆明氏, 高田房子(実行委員会)</p>	長岡造形大学	44名
11.5	<p>新潟会場            テーマ:「カメラを持って文化財建築を探検しよう」            講師:黒野弘靖氏(新潟大学)            佐藤将之氏(江戸東京博物館)</p>	新潟県政記念館	38名
7.30	<p>&lt;近畿支部&gt;            親と子の都市と建築教室            「家をつくろう」            (主催)近畿支部            ①家のつくり方を学ぼう            講師:飯田 英二(IMO)</p>	大阪市立住まい情報センター3階ホール	62名
8.5	<p>②家をつくってみよう            講師:守安 聡司(安井建築設計事務所)</p>		64名
8.1	<p>③家を完成させよう            講師:桑原 宏明(ピーピーアイ計画・設計研究所)</p>		69名
8.26	<p>親と子の都市と建築教室            「京町家の伝統技術を学ぶ」“土壁を塗ってみよう!”            (建築文化週間 2005 参照)</p>	京都建築専門学校 「よしやまち校舎」	15名
10.28	<p>&lt;中国支部&gt;            広島会場            (主催)中国支部            テーマ:「新広島市民球場 ボールパークをつくろう」</p>	広島工業大学広島校舎	児童と保護者14組

9.30	<p>&lt;九州支部&gt; 福岡会場 (主催) 本会九州支部, 日本建築家協会九州支部 テーマ: 「灯明 (アカリ) をデザインしよう」 講師: 廣瀬正人 (フォレストハウス) 水野 宏 (水野宏建築事務所)</p>	福岡市役所講堂	55 名
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------	------

(3) 展覧会

期 日	催 し 物 名 称	会 場	参加者
5.16～ 6.2	2006 年日本建築学会賞 (作品/技術/業績) 2006 年日本建築選奨 受賞業績展	建築博物館ギャラリー	600 名
11. 7 ～17	設計競技入選作品展示会 日本建築学会設計競技 課題「近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生」 全国入選・タジマ奨励賞 19 点 技術部門設計競技 課題「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村の再建計画」 入選作品 11 点	建築博物館ギャラリー	300 名
10.21 ～12.3	創立 120 周年記念事業 「パラレル・ニッポンー現代日本建築展 1996-2006」 (共催) 本会・国際交流基金・東京都写真美術館 作品 112 点 関連事業	東京都写真美術館	12,378 名
10.24	カフェトーク 講師: 米山 勇 (東京都江戸東京博物館専門研究員)	東京都写真美術館	25 名
11.9	シンポジウム「ポストバブルの建築シーン」 パネリスト: 金村 修 (写真家) 藤森照信 (東京大学教授) 三浦 展 (評論家) ヨコミゾ マコト (aat+ヨコミゾマコト建築設計事務所代表取締役) 米山 勇 (前掲)	国際交流基金	180 名
11.11	司会: 三宅理一 (慶応義塾大学教授) ギャラリートーク 講師: 赤堀 忍 (建築家・芝浦工業大学教授)	東京都写真美術館	50 名

### 10.3 設計競技

#### (1) 技術部門設計競技

<課題> 「自然災害で居住地が甚大な被害を受けた農山漁村集落の再建計画」

<主催> 日本建築学会 農村計画委員会

<主旨>

玄界島は福岡県西方沖地震により斜面地盤が崩落し、居住地のほとんどの住居が大きな被害を受けた。およそ 200 世帯が仮設住宅での生活を余儀なくされ、県、市では全戸建て替えの集落再建計画を構築中である。同様の問題は新潟県中越地震でも起きている。日本の国土面積の 8 割に近い農山漁村では、地震をはじめ、噴火、津波、洪水、土石流などの自然災害によりこれまでも各地で大きな被害を受け、集落再建を余儀なくされてきた。いつ起こるかわからない自然災害に対し、より安全な集落整備をすすめるとともに、万がいち集落再建を余儀なくされた場合の計画技術の研鑽も怠ることはできない。このアイデアコンペは、福岡県玄界島または新潟県中越、あるいはその他の自然災害を受けた農山漁村集落を取り上げ、防災技術・減災技術に裏付けられた、より安全で、地形や風土に調和し、地域コミュニティに配慮した集落再建計画の提案を期待している。

<審査員> 伊藤庸一（委員長）・内田文雄・岡田知子・河野泰治・重村力・高見沢邦郎・林静雄・三井所清典・三橋伸夫・和田章

<応募資格> 本会個人会員（準会員を含む）、または会員のみで構成するグループとする。なお、同一の個人または代表者名で複数の応募をすることはできない。

<入選>

	提案名	入選者 (○：代表者)
最優秀賞	井戸環 (ido net)	○正会員 山本 泰裕 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 幡宮 祥平 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 上野山貴嗣 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 今井 裕平 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 山本友丘森 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 雨宮 廣明 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 藤井 裕子 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 尾杉 友浩 君 (安井建築設計事務所)
		正会員 西山 剛 君 (九州大学)
		正会員 深澤 大輔 君 (新潟工科大学)
優秀賞	中越地震被災中山間地の再生プロジェクト Re:Fabrication	○正会員 三笠 友洋 君 (神戸大学)
		正会員 宮武 慎一 君 (神戸大学)
		正会員 吉村 聡 君 (神戸大学)
		正会員 山本 聡志 君 (神戸大学)
		正会員 浅井 保 君 (神戸大学)
佳作	川ふたつここに集ひて	○正会員 石川 敦雄 君 (竹中工務店技術研究所)
		正会員 宮崎 賢一 君 (竹中工務店技術研究所)
		正会員 山田 純 君 (竹中工務店)
		正会員 吉澤 睦博 君 (竹中工務店技術研究所)
		正会員 黒木 友裕 君 (竹中工務店技術研究所)
	編み、治し、繋ぐ	○正会員 小川 勇樹 君 (九州大学)
		正会員 則内 良太 君 (九州大学)
		正会員 西田 誠 君 (九州大学)
	何年も先、山古志であるために —東竹沢地区における木籠集落の再生—	○正会員 小畑 智之 君 (ダイエープロビス)
	玄界島暮らし景観再生復興計画	○正会員 加藤 武弘 君 (総合建築設計研究所)
正会員 田島 正陽 君 (田島正陽建築事務所)		
正会員 前田 哲 君 (日本設計)		
正会員 水野 宏 君 (水野宏建築事務所)		
正会員 廣瀬 正人 君 (フォレストハウス)		
正会員 清水 正幸 君 (清水設計)		



共に生きる・活きる暮らし —新潟県長岡市旧山古志村・池谷集 落再建計画—	○正会員 川岸 梅和 君 (日本大学) 正会員 北野 幸樹 君 (日本大学) 正会員 杉本 弘文 君 (日本大学) 正会員 澤田 勇太 君 (日本大学) 正会員 矢島 広明 君 (日本大学) 正会員 小谷 雅紀 君 (日本大学)
風景の骨格 —スケルトン・インフィルによる復 興計画—	○正会員 出町 慎 君 (関西大学) 正会員 福永 督人 君 (関西大学) 正会員 向 尚美 君 (関西大学)
畦道を引くように	○準会員 藤堂 誠司 君 (崇城大学) 準会員 田尻 昭久 君 (崇城大学)
コミュニティと農の再生による中 山間地域の集落の再建・活性化	○正会員 中川 智之 君 (アルテップ)

応募総数：45件

#### 10.4 教育・文化事業参加者数

事 業 内 容		参加者数
建築文化週間	本 部	1,110 名
	支 部	678 名
講演会・講座・セミナー	学会賞受賞者記念講演会	600 名
	学生サマーセミナー'06	240 名
	親と子の都市と建築講座 本部	173 名
	親と子の都市と建築講座 支部	466 名
展示会	学会賞・作品選奨展示会	600 名
	設計競技全国入選者展示会	300 名
	「パラレル・ニッポン—現代日本建築展 1996—2006」	12,633 名
合 計		16,800 名

## 11. 国際交流事業

### 11.1 国際交流振興基金

国際間の研究交流ならびに研究成果の国際流通促進のための事業を援助した。

上期配分額	540,000 円
下期配分額	425,000 円
合計	965,000 円

申請 5 件, 採択 5 件

期	事業名	申請者	実施時期	援助額
上期	バングラデシュ建築の展示・講演会の開催	建築計画委員会	2007. 3. 30	140,000 円
〃	建築分野におけるヒートアイランド研究成果の国際啓蒙事業	地球環境委員会	・2006. 4～9 翻訳作業 ・2007. 7 ホームページ更新予定	200,000 円
〃	第 8 回アジアの建築交流国際シンポジウム開催費積立	アジア建築交流委員会	2010 年度	200,000 円
下期	建築分野における男女共同参画の未来を考える国際シンポジウム(仮)	男女共同参画社会における建築学に関する特別研究委員会	2007. 3. 16	225,000 円
〃	第 8 回アジアの建築交流国際シンポジウム開催費積立	アジア建築交流委員会	2010 年度	200,000 円
合計				965,000 円

### 11.2 渉外関係

- (1) 大韓建築学会・中国建築学会との 3 会による JAABE Editorial Committee を開催(京都, 2006. 4. 13)
- (2) 嘉納副会長が, 大韓建築学会通常総会へ出席し祝辞を呈した。加藤総務理事が同行。大韓建築学会名誉会員として, 本会から内田祥哉君(本会元会長, 東京大学名誉教授), 岡田恒男君(本会元会長, 日本建築防災協会理事長), 尾島俊雄君(本会元会長, 早稲田大学教授)の 3 名が推挙された。(韓国・ソウル, 2006. 4. 29)
- (3) 2006. 5. 27 発生のジャワ島中部地震に対し, 土木学会との合同調査団を派遣(本会から, 中埜良昭, 勅使川原正臣の 2 名)。6. 10 にジョグジャカルタへ出発。6. 17 に全員無事帰国。
- (4) 第 6 回アジアの建築交流国際シンポジウム(大邱)への公式訪問団として, 村上会長, 国広アジア建築交流委員会委員長ほか, 計 6 名が参加。特別セッションに本会から, 加藤信介君, 鈴木伸治君, 高橋紀行君, 村松伸君の 4 名が招待を受け, 基調講演を行った。なお, 会期中の登録参加者は 665 名(うち日本から 132 名), 論文投稿は 308 編(うち本会から 115 編)であった。(韓国・大邱, 2006. 10. 25-28)

### 11.3 外国人来会者

2006. 4. 7	李利衡大韓建築学会会長, 劉中国建築学会副理事長, 仲中華民国建築学会理事長 本会創立 120 周年記念式典・祝賀会へ出席のため
------------	---------------------------------------------------------------------

### 11.4 現代日本建築展 1996-2006

現代日本建築展は, 創立 100 周年記念事業の一環として, 本会と国際交流基金の主催で日本の現代建築を世界各国に紹介することを目的として始められた。海外におけるわが国の建築への関心は高く, 世界各国において好評である。今回, 創立 120 周年を機に, 新たに第 3 期として過去 10 年の間に日本の地で竣工した建築, さらに日本人が海外で実現した建築, 112 作品を都市, 生命, 文化, 住まいという 4 つのセクションでまとめて対比的に展示する展覧会「パラレル・ニッポンー 現代日本建築展 1996-2006」を企画した。海外巡回は 2007 年 6 月からを予定しているが, 2006 年度は日本展(9.2(3)参照)を開催した。

## 12. 図書館

### 12.1 運営管理

(1) 図書館各室の名称と面積

- ・一般閲覧席と開架部分 493 m<sup>2</sup>
- ・大書庫 86 m<sup>2</sup> 小書庫 17 m<sup>2</sup> 特別閲覧室 32 m<sup>2</sup> 記念図書室 38 m<sup>2</sup> 総面積 666 m<sup>2</sup>

(2) 受け入れ蔵書数とデータベース化

・単行図書 (和書)	995 冊	累計	36,786 冊
(洋書)	33 冊		5,692 冊
計	1,028 冊		42,478 冊
・雑誌 (和書)	1,194 冊		25,871 冊
(洋書)	628 冊		9,418 冊
計	1,822 冊		35,289 冊
・ビデオ、CD-ROM 等			
(和書)	68 件		2,182 件
(洋書)	10 件		40 件
計	78 件		2,222 件
合計	2,928 件		79,989 件

(3) 雑誌記事索引 7,101 件 76,814 件

(4) 国立情報学研究所電子図書館 CiNii データ提供電子図書館データ提供

論文集 (三誌) 2005 年 1 月～2007 年 3 月  
論文報告集 1947 年 6 月～1964 年 12 月  
建築雑誌 2002 年 10 月～2007 年 3 月  
技術報告集 2001 年 1 月～2006 年 12 月  
英文論文集 2002 年 3 月～2006 年 11 月  
総合論文誌 2003 年 2 月～2007 年 2 月

【2007 年 3 月までの公開データ】

建築雑誌 (1887 年～2002 年)  
論文集 (1936 年～1944 年, 1947 年～2006 年 3 月)  
研究報告 (1947 年～1962 年)  
大会梗概集 (1968 年～2002 年)

(5) 韓国建設研究情報センター東アジア建学情報ネットワーク (CRIC) へのデータ提供

[冊子および書誌データ]

建築雑誌 (2006 年 4 月～2007 年 3 月)  
技術報告集 (No. 23 2006 年 6 月, No. 24 2006 年 12 月)  
作品選集 (2006 年) \*作品選集については、著作権を考慮し未公開扱いとする。  
英文論文集 **Journal of Asian Architecture and Building Engineering**  
(2006 年 5 月, 2006 年 11 月)  
総合論文誌 (No. 5 2007 年 2 月)  
論文集 計画系 (2006 年 4 月～2007 年 3 月)  
論文集 構造系 (2006 年 4 月～2007 年 3 月)  
論文集 環境系 (2006 年 4 月～2007 年 3 月)  
大会梗概集 CD-R (2006 年)

(6) 外部データベース登録状況

[CRIC/eAINA 利用登録状況] 2006 年度登録者 : 1,463 人 (内日本人 600 名)  
累計登録者数 : 2,818 名 (内日本人 952 名)

(7) 視聴覚ライブラリーの運営

- ・ビデオ, CD-ROM 等を閲覧に供した。

## 12.2 「建築雑誌」「論文集」の交換・寄贈

### (1) 建築雑誌

中国 3 チェコ 1 北朝鮮 1 ギリシャ 1 香港 1 ハンガリー 1 インド 1 インドネシア 1 韓国 9  
マレーシア 1 台湾 2 アメリカ 3 ロシア 1 イギリス 1 14 か国 27 機関

### (2) 論文集

オーストラリア 3 ブルガリア 1 カナダ 1 中国 4 北朝鮮 1 フランス 1 ドイツ 1 インド 3  
インドネシア 3 韓国 4 モロッコ 1 ネパール 1 フィリピン 1 ポルトガル 1 台湾 2 タイ 1  
アメリカ 4 ロシア 1 イギリス 3 19 か国 37 機関

### (3) 英文論文集

オーストラリア 3 ブルガリア 1 カナダ 1 中国 4 北朝鮮 1 フランス 1 ドイツ 1 インド 3  
インドネシア 3 韓国 4 モロッコ 1 ネパール 1 フィリピン 1 ポルトガル 1 台湾 1 タイ 1  
アメリカ 4 ロシア 1 イギリス 4 モンゴル 1 ベトナム 2 21 か国 40 機関

## 12.3 受入図書・雑誌・研究報告

種別	購入				寄贈				学会				計
	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	図書	雑誌	研究報告	視聴覚	
和書	0	29	3	0	794	821	237	62	211	16	88	2	2,263
洋書	7	424	25	2	27	106	74	8	0	0	0	0	673
計	7	453	28	2	821	927	311	70	211	16	88	2	2,936

## 12.4 利用者数

### ・2006年度図書館利用者数

年月	正会員	準会員	法人会員	会員外	土木学会会員	計
2006年4月	288	6	50	34	2	380
5月	352	8	57	55	10	482
6月	396	8	38	77	6	525
7月	343	8	23	62	4	440
8月	318	6	43	58	5	430
9月	316	10	26	90	4	446
10月	364	7	31	83	5	490
11月	310	5	30	71	6	422
12月	281	4	38	57	12	392
2007年1月	305	3	39	39	7	390
2月	294	2	30	33	6	365
3月	339	3	24	24	6	393
計	3,906	70	429	683	73	5,161

・利用者昨年比 0.7% (37人) 減

・開館日数 241日

## 12.5 2006年度図書館複写サービス

来館者 2,706件 郵送サービス 239件

## 12.6 研究助成関係

(1) 科学研究費補助金「研究成果公開促進費」図書館目録・書誌・画像データベースとして、2,300,000円の交付(本会が編集・刊行した戦前の文献資料の全文を電子画像化)

## 13. 建築博物館

### 13.1 運営管理

(1) 建築博物館の各室の名称と面積

- ・ 建築博物館ギャラリー 99 m<sup>2</sup>
- ・ 建築博物館作業室 58 m<sup>2</sup>
- ・ 収蔵庫 90 m<sup>2</sup>

(2) 受け入れ資料

1) 正式受け入れ

- ・ 清家清展模型 5 点
- ・ 小泉大成氏所蔵『宮殿造営記録図面編・解説編』と『宮殿造営の記録』等

2) 仮受け入れ資料整理作業中

- ・ 清家清資料 清家清氏寄贈 (図面件数 534 点 : 30,722 点)
- ・ 曾祢中條建築事務所資料 (図面件数 361 点 : 約 10,000 枚)
- ・ 宮脇檀資料 宮脇彩氏寄贈 (CD-ROM20 枚ほか)

### 13.2 事業

#### 展覧会開催

(1) 建築家 山田守展「流動するフォルムにみた合理性」

2006 年 12 月 12 日～2007 年 1 月 31 日

(2) 同展シンポジウム

再考 山田守の後期の作品を検証する ― 京都タワーを中心に

2007 年 1 月 13 日

(3) 同展山田守自邸見学会

2007 年 1 月 5 日

#### シンポジウム関係

(1) ミニシンポジウム「戦後の建築施工について小泉大成氏に聞く ― 皇居新宮殿を中心に―」

2006 年 10 月 19 日

#### 研究助成関係

(1) 科学研究費補助金「研究成果公開促進費」

建築博物館蒐集資料目録・画像データベースとして 2,500,000 円交付 (伊東忠太資料  
および曾祢中條建築事務所図面資料の電子画像化)

## 14. 建策・進言・要望・提言

提出年月日	要 望 事 項	提 出 先
2006. 4. 14	建築学と本会の発展のための中長期計画	
2006. 4. 18	歌舞伎座の保存に関する要望書	東京都中央区長, 株式会社歌舞伎座 代表取締役社長
2006. 5. 26	東京中央郵便局庁舎・大阪中央郵便局庁舎の保存要望書	日本郵政株式会社 代表取締役社長
2006. 5. 29	建築設計資格制度の改善に関する提言 (建築関係11団体共同提言)	国土交通大臣
2006. 6. 8	京都の都市景観の再生に関する第二次提言	京都市長
2006. 7. 26	中銀カプセルタワー保存要望書	中銀カプセルタワー管理組合 理事 長, 中銀マンション株式会社 取締 役社長
2006. 9. 8	健全な設計・生産システム構築のための提言	
2006. 11. 20	海溝型巨大地震による長周期地震動と土木・建築構造物の 耐震性向上に関する共同提言 (本会・土木学会)	

提出年月日	要 望 事 項	提 出 先
2006. 7. 4	関東大震災復興事業の記念碑としての元町公園および旧 元町小学校の保存に関する要望書 (都市計画委員会, 建築歴史・意匠委員会)	東京都文京区長, 東京都文京区都市計画審議会長
2006. 8. 24	建築士法改正の方向についての要望 (資格・教育・法律等社会システム検討特別調査委員会, 建築教育認定事業委員会)	国土交通省住宅局長
2006. 10. 17	下北沢駅周辺地区・地区計画および都市計画道路補助54 号線に関する要望書(都市計画委員会)	世田谷区長
2006. 11. 10	都市計画道路補助54号線の認可および下北沢駅周辺地区 の用途変更に関する要望書(都市計画委員会)	東京都知事
2006. 12. 06	旧西日本シティ銀行大分支店の保存に関する要望書 (九州支部)	福岡地所株式会社 代表取締役社長
2006. 12. 26	故小野塚イツ子氏寄贈屋敷内における歴史的建造物に対 する保存要望書(関東支部)	小山市長, 小山市議会議長, 小山市 教育長
2007. 1. 16	東京女子大学東寮および体育館建物の保存に関する要望 書(関東支部)	東京女子大学理事長, 東京女子大学学長
2007. 1. 26	旧室谷家住宅の保存に関する要望書(近畿支部)	兵庫県知事, 神戸市長, 株式会社ハ ウジングタイホー代理人 有限会社 山口屋総合事務所 代表取締役
2007. 1. 26	都城市民会館の保存に関する要望書(九州支部)	都城市長
2007. 3. 16	建築基準法の性能規定化のあり方に関する提言 (建築法制委員会)	

## 15. 刊行図書

### 15.1 直営出版物

#### (1) 新刊・改定（訂）版

1. 建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事	12,000 部
2. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS18 塗装工事	2,000 部
3. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS23 吹付け工事	1,500 部
4. 鉄筋コンクリート造建築物の品質管理および維持管理のための試験方法	1,200 部
5. 鉄骨工事技術指針・工場製作編	6,000 部
6. 鉄骨工事技術指針・工事現場施工編	6,000 部
7. 鉄骨精度測定指針	6,000 部
8. ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針（案）・同解説	1,000 部
9. 建築基礎のための地盤改良設計指針案	2,000 部
10. 木質構造設計規準・同解説－許容応力度・許容耐力設計法－	3,000 部
11. アクティブ・セミアクティブ振動制御技術の現状	500 部
12. 建物の LCA 指針～温暖化・資源消費・廃棄物対策のための評価ツール～	800 部
13. 2004 年 10 月 23 日新潟県中越地震災害調査報告	500 部
14. 2006 年ジャワ島中部地震災害調査報告	350 部
15. 建築法規用教材 2007	5,000 部
16. 建物と街の価値・安全性を高めるペンシルビルの連結	2,000 部
17. 日本の住宅におけるエネルギー消費	500 部
18. 2005 年度日本建築学会設計競技優秀作品集 風景の構想－建築をとおしての場所の発見	1,000 部
19. 2006 年度日本建築学会設計競技優秀作品集 近代産業遺産を生かしたブラウンフィールドの再生	1,000 部
20. 建築士のためのテキスト 戸建て住宅を巡る建築紛争	6,000 部
21. 日本建築学会叢書 1 都市建築の発展と制御シリーズ I 都市建築のビジョン	2,000 部
22. 日本建築学会叢書 2 都市建築の発展と制御シリーズ II 緑地・公共空間と都市建築	2,000 部
23. 日本建築学会叢書 4 省エネ住宅とスマートライフでストップ地球温暖化	2,000 部
24. 建築基準法令集 平成 19 年版	3,500 部
25. 大学（建築関係学科）名簿 2006 年版	500 部
合計 25 点	68,350 部

#### (2) 重版

1. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事	3,500 部
2. 建築工事標準仕様書 JASS6 鉄骨工事 SI 単位版	1,500 部
3. 建築工事標準仕様書・同解説 JASS14 カーテンウォール工事	700 部
4. 鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説	2,500 部
5. 高強度コンクリート施工指針（案）・同解説	500 部
6. 鉄骨精度測定指針 SI 単位版	500 部
7. ブロック塀施工マニュアル	300 部
8. 非構造部材の耐震設計施工指針・同解説および耐震設計施工要領	700 部
9. 建築物荷重指針・同解説（2004）	1,500 部
10. 建築基礎構造設計指針	2,000 部
11. 高力ボルト接合設計施工ガイドブック	1,000 部
12. 軽鋼構造設計施工指針・同解説 SI 単位版	500 部
13. 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説－許容応力度設計法－	3,000 部
14. 鉄筋コンクリート造建物の靱性保証型耐震設計指針・同解説	1,000 部
15. 鉄筋コンクリート造建物の耐震性能評価指針（案）・同解説	800 部
16. プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説	500 部
17. 入門・建物と地盤との動的相互作用	300 部
18. 壁式構造関係設計規準集・同解説（壁式鉄筋コンクリート造編）	1,500 部
19. 壁構造配筋指針	700 部
20. 建物の火災診断及び補修・補強方法	300 部
21. 建築材料用教材	2,000 部
22. 建築材料実験用教材	2,500 部

23. 構造用教材		10,000 部
24. 建築倫理用教材		1,000 部
25. 建築士のためのテキスト 小規模建築物を対象とした地盤・基礎		1,000 部
26. 建築材料用ビデオ教材 1 ガラス編		10 部
27. 建築材料用ビデオ教材 2 防水材料編		10 部
28. 建築材料用ビデオ教材 6 木材・木質材料編		10 部
29. 建築材料用ビデオ教材 10 耐火・防火材料と耐火被覆編		10 部
30. 建築材料用ビデオ教材 21 セメント・コンクリート編-2		10 部
	合計 30 点	39,850 部

## 15.2 委託出版物

### (1) 新刊・改定（訂）版

1. 建築設計資料集成 [環境]		4,000 部
2. 日本建築史図集 新訂第二版		8,500 部
3. ソーラーアーキテクチャ・デザインブック		2,000 部
4. Q&A 高齢者の住まいづくりひと工夫		2,000 部
5. 環境教育用教材 学校のなかの地球		1,200 部
6. 建築・都市計画のための空間デザイン事典		3,000 部
7. 日本建築学会「会誌叢書」 ここが知りたい建築の？と！		2,700 部
	合計 7 点	23,400 部

### (2) 重版

1. 建築設計資料集成 [人間]		200 部
2. 建築設計資料集成 [物品]		300 部
3. 建築設計資料集成 [教育・図書]		300 部
4. 建築設計資料集成 [業務・商業]		200 部
5. 建築紛争ハンドブック		100 部
6. まちづくり教科書 第1巻 まちづくりの方法		810 部
7. まちづくり教科書 第7巻 安全・安心のまちづくり		520 部
8. まちづくり教科書 第8巻 景観まちづくり		520 部
9. まちづくり教科書 第9巻 中心市街地活性化とまちづくり会社		520 部
10. 日本建築史図集		4,000 部
11. 西洋建築史図集		6,000 部
12. 建築教材「雪と寒さと生活」Ⅰ 発想編		1,000 部
13. 事例で読む現代集合住宅のデザイン		1,000 部
14. 設計計画パンフレット4 建築の音環境設計		2,000 部
15. シリーズ地球環境建築・入門編 地球環境建築のすすめ		1,200 部
16. よりよい環境創造のための環境心理調査手法入門		300 部
17. 建築学用語辞典 第2版		510 部
18. 拡張アメダス気象データ 1981-2000		350 部
	合計 18 点	19,830 部

## 15.3 刊行物数

刊行物		刊行点数	発行部数
直営出版物	新版および改定（訂）版	25	68,350 部
	重版	30	39,850 部
委託出版物	新版および改定（訂）版	7	23,400 部
	重版	18	19,830 部
合計		80	151,430 部



#### 15.4 刊行物等からの引用転載許諾

許諾件数 127 件 (452 点)

内訳：刊行物 173 件、大会梗概・論文等 68 件、委員会資料 13 件

## 16. 会 館

### 16.1 建築会館

#### (1) 所在地・規模・構造

東京都港区芝5丁目26番20号

敷 地 3,052m<sup>2</sup>

建築面積 2,473m<sup>2</sup>

延べ床面積 10,522m<sup>2</sup>

鉄筋コンクリート造および鉄骨鉄筋コンクリート造

地下 1階 地上 7階

#### (2) 使用状況（専有床面積）

本会使用分 3,571m<sup>2</sup>

賃貸借契約部分 4,054m<sup>2</sup>

#### (3) テナント

##### 1) 建築関係団体・公益法人

(社) 日本建築士会連合会, (財) 震災予防協会, 民間(旧四会) 連合協定工事請負契約約款委員会,

(社) 商業施設技術者・団体連合会, (社) 日本医療福祉建築協会, (社) 建築研究振興協会,

(社) 日本建築美術工芸協会, (社) 仮設工業会, 日本建築仕上学会, 繊維補修補強協会,

(社) 建築設備総合協会, 日本技術者教育認定機構, (社) 日本工学教育協会, 日本地震工学会,

(社) 日本工学アカデミー, (社) 日本工学会,

独立行政法人 雇用・能力開発機構 職業能力開発総合大学校 起業・新分野展開支援センター

(財) 国際技能振興財団, 日本コンストラクション・マネジメント協会

##### 2) 民間

アビコム・ジャパン(株), スウェーデンスティール(株), (株) MIA,

(株) 日本パーツセンター, 日本コムシンク(株), (株) 東京ロックサービス,

堀田実(アサ国際特許事務所), (株) コスモテック, アスカ・クリエイション(株),

(株) ティーエーシー, (株) グローバル・サイバーネット・システム, スタイルファクトリー(株)

##### 3) 店舗

(株) ニュートーキョー, ヘアーアベニューファム, ジェイ・テイボン(株),

(有) 東池袋商事, スタイルファクトリー(株), 酒井 豊(饅飴四国),

(株) ダイヤモンドダイニング

#### (4) 建物賃貸借契約の新規契約および解除

1) (社) 日本工学アカデミー 2006年4月1日付をもって一部増床契約

2) (株) デザインシステム 2006年4月30日付をもって契約解除

3) (株) オルグアンドカンパニー 2006年4月30日付をもって契約解除

4) (株) MIA 2006年5月1日付をもって契約物件変更に伴い再契約

5) スタイルファクトリー(株) 2006年9月1日付をもって契約

## 16.2 建築会館ホール利用状況

数字は利用回数

年月 内 訳	2006年											3月	合 計	
	4月													
学会委員会等	4	5	4	12	4	3	10	7	4	5	3	12	73	
会 員	7											12	116	
一 般	7	3	3	2	6	12	4	6	4	11	6	2	66	
計	18	18	24	26	13	25	28	20	17	20	20	26	255	

## 16.3 建築会館会議室利用状況

数字は利用回数

年月 内 訳	2006年										2007年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学会委員会等	271	279	309	307	229	294	309	304	284	265	247	342	3,440	
一般貸会議室	37	26	46	39	29	44	45	41	27	46	49	43	472	
計	308	305	355	346	258	338	354	345	311	311	296	385	3,912	

## 16.4 建築博物館・ギャラリー利用状況

期 日	展 示 名 称
2006年	
3. 24～ 4. 6	ミース・ファン・デル・ローエ展実行委員会主催「ミース・ファン・デル・ローエ生誕120年展－モダニズムの原点－」
5. 5～ 5.13	太田リロケーション・プロジェクト実行委員会主催「ハウス・リロケーションfrom島根」展
5.15～ 6. 2	2006年日本建築学会賞・作品選奨受賞業績展示会
6. 6～ 6.12	早稲田大学建築学科昭和27年入学クラス有志主催美術作品展「2704展」
6.18～ 6.30	AACA主催「第10回アートパラダイス展」
7. 3～ 7.15	全国専門学校建築教育連絡協議会主催「全国専門学校卒業作品展示会」
7.27～ 7.28	日本建築学会関東支部設計競技
7.29～ 8. 8	建築文化事業委員会主催「学生サマーセミナー」
8.24～ 8.30	第3回いちこけんじ写真展「ニューヨーク」
9. 1～ 9. 8	建築家たちのスケッチ会
9.23～ 9.26	まちづくり支援会議・三田まちづくり共催「三田まちづくりのコモンイメージを考える－三田・マチ・再生－展」
9.28～ 9.30	芝浦工業大学建築研究会主催「現在の建築家は何を乗り越えようとしているのか」
10. 1～10.17	建築文化事業委員会主催「建築文化週間2006」
10.18～10.21	チュニジア・スケッチ展
10.22～11. 5	AACA主催「第5回シナジー展」
11. 6～11.17	2006年度日本建築学会設計競技入選作品展示会
11.20～11.26	写真展「配水塔」
12. 1～12. 9	彩寿会「第3回秋季展」
2007年	
12.12～ 1.31	日本建築学会主催「建築家山田守展」
2. 1～ 2. 9	セントラル硝子「第41回国際建築設計競技」入選作品展示会
2.19～ 2.23	日新工業建築設計競技「水系都市に暮らす」入賞作品展
2.26～ 3. 2	建築設備総合協会「第5回環境・設備デザイン賞」作品展示
3. 5～ 3.12	第5回東京電機大学工学部建築学科卒業設計展

3.13～ 3.20	商業施設技術者・団体連合会「主張する「みせ」デザインコンテスト入賞作品」
3.22～ 3.29	ウズベキスタンの現代建築と世界遺産展

## 16.5 三宅島研修所

### (1) 所在地・規模・構造

#### 施設概要

所在地 東京都三宅島三宅村阿古532-1

構造 木造・板葺き

規模 本棟 86.95㎡

別棟 9.92㎡（風呂・便所）

設備 電気，ガス（プロパン），給排水，流し台，冷蔵庫

宿泊 1回10名まで可能

### (2) 三宅島研修所使用状況

2005年9月より「三宅島災害・東京ボランティア支援センター」に貸与

## 17. 会 員

### 17.1 会員数の移動

種 別 摘要	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
入 会	2,783	20	20	2,803	678	8	12	3,489
資 格 変 更	22	0		22	0	1		23
転 格	687			687				687
除名退会復活	169			169	14			183
小 計	3,661	20	20	3,681	692	9	12	4,382
死亡・退会	2,500	51	76	2,551	61	9	9	2,621
資 格 変 更	0	3		3	7	0		10
転 格	0				687			687
除 名	1,713			1,713	11			1,724
小 計	4,213	54	76	4,267	766	9	9	5,042
本 年 度	33,583	1,000	1,658	34,583	855	306	346	35,744
前 年 度	34,135	1,034	1,714	35,169	929	306	343	36,404
増 減	▲552	▲34	▲56	▲586	▲74	0	3	▲660

### 17.2 支部地域会員数

種 別 支部名	正 会 員			正 会 員 小 計	準 会 員	賛 助 会 員		合 計
	個 人	法 人				社	口 数	
		社	口 数					
北海道	884	58	82	942	11	6	6	959
東 北	1,303	63	97	1,366	31	12	19	1,409
関 東	19,279	438	805	19,717	241	179	204	20,137
東 海	2,330	96	128	2,426	57	18	18	2,501
北 陸	1,108	49	60	1,157	27	21	23	1,205
近 畿	4,729	129	286	4,858	101	31	35	4,990
中 国	1,111	33	46	1,144	98	9	9	1,251
四 国	492	63	68	555	15	11	11	581
九 州	2,068	71	86	2,139	273	16	16	2,428
国 外	279	0	0	279	1	3	5	283
合 計	33,583	1,000	1,658	34,583	855	306	346	35,744

### 17.3 名誉会員

定款第15条により、本会の目的達成に多大の貢献をした者、または建築に関する学術・技術・芸術の進歩発達に功績顕著な者。本年度は推挙者なし。逝去者3名（年度中届出）。

逝去者 篠原 一男 君 2006年7月15日逝去  
 太田 博太郎 君 2007年1月19日逝去  
 横尾 義貫 君 2007年1月28日逝去

2006年度末現在総数 69名

## 17.4 終身正会員

定款第14条により2006年度において在会50年に達し、終身正会員待遇者に推挙された方は下記84名。  
年度中資格変更・退会者・逝去者等55名。

2006年4月 5名

宇田 英男 君 (関東) 畑野 弘治 君 (関東) 益子 正 君 (関東) 片岡 正喜 君 (九州)  
廣岡 利貞 君 (九州)

2006年5月 6名

木下 勝弘 君 (関東) 鈴木 解雄 君 (関東) 田中 喬 君 (近畿) 富永 恵 君 (近畿)  
中市 喜八郎 君 (近畿) 松井 克俊 君 (近畿)

2006年6月 18名

曾我 和男 君 (東北) 安藤 伸治 君 (関東) 奥村 珪一 君 (関東) 小黒 貞夫 君 (関東)  
折笠 彌 君 (関東) 河崎 隆郎 君 (関東) 高橋 光三 君 (関東) 橋本 健 君 (関東)  
星野 芳久 君 (関東) 山口 喜久雄 君 (関東) 山崎 弘 君 (関東) 天野 正治 君 (北陸)  
大越 昭 君 (北陸) 新村 利夫 君 (北陸) 榑崎 正也 君 (近畿) 追中 富久壮 君 (中国)  
内田 朋道 君 (九州) 蒲地 廣知 君 (九州)

2006年7月 8名

四戸 英男 君 (東北) 引地 一夫 君 (東北) 小野 正弘 君 (関東) 西岡 思郎 君 (関東)  
羽入田 健一 君 (関東) 川上 輝夫 君 (近畿) 西尾 宣之 君 (近畿) 三輪 泰司 君 (近畿)

2006年8月 7名

上野 栄 君 (北海道) 阿部 久雄 君 (関東) 河本 邦彦 君 (関東) 酒井 貞雄 君 (関東)  
服部 範二 君 (関東) 山県 裕 君 (関東) 篠塚 宏三 君 (近畿)

2006年9月 1名

高杉 幸乃介 君 (関東)

2006年10月 5名

宇都宮 敏一 君 (関東) 風間 秀雄 君 (関東) 狩野 芳一 君 (関東) 依田 彰彦 君 (関東)  
荒井 清 君 (近畿)

2006年11月 5名

石母田 侃 君 (関東) 長野 慎二 君 (関東) 野村 東太 君 (関東) 雪本 英明 君 (東海)  
山本 長水 君 (四国)

2006年12月 2名

黒岩 恭浩 君 (関東) 坂井 龍夫 君 (関東)

2007年1月 18名

尾崎 博 君 (関東) 金井 佐吉 君 (関東) 五味 道雄 君 (関東) 竹山 実 君 (関東)  
舘 清夫 君 (関東) 松ノ井 敬一 君 (関東) 安室 辰夫 君 (関東) 太田 光秋 君 (東海)  
杉浦 嘉樹 君 (東海) 鋤納 忠治 君 (東海) 高橋 博久 君 (東海) 中原 信生 君 (東海)  
菅原 廣 君 (北陸) 太田 隆信 君 (近畿) 土肥 博至 君 (近畿) 久徳 敏治 君 (近畿)  
福井 實 君 (近畿) 麻生 實 君 (九州)

2007年2月 6名

伊藤 信彦 君 (関東) 沖田 誠一 君 (関東) 小原 二郎 君 (関東) 難波 蓮太郎 君 (関東)  
佐藤 理 君 (近畿) 河村 博之 君 (九州)

2007年3月 3名

加藤 賢三 君 (関東) 山梨 清松 君 (東海) 金井 三郎 君 (中国)

2006年度末現在総数 1,224名

## 17.5 会友

本年度は、推挙者なし。

## 17.6 メールサービス

本会講習会、シンポジウム等イベント情報、論文募集や新刊案内などをE-MAILでお知らせするサービス。2002年2月25日の第1号から、毎月2回送信している。

### ・メールサービス送信数

号 数	送 信 日	送信件数
NO. 100	2006年 4月10日	9,032
NO. 101	4月25日	9,060
NO. 102	5月10日	9,083
NO. 103	5月25日	9,105
NO. 104	6月 9日	9,119
NO. 105	6月26日	8,881
NO. 106	7月10日	8,904
NO. 107	7月25日	8,920
NO. 108	8月10日	8,832
NO. 109	8月25日	8,850
NO. 110	9月11日	8,871
NO. 111	9月25日	8,871
NO. 112	10月10日	8,918
NO. 113	10月25日	8,941
NO. 114	11月10日	8,903
NO. 115	11月25日	8,919
NO. 116	12月11日	8,936
NO. 117	12月25日	8,942
NO. 118	2007年 1月10日	8,950
NO. 119	1月25日	8,887
NO. 120	2月 9日	8,918
NO. 121	2月26日	8,943
NO. 122	3月 9日	8,956
NO. 123	3月26日	8,983

## 17.7 能力開発支援制度 履修登録

### ・2006年4月1日より2007年3月31日まで

(1) データ登録件数	67,535件
(2) 履修登録された人数	12,049名
(3) 履修登録カード(磁気カード会員証)使用者数	3,383名
(4) 登録メンバー(会員外)数	38名

## 17.8 ホームページアクセス数

### ・2006年度本会ホームページ訪問者数

	訪問者数
2006年4月	99,244
5月	100,782
6月	102,479
7月	101,109
8月	90,192

9月	100,516
10月	98,746
11月	95,846
12月	89,297
2007年1月	100,563
2月	90,991
3月	97,780



## 18. その他の重要事項

### 18.1 理事の登記に関する事項

登 記 事 項	登記年月日	備 考
2006年5月末日をもって任期満了の理事15名の後任として、新任の理事神田副会長を含む15名を登記（うち1名は重任）	2006年7月3日	東京法務局港出張所

### 18.2 監事監査会に関する事項

実施年月日	監 査 項 目	実施場所
2006. 4. 27	1) 2005年度の事業報告案について 2) 2005年度収支決算・財産目録および未処分金処分案について 3) 2005年度の会計に関する外部監査(新日本監査法人)について 4) 内部監査について ・本会の調査研究委員会の研究成果の還元について	本会会議室

### 18.3 寄付に関する事項

①運営基金		
1)岡田恒男名誉会員		30,000円
計		30,000円
②現代日本建築展負担金		
1) (財)国際交流基金		12,279,365円
計		12,279,365円
③第6回学生サマーセミナー協賛金		
1) 川口金属工業(株)		60,000円
2) 清水建設(株)		60,000円
3) (株)日本設計		60,000円
4) (株)山下設計		60,000円
5) (株)N T Tファシリティーズ		30,000円
6) (有)小川建築総合コンサルタント		30,000円
7) (株)小川工務店		30,000円
8) (株)小川テック		30,000円
9) 小川テント(株)		30,000円
10) (株)大林組		30,000円
11) 鹿島建設(株)		30,000円
12) 協立工業(株)		30,000円
13) (株)久米設計		30,000円
14) (株)熊谷組		30,000円
15) 黒沢建設(株)		30,000円
16) (株)建研		30,000円
17) (株)佐藤総合計画		30,000円
18) 神鋼鋼線工業(株)		30,000円
19) 新日軽(株)		30,000円
20) 太陽工業(株)		30,000円
21) T S P 太陽(株)		30,000円
22) 戸田建設(株)		30,000円
23) 東京製綱(株)		30,000円
24) (株)巴コーポレーション		30,000円

25) (株)日建設計	30,000 円
26) 日本鋳造(株)	30,000 円
27) 前田建設工業(株)	30,000 円
28) (株)松田平田設計	30,000 円
29) (株)三菱地所設計	30,000 円
30) 横河工事(株)	30,000 円
計	1,020,000 円
④建築家山田守展協賛金	
1) エーアンドエー(株)	200,000 円
2) NTT都市開発(株)	100,000 円
3) 東海大学建築会	100,000 円
4) 安藤建設(株)	50,000 円
5) 進藤建設(株)	30,000 円
6) (株)日総建	30,000 円
7) 巽建設(株)	20,000 円
計	530,000 円
総 合 計	13,859,365 円

#### 18.4 委託研究の受託契約に関する事項 (7.4(4)参照)

契約年月日	契約の名称・期間 (括弧内は理事会承認日)	委 託 者	担当委員会
2004. 7. 31	エコセメントを用いたコンクリートの建築構造物への適用に関する研究 2004年8月1日～2007年3月31日 (9.22)	(社)セメント協会	材料施工委員会
2006. 4. 24	木造家屋及び非木造家屋に係る物価水準による補正率及び設計管理費等による補正率の決定に関する基礎資料の作成 2006年4月26日～2007年3月30日 (5.16)	総務省 自治税務局資産評価室	建築経済委員会
2006. 7. 31	国立西洋美術館本館建造物に関する調査資料の作成 2006年7月18日～2007年3月31日 (7.18)	独立行政法人 国立美術館 国立西洋美術館	建築歴史・意匠委員会
2006. 6. 29	新教育システム開発プログラム 2006年6月29日～2007年3月31日 (10.11)	文部科学省	文教施設委員会
2006. 11. 6	家屋評価における経年減点補正率表の見直し 2006年11月6日～2007年1月31日 (9.21)	(財)資産評価システム研究センター	建築経済委員会
2006. 12. 27	住宅におけるエネルギー消費データに基づく施策提案に関する調査業務 2006年12月27日～2007年3月23日 (1.18)	(財)建築環境・省エネルギー機構	住宅用エネルギー消費と温暖化対策検討委員会
2007. 2. 5	韓国国内での空間構造物に対する設計指針資料作成 2007年2月17日～7月28日 (2.16)	(社)韓国空間構造学会 附設研究所	構造委員会

### 18.5 委託業務の受託契約に関する事項

契約年月日	契約の名称・期間 (括弧内は理事会承認日)	委託者	担当委員会
2006. 5. 26	平成 18 年度技術者教育プログラム認定審査業務 2006 年 5 月 26 日～2007 年 3 月 31 日 (9. 21)	日本技術者教育認定機構	建築教育認定事業委員会

### 18.6 主務官庁（文部科学省）からの連絡事項等

連絡年月日	連絡事項	履行事項
2006. 5. 12	文部科学省出身者の公益法人理事への就任状況に係る緊急調査について（依頼）	5 月 16 日回答
2006. 6. 1	研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針の施行について（通知）	
2006. 8. 22	「公益法人の設立許可及び指導監督基準」及び「特別の法律により設立される民間法人の運営に関する指導監督基準」等の一部改正について（通知）	
2007. 2. 7	平成 19 年度（第 48 回）科学技術週間について（依頼）	

## 19. 役員等

### 19.1 民法上の役員

2006年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	村上 周三	2005年6月1日	総括	なし	慶應義塾大学教授	
副会長	嘉納 成男	2005年6月1日	研究	なし	早稲田大学教授	
同	岡本 宏	2005年6月1日	会務	なし	清水建設常務執行役員	
同	小野 徹郎	2005年6月1日	支部	なし	名古屋工業大学教授	
同	神田 順	2006年6月1日	情報	なし	東京大学教授	
同	平倉 章二	2006年6月1日	教育	なし	久米設計取締役副社長	
理事	加藤 信介	2005年6月1日	総務	なし	東京大学生産技術研究所教授	
同	深尾 精一	2006年6月1日	同	なし	首都大学東京教授	
同	時松 孝次	2005年6月1日	会計	なし	東京工業大学教授	
同	福本 早苗	2006年6月1日	同	なし	武庫川女子大学教授	
同	川瀬 博	2005年6月1日	会員	なし	九州大学教授	
同	中島 明子	2006年6月1日	同	なし	和洋女子大学教授	
同	安達 洋	2005年6月1日	学術	なし	日本大学教授	
同	福和 伸夫	2005年6月1日	同	なし	名古屋大学教授	
同	河村 壮一	2006年6月1日	同	なし	大成建設常務役員技術センター長	
同	松村 秀一	2005年6月1日	図書	なし	東京大学教授	
同	三宅 理一	2006年6月1日	同	なし	慶應義塾大学教授	
同	北 泰幸	2005年6月1日	事業	なし	竹中工務店取締役設計本部長	
同	長谷見雄二	2005年6月1日	同	なし	早稲田大学教授	
同	宗本 順三	2005年6月1日	同	なし	京都大学教授	
同	岩村 和夫	2006年6月1日	同	なし	武蔵工業大学教授	
同	櫻井 潔	2005年6月1日	会館	なし	日建設計代表取締役副社長	
同	稲田 達夫	2006年6月1日	同	なし	三菱地所設計技術情報部長	
同	斎藤 賢吉	2000年6月1日	専務	有り	日本建築学会専務理事	
同	繪内 正道	2006年6月1日	北海道	なし	北海道大学教授	
同	倉田 光春	2006年6月1日	東北	なし	日本大学教授	
同	片桐 正夫	2006年6月1日	関東	なし	日本大学教授	
同	加藤 史郎	2005年6月1日	東海	なし	豊橋技術科学大学教授	
同	桜井 康宏	2006年6月1日	北陸	なし	福井大学教授	
同	杉山 茂一	2005年6月1日	近畿	なし	大阪市立大学教授	
同	松尾 彰	2005年6月1日	中国	なし	広島大学教授	
同	賀村 智	2006年6月1日	四国	なし	建築工学研究所代表取締役	
同	竹下 輝和	2005年6月1日	九州	なし	九州大学教授	

### 19.2 監事

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
監事	石山 祐二	2005年6月1日		なし	北海道大学名誉教授	
同	西谷 章	2006年6月1日		なし	早稲田大学教授	

\* 2005年6月就任 任期:2005年6月1日～2007年5月31日

\*\* 2006年6月就任 任期:2006年6月1日～2008年5月31日

### 19.3 代議員

任 期	第7期代議員：2006年4月1日～2008年3月31日	第6期代議員：2005年4月1日～2007年3月31日
支 部	新 任（所 属）	留 任（所 属）
第1区 北海道 定員6名	武田 寛（北海道工業大学教授） 中岡 正憲（北海道建設部住宅局長） 藤島 喬（TAU設計工房代表取締役）	石山 祐二（北海道大学名誉教授） 那須 豊治（岩田建設技術開発室室長） 奈良 謙伸（奈良建築環境設計室取締役）
第2区 東北 定員8名	小山 剛（東日本旅客鉄道仙台支社設備部 工事課副課長） 月舘 敏栄（八戸工業大学教授） 山田 大彦（東北大学教授） 若井 正一（日本大学教授）	植松 康（東北大学教授） 佐藤 彰芳（国土交通省東北地方整備局建設部 住宅調整官） 細田 洋子（仙台都市総合研究機構企画調査部 部長） 三浦 金作（日本大学教授）
第3区 関東 定員50名	五十嵐健二（大林組東京本社設計本部設計部 長） 石井 映二（大成建設技術センター建築技術 研究所部長） 稲田 達夫（三菱地所設計技術情報部長） 尾崎 勝（鹿島建設建築設計本部副本部長） 大迫 勝彦（東日本旅客鉄道建設工事部構造 技術センター課長） 大澤 元毅（建築研究所環境研究グループ長 （併任）防火研究グループ長） 佐藤 孝一（熊谷組技術研究所建設材料研究 グループ部長） 汐川 孝（大林組技術研究所副所長） 塩原 達郎（梓設計常務取締役） 白井 伸明（日本大学教授） 白川 裕信（竹中工務店東京本店設計部部長） 鈴木 紀雄（鹿島建設技術研究所研究管理 グループグループ長） 田辺 新一（早稲田大学教授） 藤堂 正喜（戸田建設技術研究所構造グルー プ主管） 西谷 章（早稲田大学教授） 仁科雄太郎（東急建設技術本部構造設計部長） 羽山 眞一（国土交通省大臣官房官庁営繕部 整備課建築技術調整官） 細澤 治（大成建設設計本部統括グルー プリーダー・プリンシパルエンジ ニア） 松井 勇（日本大学教授） 村上 信直（竹中工務店技術研究所副所長） 山崎 庸行（清水建設技術研究所副所長） 横内 憲久（日本大学教授） 横田 昌幸（エヌ・ティ・ティ ファシリティ ーズ建築事業本部副本部長） 吉本 健一（フジタ建築本部設計センター副 所長） 渡辺 一郎（日総建常務取締役企画開発設計 第一部長）	安達 和男（日本設計常務執行役員第一建築設 計群長） 榎本 英雄（東急建設執行役員） 鬼沢 浩志（国土交通省大臣官房官庁営繕部計 画課保全指導室長） 嘉納 成男（早稲田大学教授） 荻谷 邦彦（山下設計東京本社第1設計本部 執行役員本部長） 川村 政史（日本大学教授） 河野 晴彦（大成建設設計本部統括グルー プリーダー） 小林 英之（国土交通省国土技術政策総合研究 所住宅情報システム研究官） 齋藤喜一郎（大林組東京本社設計本部企画部長 兼設計技術部長） 白井 正幸（戸田建設千葉支店支店長） 田中 隆吉（竹中工務店東京本店設計部設計部 長） 塚田 茂（熊谷組建築事業本部建築部長） 時松 孝次（東京工業大学教授） 西山 功（国土交通省国土技術政策総合研究 所住宅研究部長） 根上 彰生（日本大学教授） 早川 眞（日本大学教授） 日置 滋（清水建設設計本部副本部長） 深尾 仁（大成建設技術センター建築技術研 究所部長） 深田 良雄（鹿島建設建築設計本部技師長） 丸岡 正夫（竹中工務店技術研究所建設技術開 発部マネージャー） 山田登志郎（鹿島建設技術研究所所次長） 横須賀誠一（フジタ建築本部建築統括部主席コ ンサルタント） 米川 清水（NTTファシリティーズ取締役） 若松 邦夫（大林組技術研究所地盤震動研究室 長） 渡辺 仁史（早稲田大学教授）

任 期	第7期代議員：2006年4月1日～2008年3月31日	第6期代議員：2005年4月1日～2007年3月31日
支 部	新 任（所 属）	留 任（所 属）
第4区 東海 定員12名	奥宮 正哉（名古屋大学助教授） 小田 義彦（伊藤建築設計事務所取締役名古屋事務所長） 高橋 和生（清水建設名古屋支店設計部設計長） 谷本 道子（名古屋女子大学教授） 松本 博（豊橋技術科学大学教授） 山北 康雄（愛知県建設部建築担当局長）	飯嶋俊比古（飯島建築事務所代表取締役） 井澤 知且（都市研究所スペース代表取締役） 岡田 成幸（名古屋工業大学教授） 加藤 征宏（愛知産業大学教授） 注連野泰栄（大成建設名古屋支店建築部部長） 杉本 靖夫（中部電力土木建築部建築グループ専門課長）
第5区 北陸 定員6名	白山 徹（富山県土木部営繕課主幹） 竺 覚暁（金沢工業大学教授） 松下 聡（福井大学教授）	赤林 伸一（新潟大学教授） 浅野 良晴（信州大学教授） 浦 憲親（金沢工業大学教授）
第6区 近畿 定員18名	岩前 篤（近畿大学助教授） 大谷 恭弘（神戸大学助教授） 高田 光雄（京都大学教授） 築谷 朋也（安井建築設計事務所大阪事務所構造部主幹） 長尾 直治（神戸大学教授） 西村 勝尚（大林組本店建築設計部部長） 銚井 修一（京都大学教授） 緑川 功（日建設計構造設計室技術長） 横田 隆司（大阪大学教授）	狩野 忠正（大阪芸術大学教授） 塩崎 賢明（神戸大学教授） 長瀬 正（竹中工務店大阪本店設計部構造担当副部長） 林 康裕（京都大学教授） 森迫 清貴（京都工芸繊維大学教授） 門内 輝行（京都大学教授） 山田 宗彦（大林組本店設計品質管理部副主事） 山中 俊夫（大阪大学助教授） 渡辺 義仁（奥村組関西支社建築設計部構造課課長）
第7区 中国 定員6名	大久保孝昭（広島大学教授） 中島 功義（フジタ広島支店設計部次長） 藤谷 義信（広島国際大学教授）	菅原 辰幸（広島工業大学教授） 富永 晃司（広島大学教授） 山田 孝延（岡山県立大学教授）
第8区 四国 定員4名	林 茂樹（林建築事務所代表） 山本 長水（山本長水建築設計事務所所長）	橘 亮（愛媛県土木部道路都市局建築住宅課営繕室主任） 波多 等（香川県建築士会副会長）
第9区 九州 定員10名	有馬 隆文（九州大学助教授） 栗山 茂樹（清水建設九州支店設計部長） 小路 芳晴（福岡県企画調整課企画主幹） 真鍋 正規（大分大学助教授） 森下 陽一（琉球大学助教授）	赤司 泰義（九州大学助教授） 石田 壽一（九州大学教授） 伊東 龍一（熊本大学助教授） 廣瀬 正人（フォレストハウス代表） 本間 俊雄（鹿児島大学助教授）

19.4 支所長

2006年度末現在

支 部	支 所	支 所 長	所 属 ・ 職 名
東北支部	青森支所 秋田支所 岩手支所 山形支所 福島支所	千 葉 和 郎 北 田 透 澤 口 政登志 井 上 憲太郎 武 井 一	青森県総務部工事検査課建築工事検査監 秋田県建設交通部参事兼建築住宅課長 岩手県土木部建築住宅課長 山形県土木部建築住宅課長 福島県土木部建築領域建築指導グループ参事
関東支部	茨城支所 栃木支所 群馬支所 埼玉支所 千葉支所 神奈川支所 山梨支所	増 澤 敬 岩 本 太 郎 大 冢 義 樹 市 川 毅 麓 佳 正 洪 忠 憲 渡 邊 正	(株) 日立建設設計技術顧問  高崎市役所建設部建築指導課長 日本ERI (株) 麓建築設計事務所代表  (株) 早野組常務取締役
東海支部	静岡支所 三重支所 岐阜支所	竹 内 明 正 高 井 宏 之 福 田 勝 好	静岡県都市住宅部営繕企画室長 三重大学助教授 濃飛倉庫運輸 (株) 不動産部長
北陸支部	新潟支所 富山支所 石川支所 福井支所 長野支所	岩 瀬 昭 雄 秦 正 徳 久 保 猛 志 櫻 井 康 宏 中 込 忠 男	新潟大学教授 富山大学教授 金沢工業大学教授 福井大学教授 信州大学教授
中国支部	鳥取支所 島根支所 岡山支所 山口支所	森 本 博 美 和 美 廣 喜 藤 井 義 和 田 中 充	(社) 鳥取県建築士会専務理事 島根大学教授 岡山県土木部都市局建築指導課長 (社) 山口県建築協会専務理事
四国支部	香川支所 徳島支所 高知支所 愛媛支所	佐 藤 准 一 富 永 秀 夫 岡 本 眞 一 村 上 慶 裕	香川県土木部建築課長 徳島県県土整備部建築開発指導課長 高知県土木部建築指導課長 愛媛県土木部道路都市局建築住宅課長
九州支部	佐賀支所 長崎支所 熊本支所 大分支所 宮崎支所 鹿児島支所 沖縄支所	丹 羽 和 彦 村 田 明 久 牧 野 雄 二 大 鶴 徹 樋 口 栄 作 友 清 貴 和 池 田 孝 之	佐賀大学教授 長崎総合科学大学教授 熊本大学教授 大分大学教授 都城工業高等専門学校教授 鹿児島大学教授 琉球大学教授

19.5 職 員

2006年度末現在

職 務	氏 名	就任年月日	担任事務	備 考
事務局長	真木 康守	2005年4月1日	総 括	
副主幹	中村 幹久	1987年4月1日	総務部	
〃	峯浦 敏	1988年4月1日	〃	
〃	山口 成人	2000年4月1日	〃	
〃	小野寺 篤	2001年4月1日	〃	
係主任	一ノ瀬雅代	2006年4月1日	〃	
部 長	春名 司雄	2000年4月1日	財務部	
副主幹	山口 英樹	2001年4月1日	〃	
〃	鈴木 大介	2003年4月1日	〃	
係主任	江崎清一郎	2006年4月1日	〃	
部 長	森山 一之	2005年4月1日	情報部	
主 幹	柴田 和広	2002年4月1日	〃	
副主幹	芳沢ひとみ	2003年4月1日	〃	
〃	三枝ゆりえ	2002年4月1日	〃	
〃	須藤 智宏	2003年4月1日	〃	
係 員	小島 純	2005年4月1日	〃	
部 長	今井 浩	2006年4月1日	研究事業部	
副主幹	森田 進	1989年4月1日	〃	
〃	浜田 政治	1997年4月1日	〃	
〃	伏見 朋枝	2004年4月1日	〃	
〃	大野 智洋	2005年4月1日	〃	
〃	酒井 正純	2006年4月1日	〃	
部 長	川田 昭朗	2000年4月1日	普及事業部	
副主幹	三島 隆	1997年4月1日	〃	
〃	鎌田 潤一	2001年4月1日	〃	
〃	森脇 博	2002年4月1日	〃	
〃	米沢 香織	2003年4月1日	〃	
〃	片寄 尚	2003年4月1日	〃	
〃	榎本 和正	2005年4月1日	〃	
〃	安 裕和	2005年4月1日	〃	
係主任	栗原いづ美	2002年4月1日	〃	
係 員	本儀 尚子	2006年2月1日	〃	